

令和4年版

# 交通年鑑

岡山県警察本部交通部交通企画課

2022 YEAR OF TRAFFIC

## はじめに

令和4年中の全国の死者数は2,610人で、6年連続で最少を更新しました。

また、人身事故件数、死傷者数ともに減少し、人身事故件数及び負傷者数は18年連続での減少となりました。

県内では、交通事故死者数が74人（前年比+17人、+29.8%）と3年ぶりに前年を上回り、人口10万人当たりの死者数が3.94人（全国平均2.08人）で全国ワースト1位となりました。

人身事故件数については、4,348件（前年比-335件、-7.2%）、負傷者数4,855人（前年比-384人、-7.3%）といずれも減少となりましたが、高齢者死者数は44人（前年比+9人）で、全死者に占める高齢者死者の割合は59.5%と依然として高止まりの状況にあります。

県警察では、このような現状を踏まえ、自動車運転者、自転車利用者、歩行者等全ての道路利用者の交通マナーを向上させ、交通ルールを遵守するという意識の浸透を図るとともに、悪質・危険運転者の徹底検挙、道路上の緊張感を高めるための街頭活動の強化、関係機関・団体と連携した広報啓発等の各種対策等の交通事故抑止対策を推進していくこととしています。

本冊子は、令和4年中に県内で発生した交通事故を分析した結果を掲載していますので、交通安全活動等の資料として活用していただければ幸いです。

令和5年7月

## 用語の意味

- 人身事故 ……人の死傷を伴った事故をいう。
- 物損事故 ……物の損壊のみの事故をいう。
- 総事故件数 ……人身事故と物損事故の件数を加えた件数をいう。
- 第1当事者 ……当該交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者をいい、過失の程度が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。
- 第2当事者 ……当該交通事故に関係した者のうち、過失がより軽い者をいう。
- 被害 ……交通事故に関係して死傷したことをいう。
- 昼間 ……日の出から日の入りまでの間をいう。
- 交差点付近 ……交差点の側端から30メートル以内の道路の部分をいう。
- 幼児 ……未就学児をいう。
- 若者 ……16歳以上25歳未満の人をいう。
- 高齢者 ……65歳以上の人をいう。

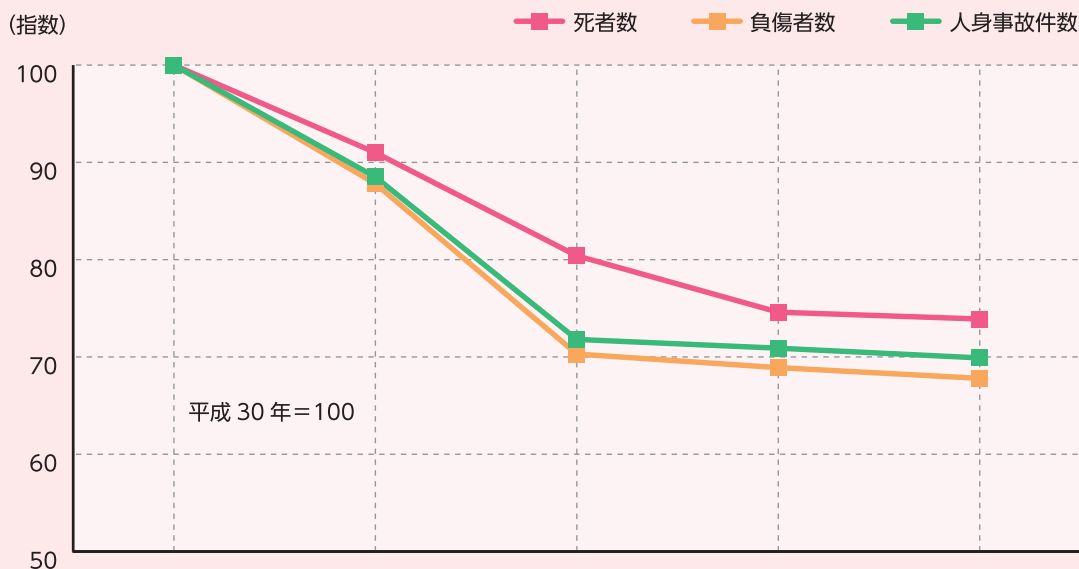
# もくじ

■ 全国の交通事故	
□ 5年間の推移	1
□ 令和4年中の発生数	1
□ 都道府県別の交通事故死者数	2
■ 岡山県の交通事故	
□ 5年間の推移	3
□ 令和4年中の発生数	3
□ 岡山県の交通指標	4
□ 人身事故の状況	5
□ 死亡事故の状況	9
■ 状態別・年代別にみる交通事故状況	
□ 状態別死亡事故原因	13
□ 年代別免許保有者	14
□ 年代別・状態別被害状況	15
□ 幼児の交通事故(未就学児)	16
□ 小学生の交通事故	19
□ 中学生の交通事故	22
□ 高校生の交通事故(被害)	25
□ 高校生の交通事故(第1当事者)	27
■ 高齢者の交通事故状況	
□ 都道府県別の交通事故状況	29
□ 岡山県の高齢者死者数の推移	30
□ 歩行者の被害状況	32
□ 自転車乗用中の被害状況	33
□ 高齢ドライバーの交通死亡事故	34
□ 高齢者が第1当事者の交通死亡事故	35
■ シートベルトの着用状況	36
■ チャイルドシートの着用状況	39
■ 飲酒運転による交通事故	40
■ 携帯電話の関係する交通事故	42
■ 自転車の関係する交通事故	43
■ 安全運転管理者選任事業所の交通事故	44
■ 運行管理者選任事業所の交通事故	46
■ 高速道路等の交通事故	
□ 高速道路等の交通事故発生状況	48
□ プロドライバー(職業運転者)の事故	50
□ アマチュアドライバー(職業運転者以外)の事故	51
□ 各IC(JCT)間の交通事故状況	52
■ 年別・月別死者数	54

# 全国の交通事故

## 5年間の推移

★人身事故件数、死者数、負傷者数全てが減少傾向



区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
人身事故件数(件)	430,601	381,237	309,178	305,196	300,839
死者数(人)	3,532	3,215	2,839	2,636	2,610
負傷者数(人)	525,846	461,775	369,476	362,131	356,601

## 令和4年中の発生数

■人身事故件数は  
**30万839件** …… 1日平均 824.2件  
 (令和3年：836.2件)

■死者数は  
**2,610人** …… 1日平均 7.2人  
 (令和3年：7.2人)

■負傷者数は  
**35万6,601人** …… 1日平均 977.0人  
 (令和3年：992.1人)

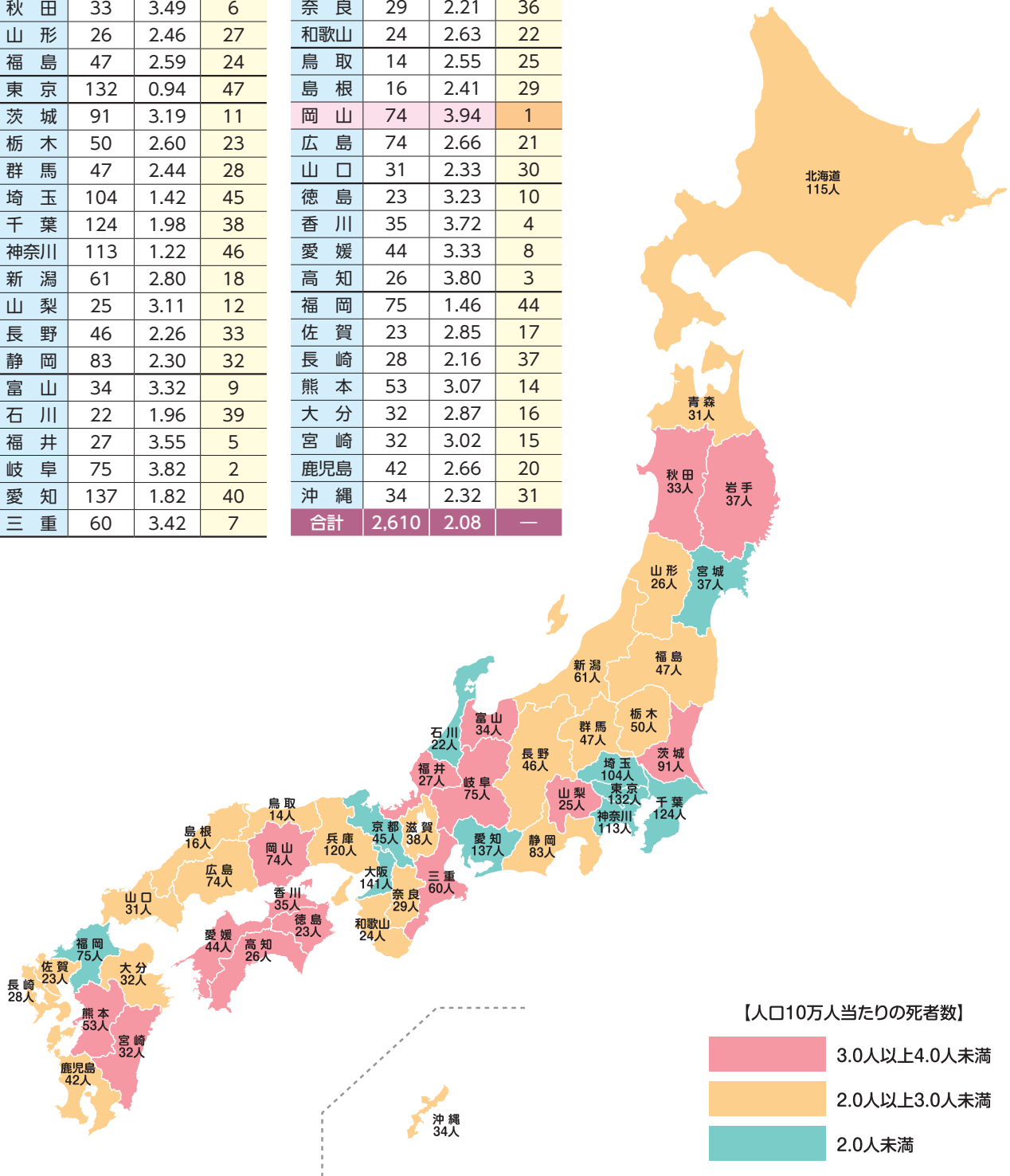
交通事故による死者は  
**3時間21分23秒に  
 1人**



# 都道府県別の交通事故死者数

区分	死者数		
	10万人当たり	ワースト順位	
北海道	115	2.22	34
青森	31	2.54	26
岩手	37	3.09	13
宮城	37	1.62	42
秋田	33	3.49	6
山形	26	2.46	27
福島	47	2.59	24
東京	132	0.94	47
茨城	91	3.19	11
栃木	50	2.60	23
群馬	47	2.44	28
埼玉	104	1.42	45
千葉	124	1.98	38
神奈川	113	1.22	46
新潟	61	2.80	18
山梨	25	3.11	12
長野	46	2.26	33
静岡	83	2.30	32
富山	34	3.32	9
石川	22	1.96	39
福井	27	3.55	5
岐阜	75	3.82	2
愛知	137	1.82	40
三重	60	3.42	7

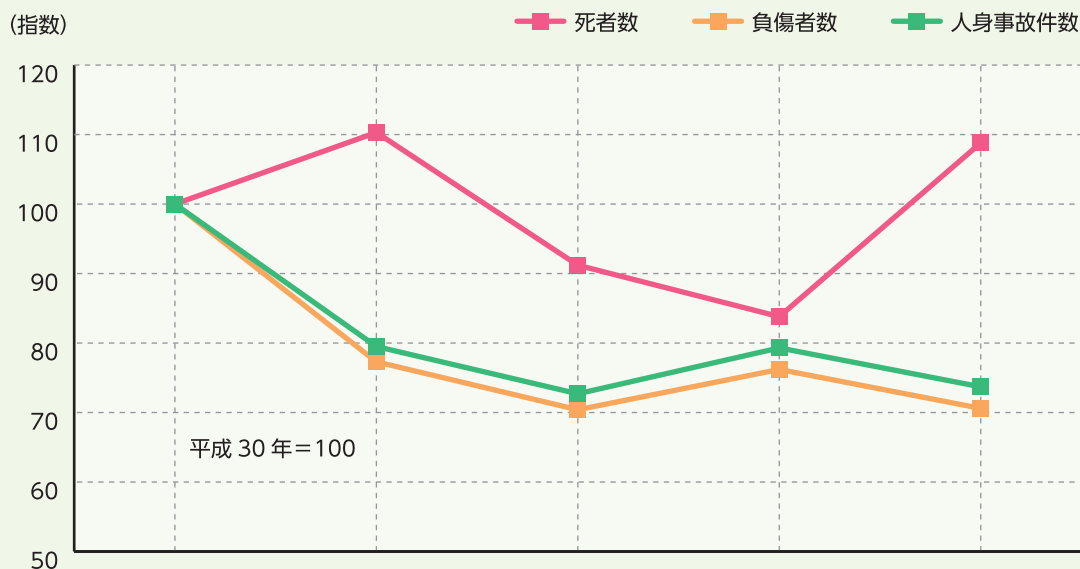
区分	死者数		
	10万人当たり	ワースト順位	
滋賀	38	2.69	19
京都	45	1.76	41
大阪	141	1.60	43
兵庫	120	2.21	35
奈良	29	2.21	36
和歌山	24	2.63	22
鳥取	14	2.55	25
島根	16	2.41	29
岡山	74	3.94	1
広島	74	2.66	21
山口	31	2.33	30
徳島	23	3.23	10
香川	35	3.72	4
愛媛	44	3.33	8
高知	26	3.80	3
福岡	75	1.46	44
佐賀	23	2.85	17
長崎	28	2.16	37
熊本	53	3.07	14
大分	32	2.87	16
宮崎	32	3.02	15
鹿児島	42	2.66	20
沖縄	34	2.32	31
合計	2,610	2.08	—



# 岡山県の交通事故

## 5年間の推移

★人身事故件数、負傷者数は減少したが、死者数は増加した。



区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
人身事故件数(件)	5,902	4,690	4,288	4,683	4,348
死者数(人)	68	75	62	57	74
負傷者数(人)	6,873	5,315	4,840	5,239	4,855

## 令和4年中の発生数

- 人身事故件数は  
**4,348件** …………… 1日平均 11.9件  
(令和3年：12.8件)
- 死者数は  
**74人** …………… 1日平均 0.20人  
(令和3年：0.16人)
- 負傷者数は  
**4,855人** …………… 1日平均 13.3人  
(令和3年：14.4人)
- 総事故件数(人身事故+物損事故)は  
**47,917件** …………… 1日平均 131.3人  
(令和3年：126.4人)

交通事故による死者は  
4日22時間22分42秒に  
1人

## 岡山県の交通指標

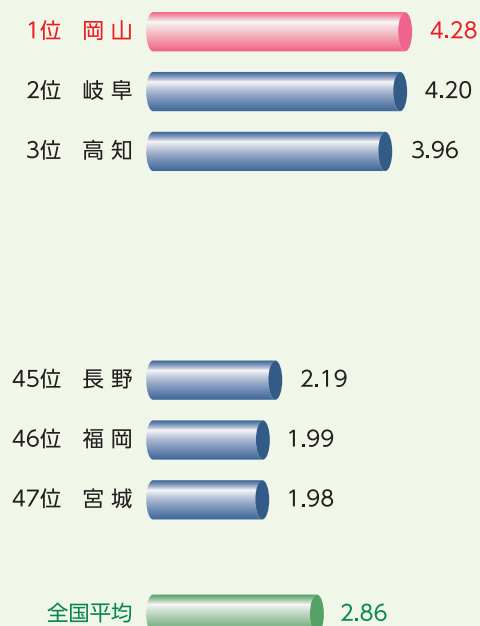
### ■人口 10 万人当たりの死者数



### ■人口 10 万人当たりの負傷者数



### ■車両 10 万台当たりの死者数



### ■岡山県の位置づけ

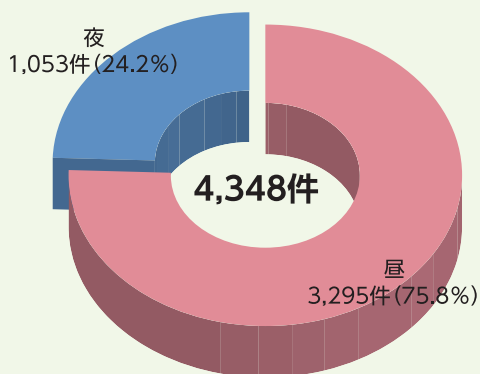
	人口(千人) R4.10.1 現在	免許人口(千人) R4.12.31 現在	車両台数(千台)	道路実延長(km) R3.3.31 現在
1位	東京 14,038	東京 8,133	愛知 5,694	北海道 90,674.2
2位	神奈川 9,232	神奈川 5,655	東京 4,963	茨城 55,708.2
3位	大阪 8,782	愛知 5,139	神奈川 4,689	愛知 50,612.8
岡山	<b>20位</b> <b>1,862</b>	<b>20位</b> <b>1,281</b>	<b>20位</b> <b>1,730</b>	<b>14位</b> <b>32,420.6</b>
全国	124,947	81,841	91,356	1,227,422.3

※人口は、総務省「令和4年10月1日現在推計人口」による。  
 ※車両台数は、令和4年12月末の国土交通省資料による。  
 原付二、原付、小特（ミニカー含む。）は令和4年7月1日現在の総務省資料による。

# 人身事故の状況

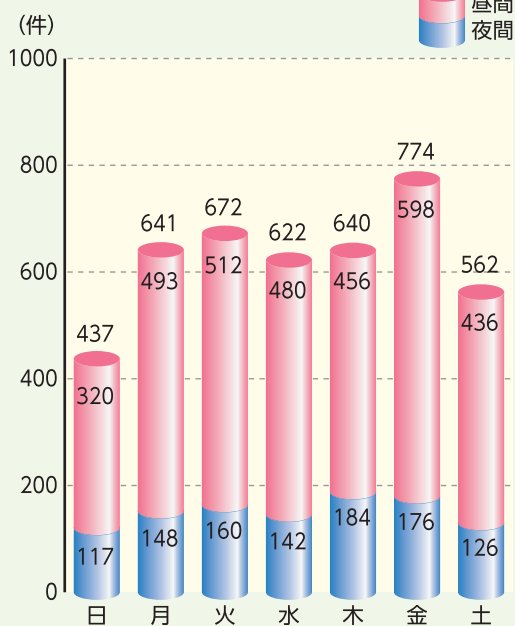
## いつ

### ■昼夜別発生件数



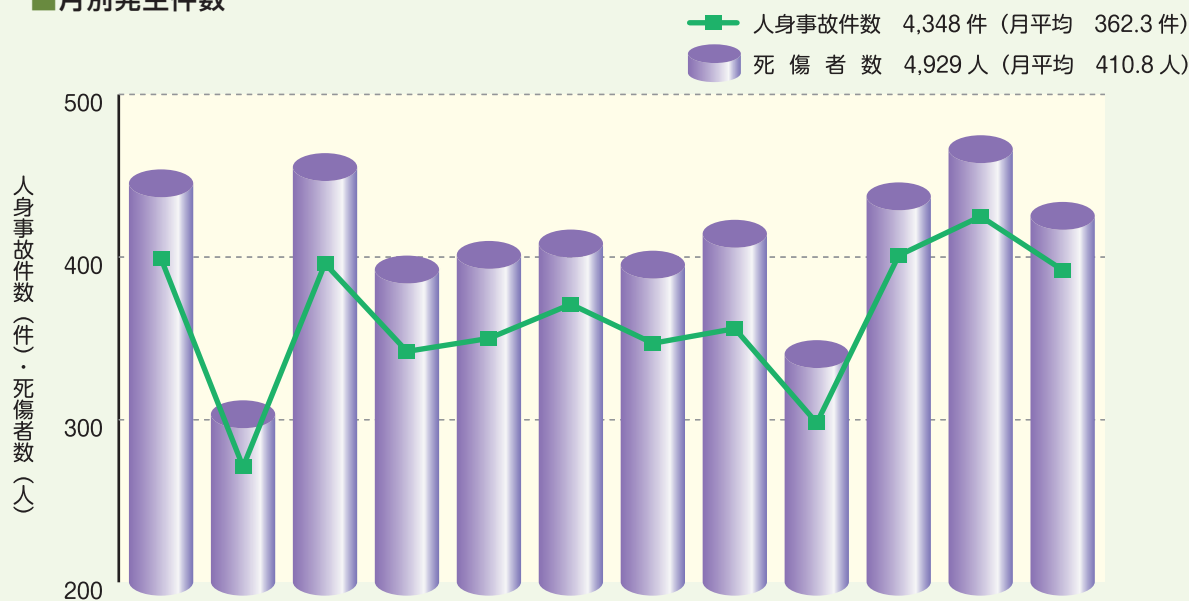
★人身事故の多くは昼間に発生

### ■曜日別発生件数



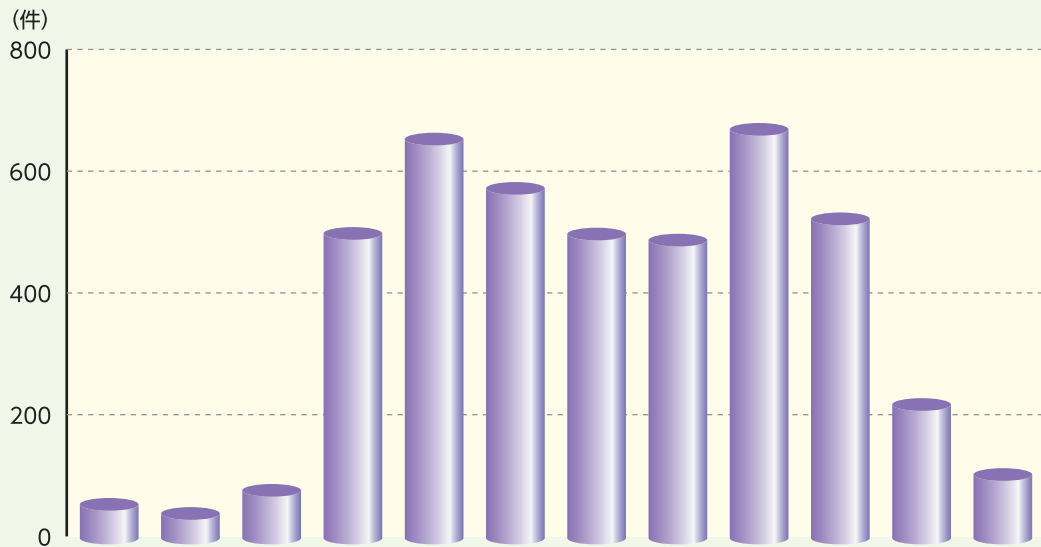
★昼間は金曜日の発生が、夜間は木曜日の発生が多い。

### ■月別発生件数



区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
人身事故件数	399	271	396	342	350	371	347	356	298	401	425	392	4,348
死傷者数	449	307	459	396	405	412	399	418	344	441	470	429	4,929

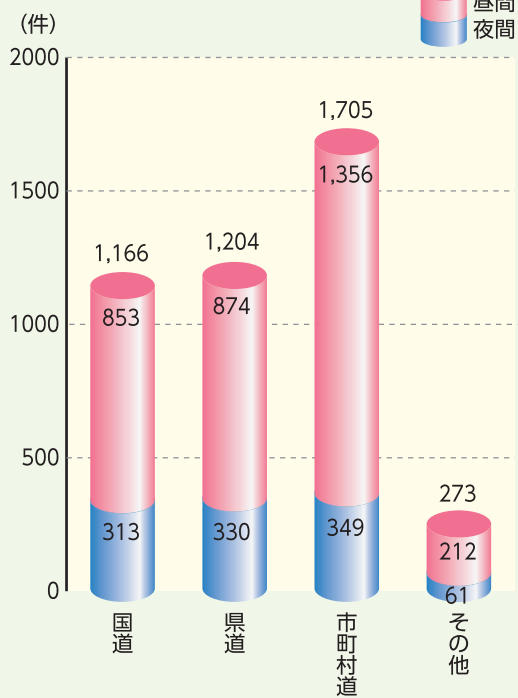
### ■時間別発生件数



区分	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	計
人身事故件数	50	35	73	495	650	569	494	484	666	519	214	99	4,348

★8～10時及び16～18時の発生が多い。

### ■道路別発生件数



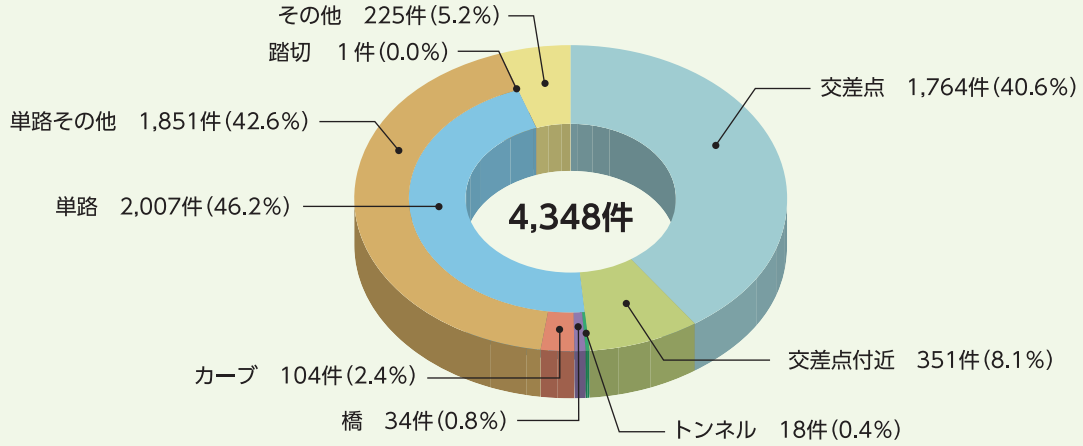
### ■路線別発生件数

国道	人身事故件数	構成率	国道	人身事故件数	構成率
2号	393	33.7	373号	2	0.2
30号	101	8.7	374号	15	1.3
53号	125	10.7	429号	113	9.7
179号	26	2.2	430号	93	8.0
180号	116	9.9	482号	1	0.1
181号	24	2.1	484号	7	0.6
182号	2	0.2	486号	27	2.3
250号	73	6.3	計	1,166	100.0
313号	48	4.1			

★国道2号、国道53号、国道180号での発生が多い。

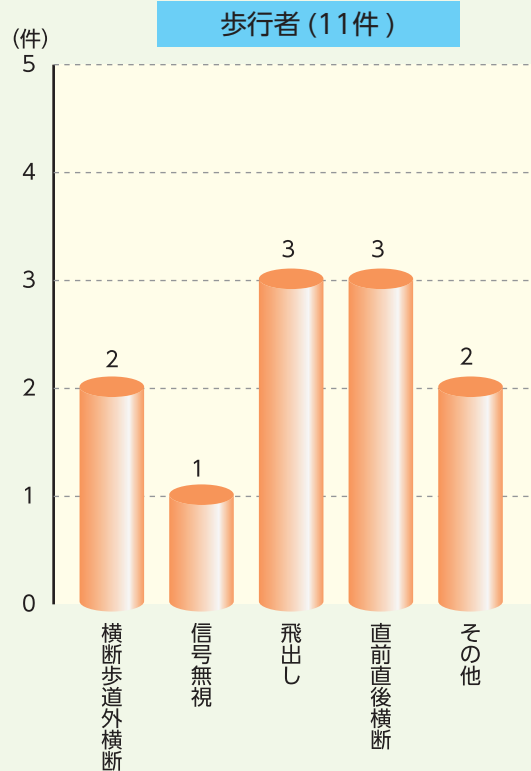
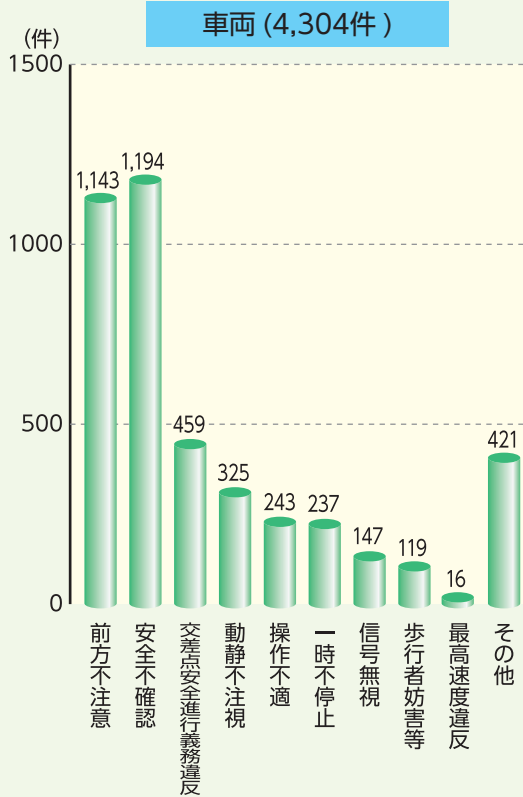
## どこで

### ■ 道路形状別発生件数



★交差点、交差点付近での発生が約半数を占めている。

## どんな原因で



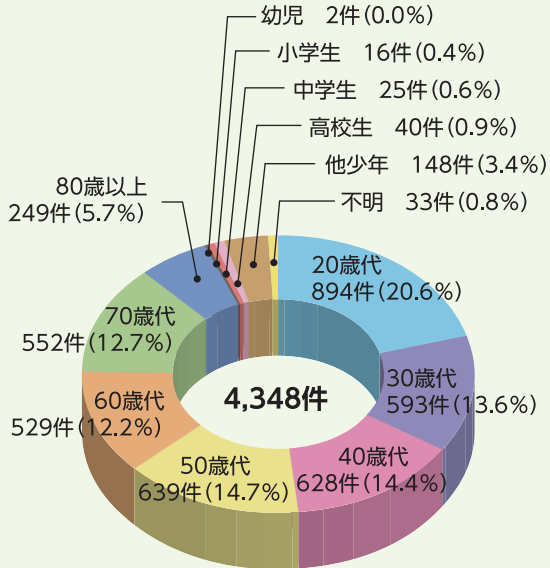
※ひき逃げ等の対象外当事者を除く。

★安全不確認が最も多く、次いで前方不注意が多い。

★飛出し・直前直後横断が多い。

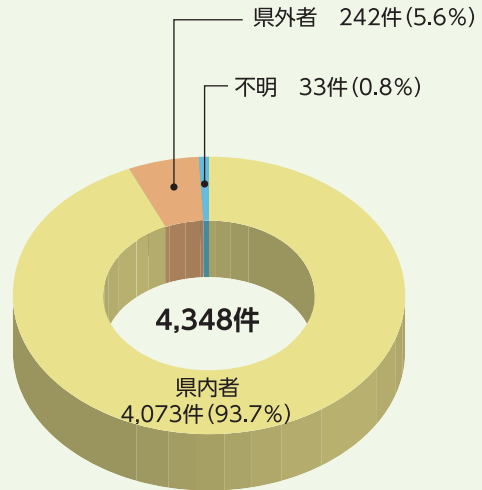
## だれが

■ 第1当事者の年齢の発生件数



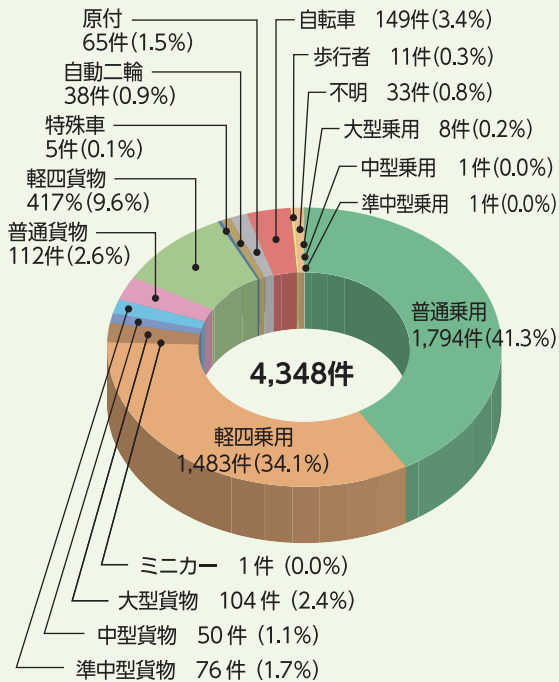
★ 20歳代が最も多く、次いで50歳代、40歳代の順に多い。

■ 第1当事者の居住地



★ 県内居住者が起こした事故が9割以上を占めている。

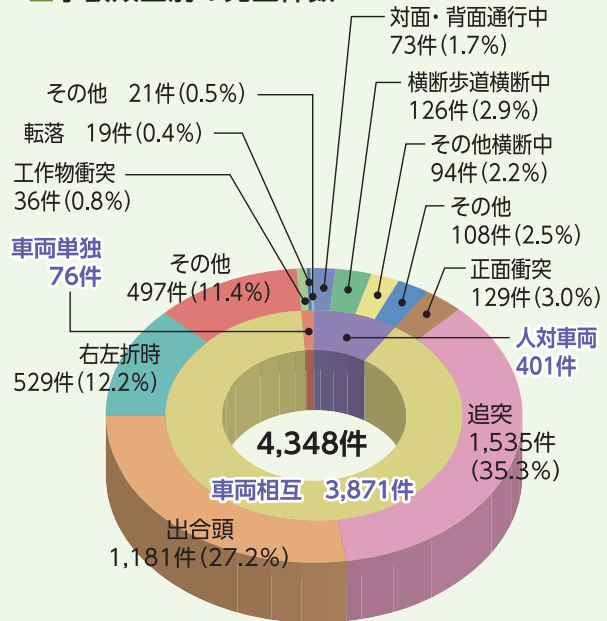
■ 第1当事者の当事者種別発生件数



★ 普通乗用が最も多く、次いで軽四乗用が多い。

## どんな事故で

■ 事故類型別の発生件数

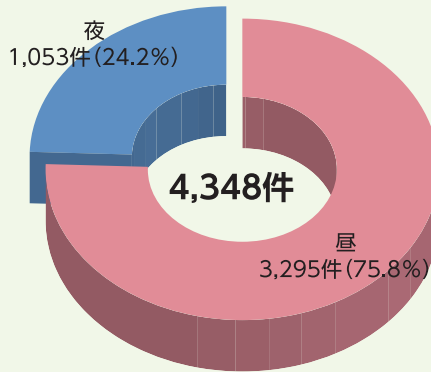


★ 追突事故が最も多く、次いで出合頭事故が多い。

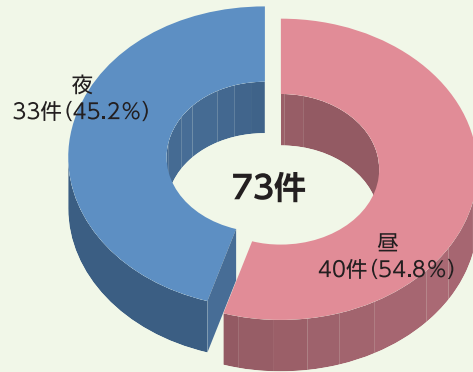
# 死亡事故の状況

## いつ

■ 昼夜別人身事故件数



■ 昼夜別死亡事故件数



昼間致死率  $\frac{1}{82}$

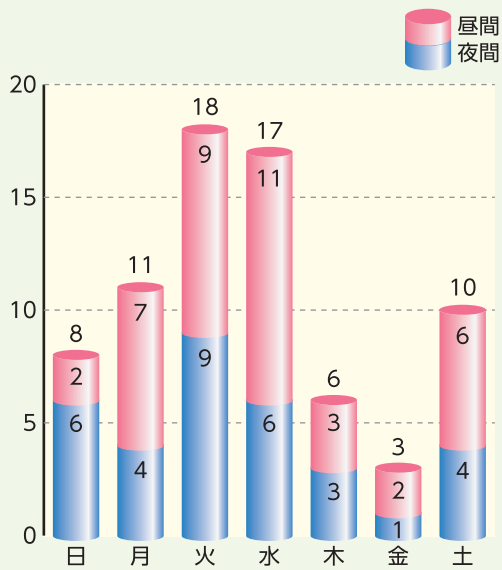
夜間致死率  $\frac{1}{32}$

★致死率・・・死亡事故件数を人身事故件数で割ったもの。

(例) 1/100：人身事故 100 件につき 1 件が死亡事故

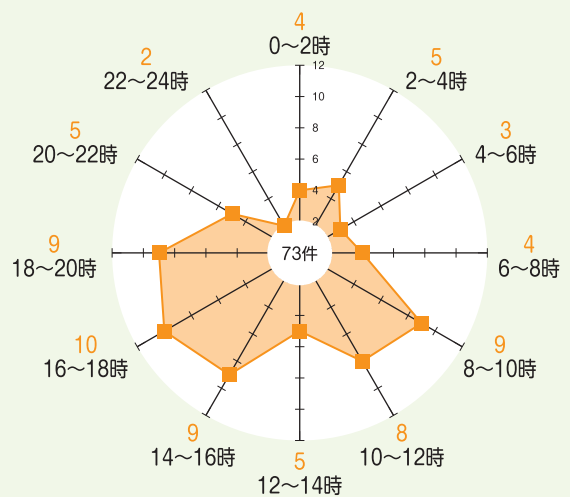
★夜間の致死率は昼間の 2.6 倍

■ 曜日別発生件数



★火曜日の発生が最も多い。

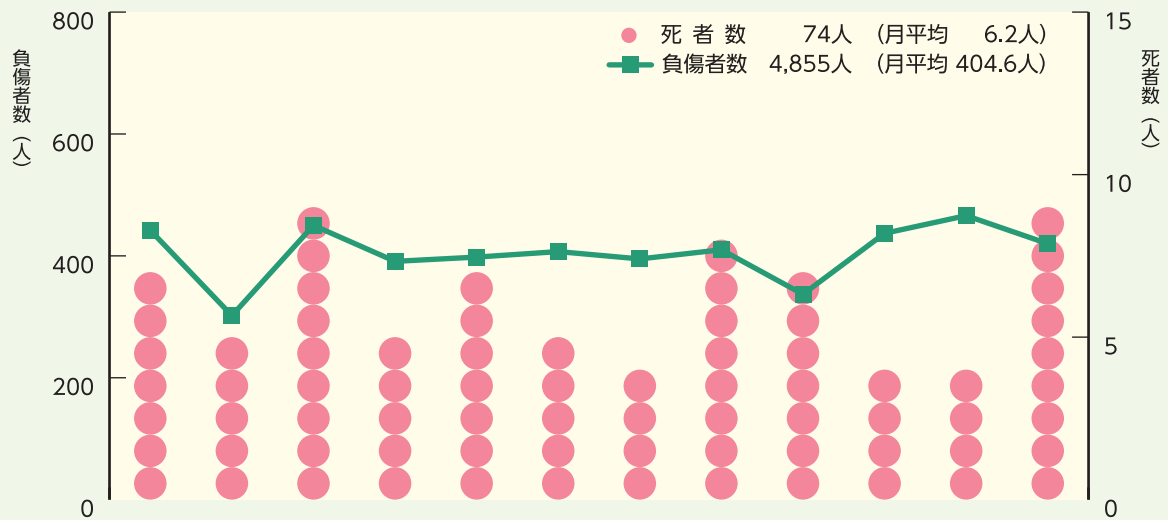
■ 時間別発生件数



★ 16 ~ 18 時の発生が多い。



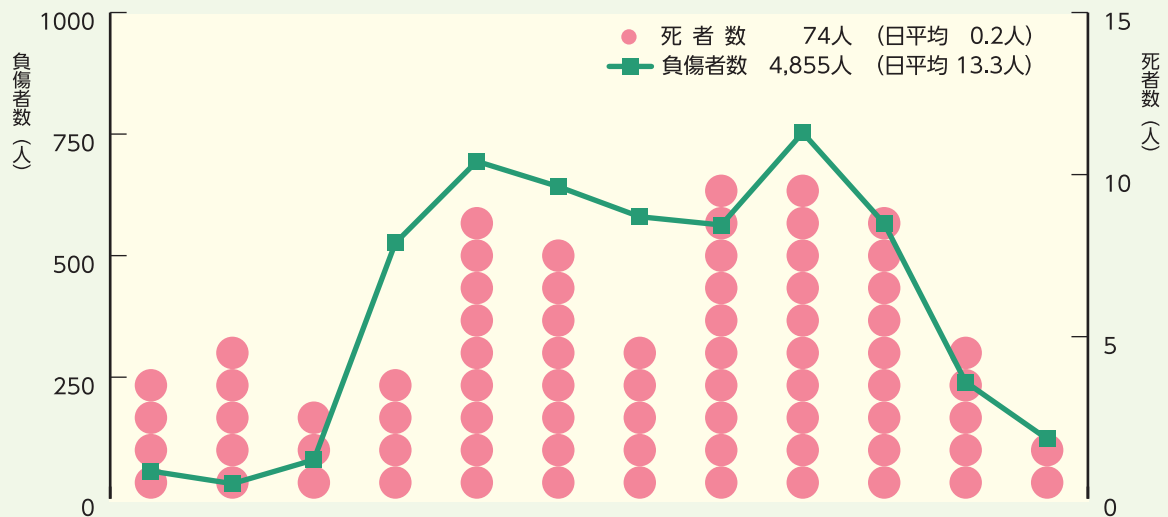
## 月別発生状況



区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
死者数	7	5	9	5	7	5	4	8	7	4	4	9	74
負傷者数	442	302	450	391	398	407	395	410	337	437	466	420	4,855

★死者数は3月・12月が、負傷者数は11月が最も多い。

## 時間別発生状況

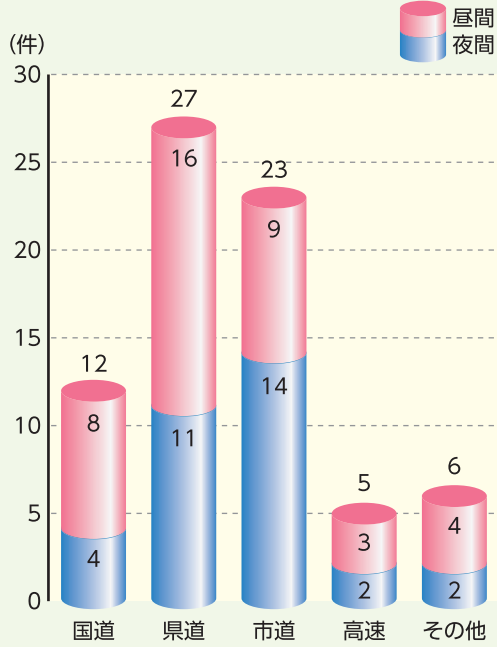


区分	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	計
死者数	4	5	3	4	9	8	5	10	10	9	5	2	74
負傷者数	57	31	80	526	694	642	580	563	753	566	240	123	4,855

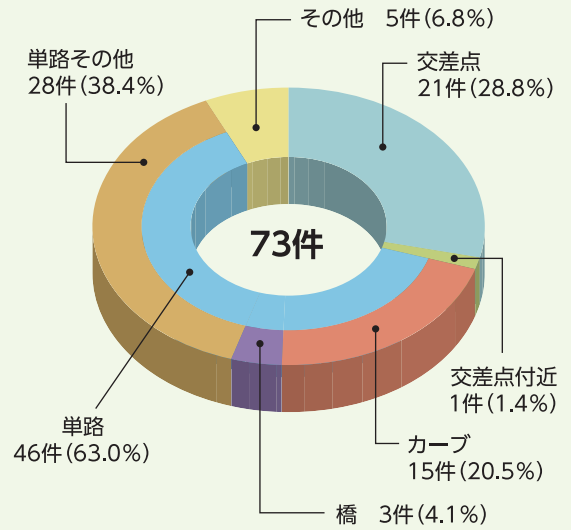
★死者数は14～18時が、負傷者数は16～18時が最も多い。

## どこで

■ 道路別発生件数



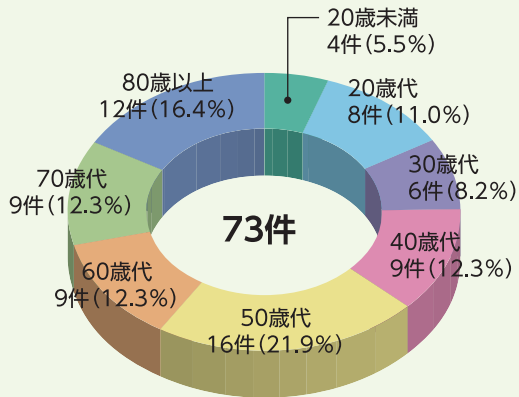
■ 道路形状別発生件数



★死亡事故の6割以上が単路で発生

## だれが

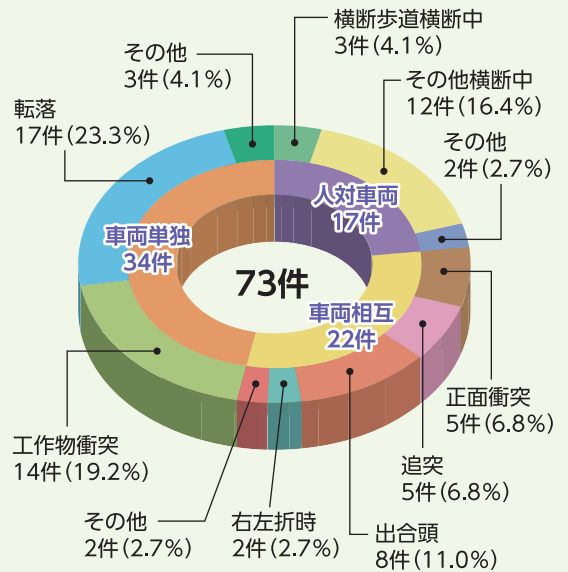
■ 第1当事者の年齢の発生件数



★50歳代が最も多い。

## どんな事故で

■ 事故類型別の発生件数



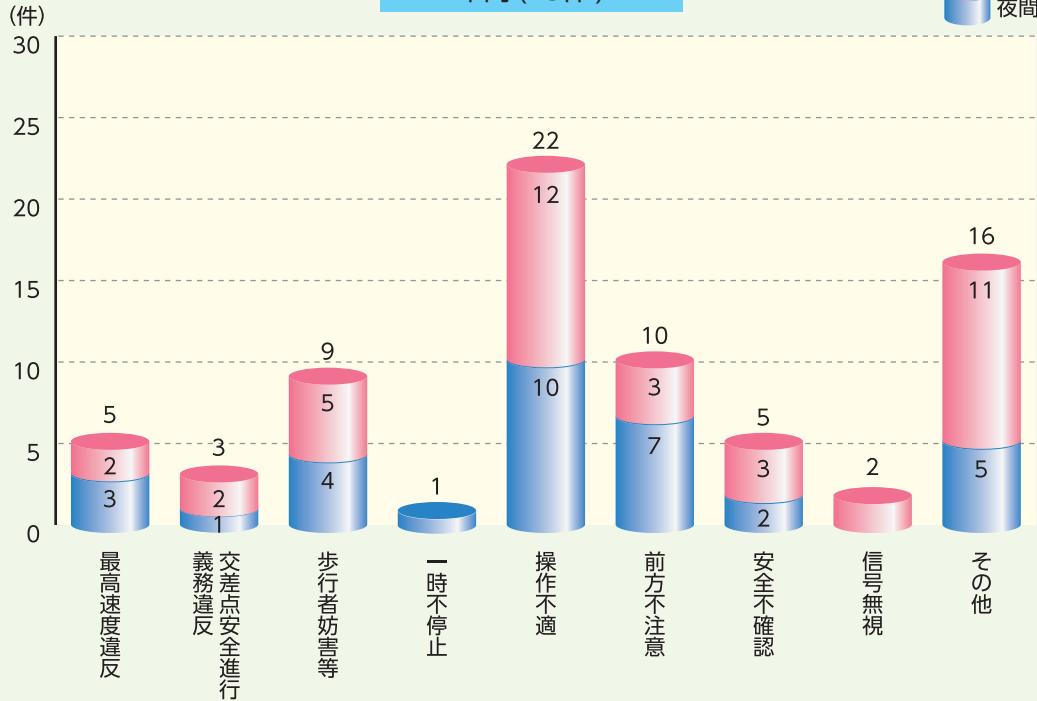
★車両単独事故が最も多く、4割以上を占めている。

## どんな原因で

### ■ 第1当事者の法令違反

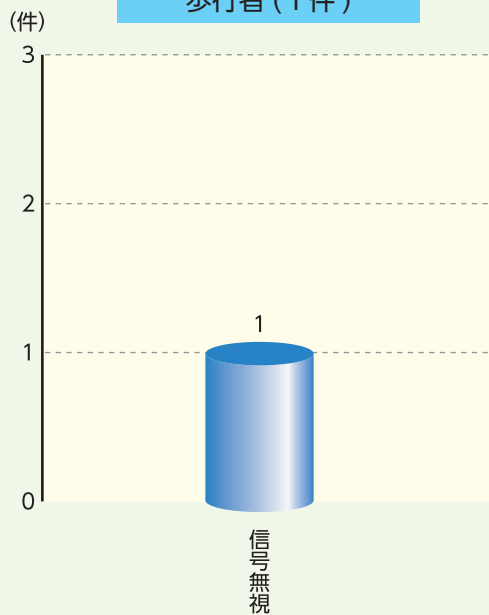
車両 (73件)

■ 昼間  
■ 夜間



★操作不適が最も多く、次いで前方不注意が多い。

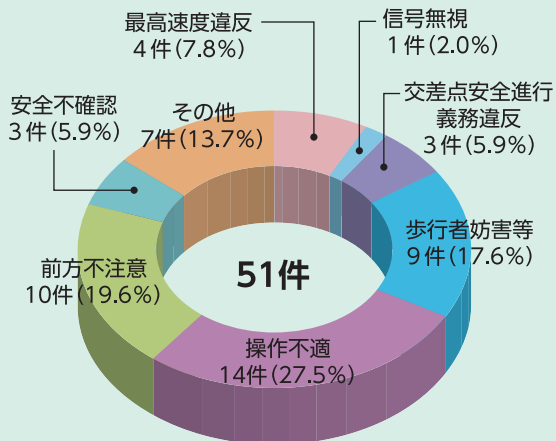
歩行者 (1件)



# 状態別・年代別にみる交通事故状況

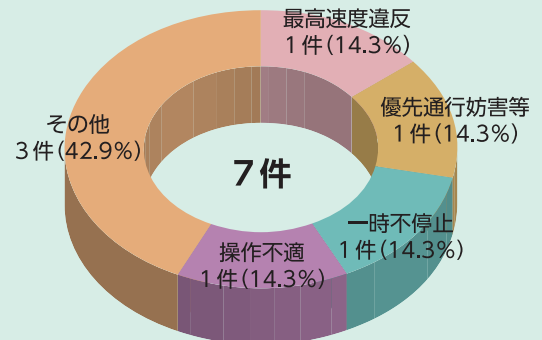
## 状態別死亡事故原因

### ■ 四輪車運転中

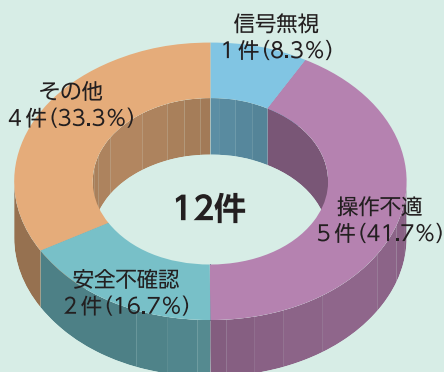


★四輪車は操作不適が最も多い。

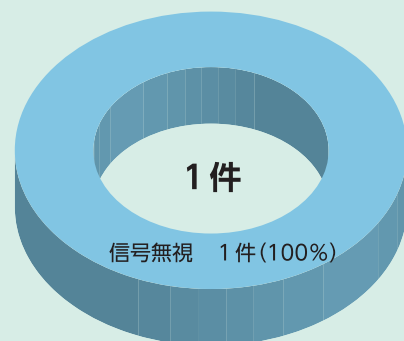
### ■ 二輪車運転中



### ■ 自転車乗用中



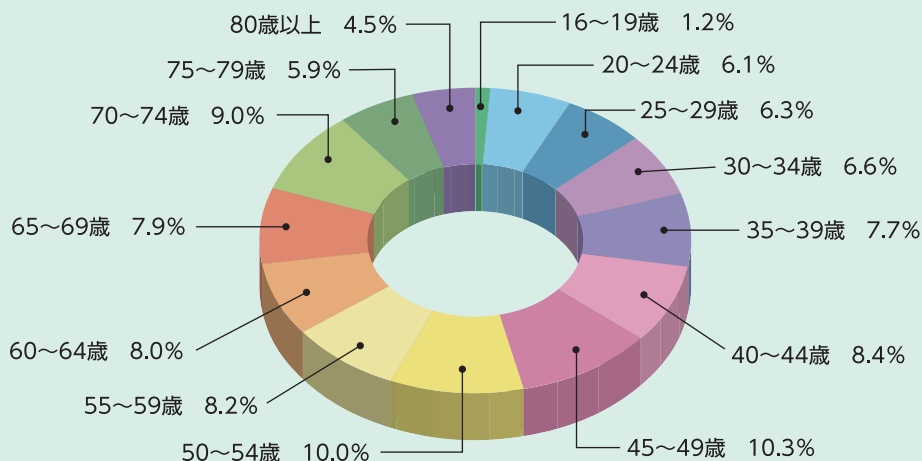
### ■ 歩行者



# 年代別免許保有者

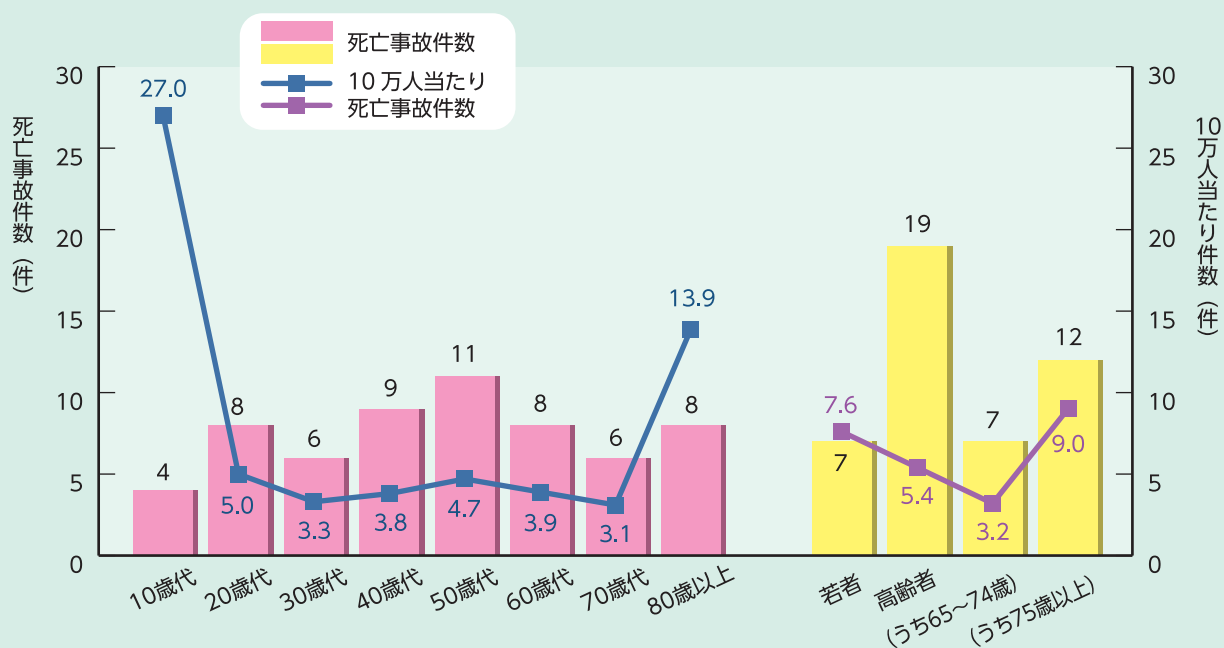
■年代別免許保有者

区分	16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	計
免許人口	14,820	77,883	80,536	85,009	99,129	107,561	131,804	128,024	104,931	102,043	101,568	115,285	75,423	57,414	1,281,430
構成率	1.2	6.1	6.3	6.6	7.7	8.4	10.3	10.0	8.2	8.0	7.9	9.0	5.9	4.5	100.0



※免許人口は令和4年12月末現在

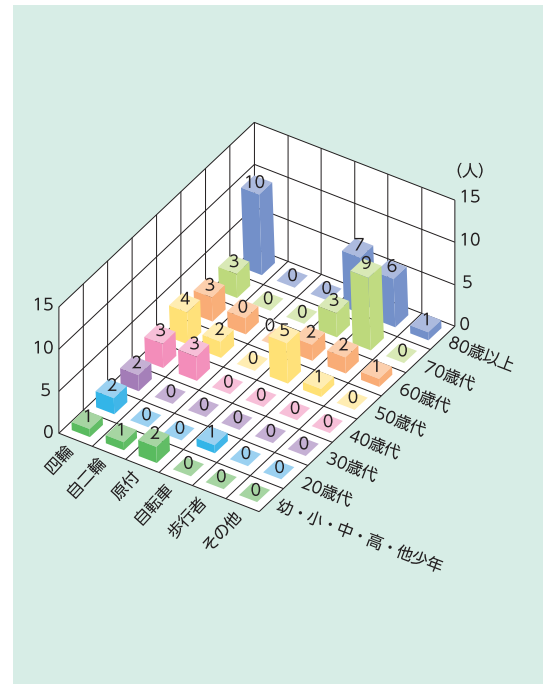
■免許保有者10万人当たりの死亡事故件数（第1当事者が原付以上）



★免許保有者10万人当たりの死亡事故件数は、10歳代が多い。

## 年代別・状態別被害状況

区分	四輪	自二輪	原付	自転車	歩行者	その他	合計	構成率	前年対比
幼・小・中・高・他少年	1	1	2	0	0	0	4	5.4	1
20歳代	2	0	0	1	0	0	3	4.1	0
30歳代	2	0	0	0	0	0	2	2.7	0
40歳代	3	3	0	0	0	0	6	8.1	2
50歳代	4	2	0	5	1	0	12	16.2	6
60歳代	3	0	0	2	2	1	8	10.8	3
70歳代	3	0	0	3	9	0	15	20.3	-2
80歳以上	10	0	0	7	6	1	24	32.4	7
合計	28	6	2	18	18	2	74	100.0	17
構成率	37.8	8.1	2.7	24.3	24.3	2.7	100.0	-	-
前年対比	10	3	0	9	-5	0	17	-	-
若者	2	1	2	1	0	0	6	8.1	0
高齢者	15	0	0	11	16	2	44	59.5	9
うち 65~74歳	3	0	0	2	3	1	9	12.2	-3
うち 75歳以上	12	0	0	9	13	1	35	47.3	12

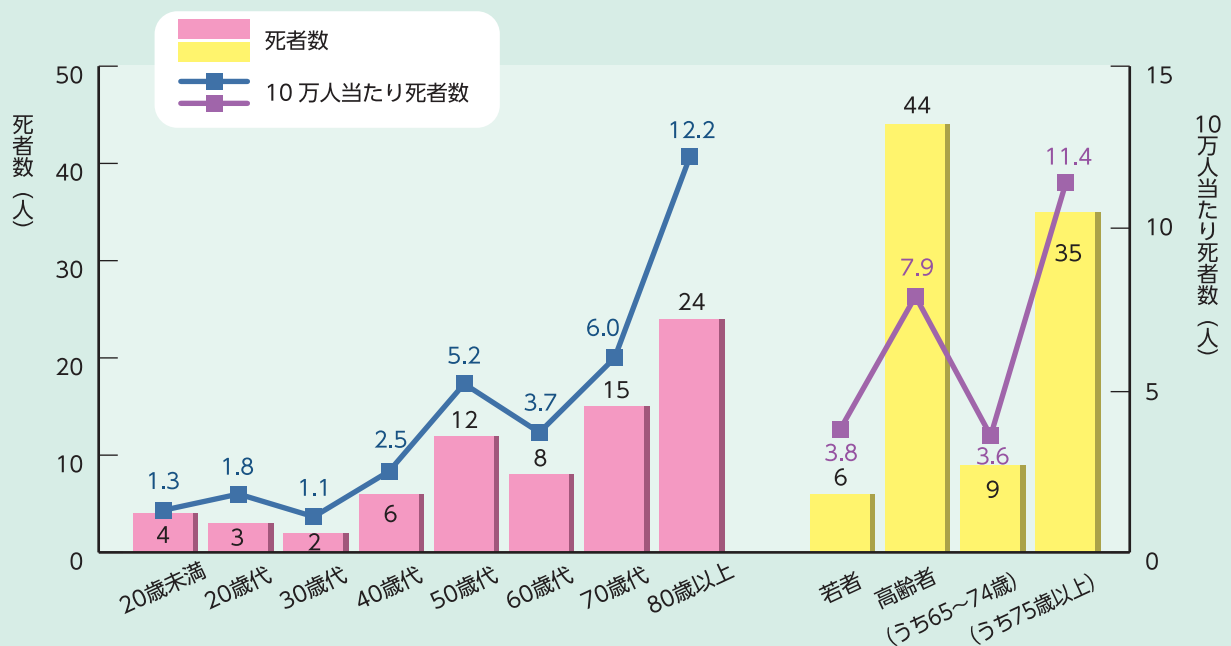


※若者、高齢者は重複計上。

★高齢者死者が約6割を占めている。

★四輪車の死者の割合(37.8%)が最も高い。

## 人口10万人当たりの死者数

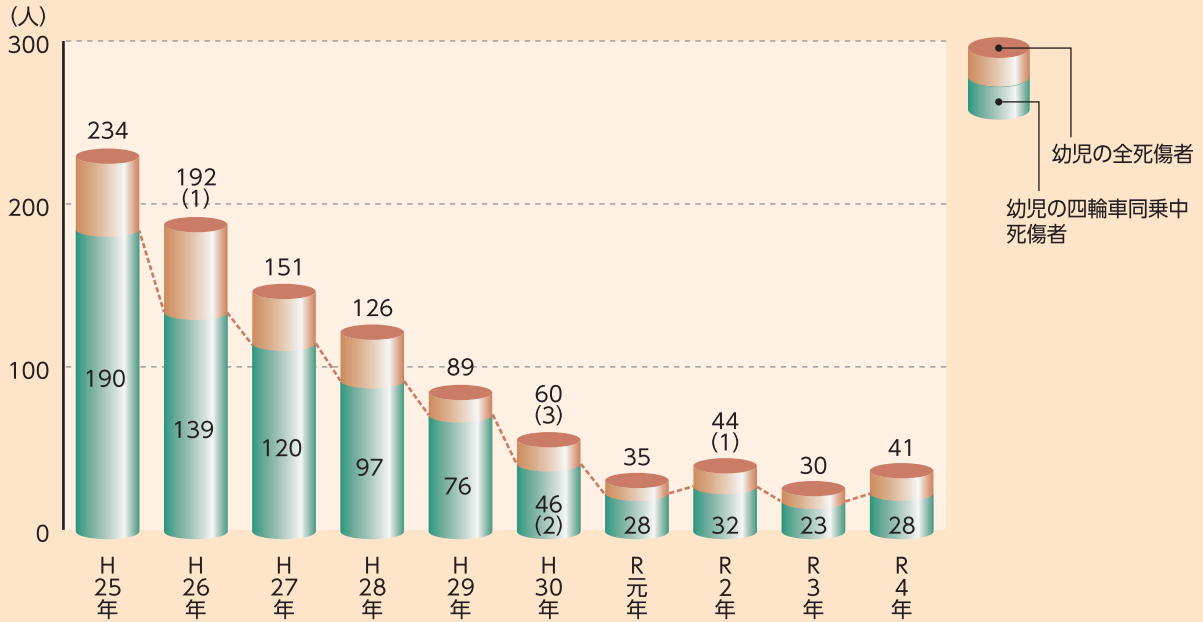


※人口は令和4年10月1日現在

★人口10万人当たりの死者数は80歳以上が多い。

# 幼児の交通事故（未就学児）

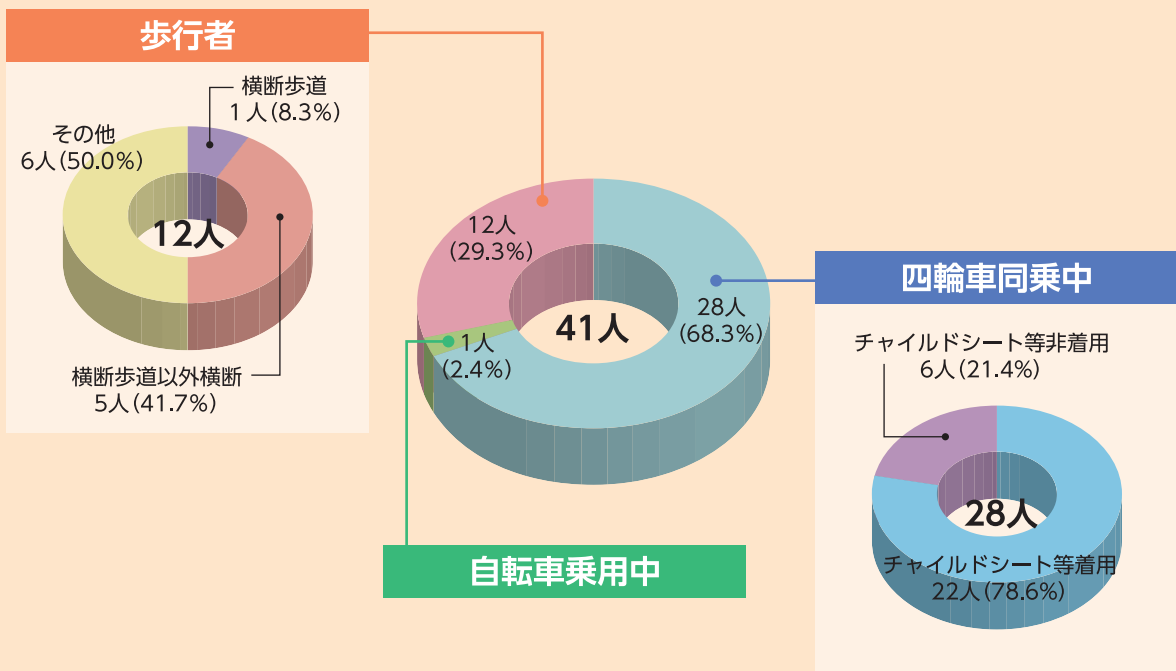
## ■ 幼児の死傷者数の推移



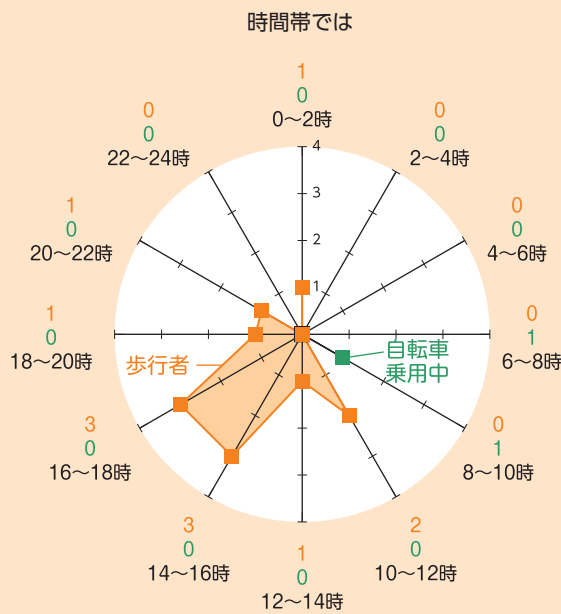
★死傷者のうち、四輪車同乗中が7割近くを占めている。

※ ( ) は死者数で内数

## ■ どんな状態で被害にあっているのか



### いつ被害にあっているのか



区分	歩行者		自転車乗用中	
	死傷者数	構成率	死傷者数	構成率
0~2	1	8.3	0	0.0
2~4	0	0.0	0	0.0
4~6	0	0.0	0	0.0
6~8	0	0.0	0	0.0
8~10	0	0.0	1	100.0
10~12	2	16.7	0	0.0
12~14	1	8.3	0	0.0
14~16	3	25.0	0	0.0
16~18	3	25.0	0	0.0
18~20	1	8.3	0	0.0
20~22	1	8.3	0	0.0
22~24	0	0.0	0	0.0
合計	12	100.0	1	100.0

※自転車は同乗者を含まない。

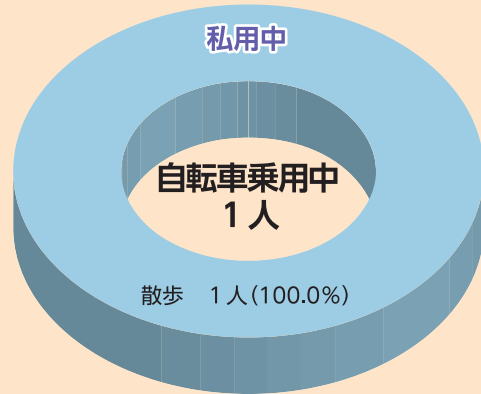
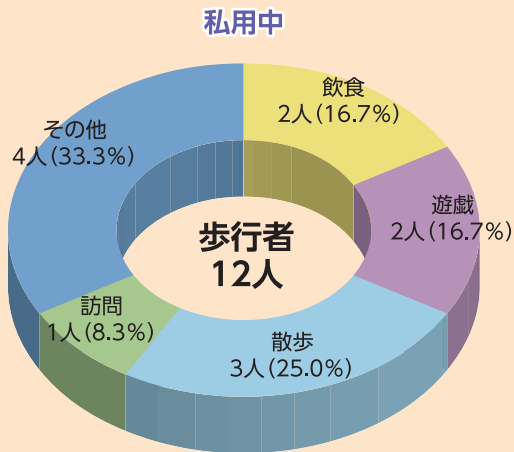
### どこで被害にあっているのか



※自転車は同乗者を含まない。

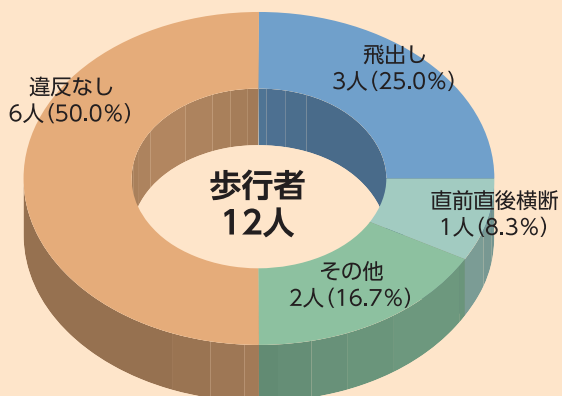


■ どんなときに被害にあっているのか



※自転車は同乗者を含まない。

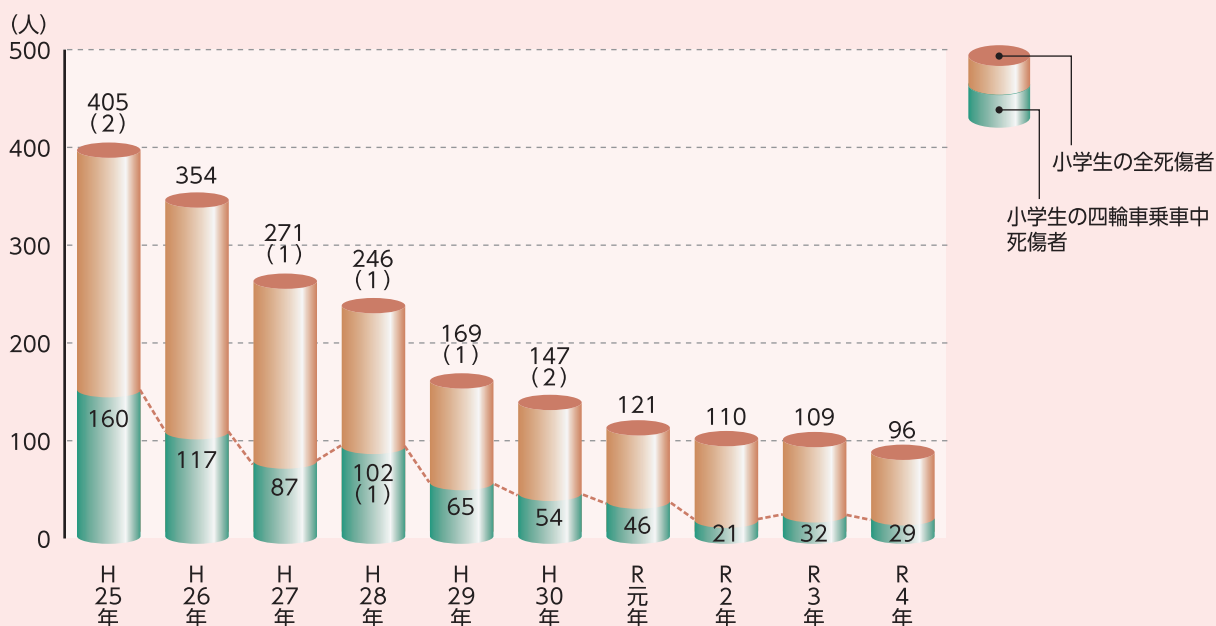
■ どんな原因で被害にあっているのか（幼児自身の違反による）



※自転車は同乗者を含まない。

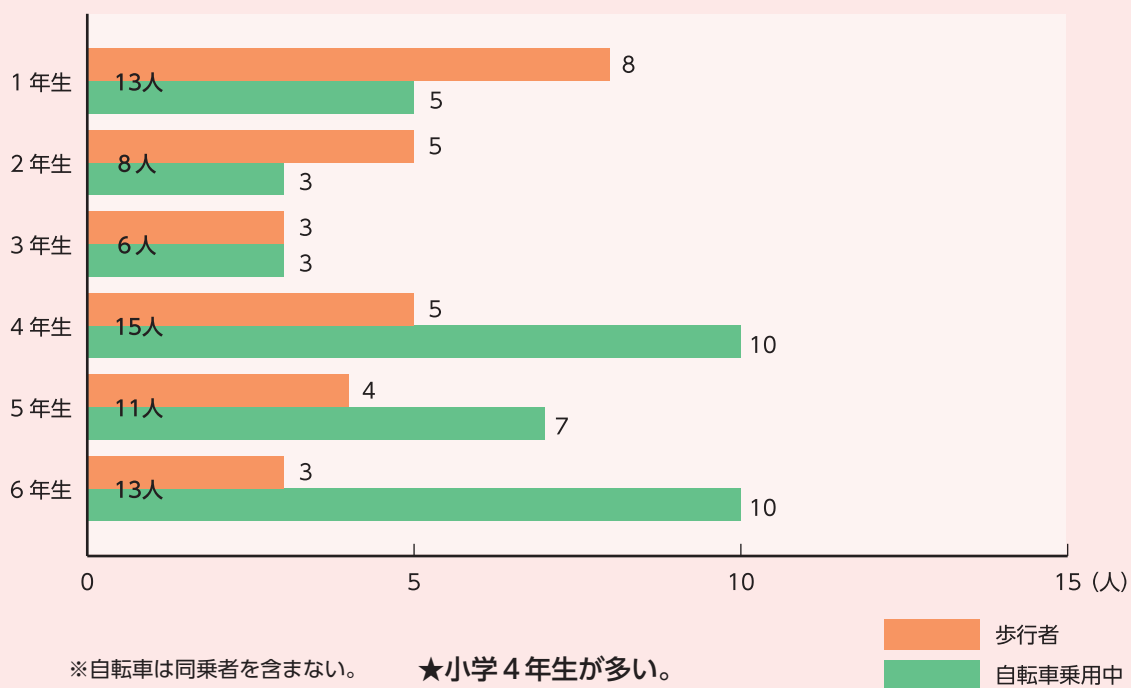
# 小学生の交通事故

小学生の死傷者数の推移



※ ( ) は死者数で内数

学年別の死傷者数は（四輪車乗車中を除く）

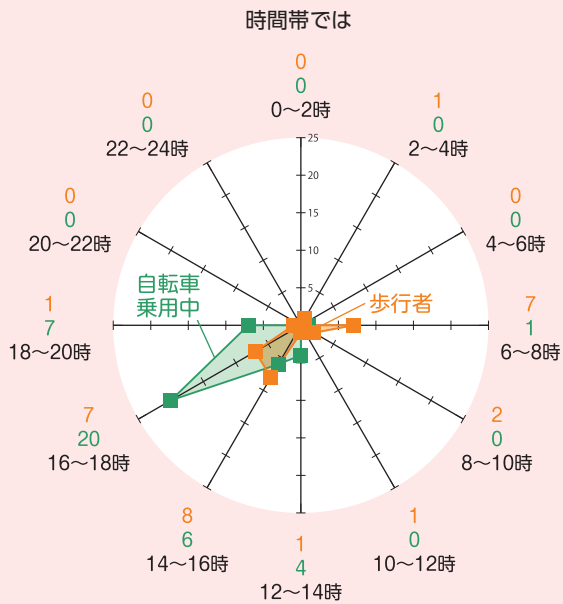


※自転車は同乗者を含まない。

★小学4年生が多い。

歩行者  
自転車乗用中

## いつ被害にあっているのか

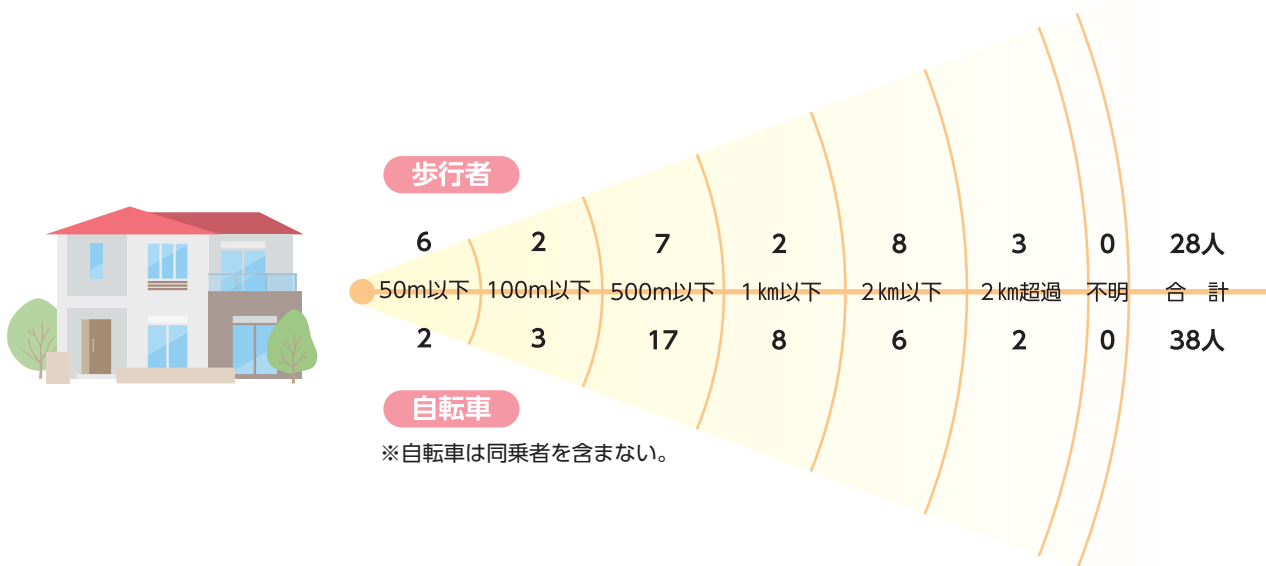


★歩行者・自転車乗用中ともに14～18時の時間帯における発生が多い。

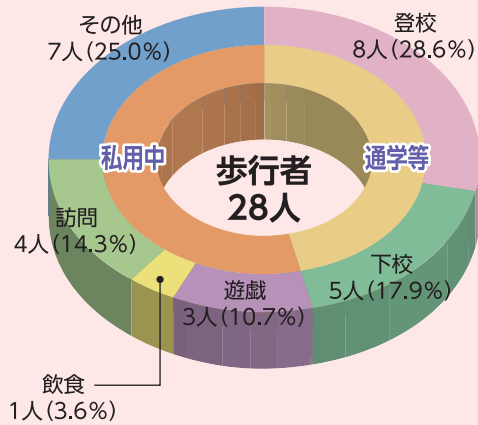
区分	歩行者		自転車乗用中	
	死傷者数	構成率	死傷者数	構成率
0～2	0	0.0	0	0.0
2～4	1	3.6	0	0.0
4～6	0	0.0	0	0.0
6～8	7	25.0	1	2.6
8～10	2	7.1	0	0.0
10～12	1	3.6	0	0.0
12～14	1	3.6	4	10.5
14～16	8	28.6	6	15.8
16～18	7	25.0	20	52.6
18～20	1	3.6	7	18.4
20～22	0	0.0	0	0.0
22～24	0	0.0	0	0.0
合計	28	100.0	38	100.0

※自転車は同乗者を含まない。

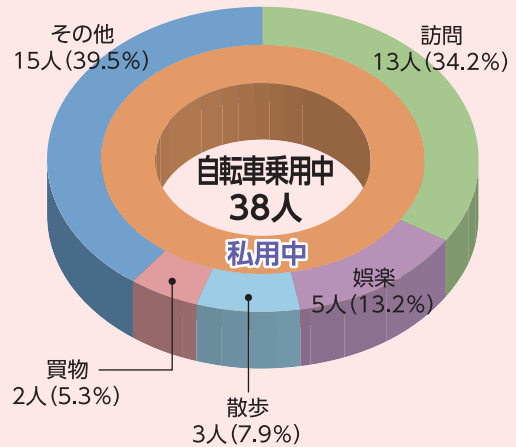
## どこで被害にあっているのか



■ どんなときに被害にあっているのか



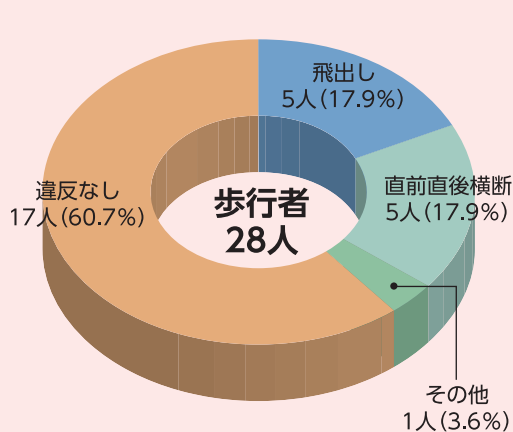
★登・下校時が多く、4割以上を占めている。



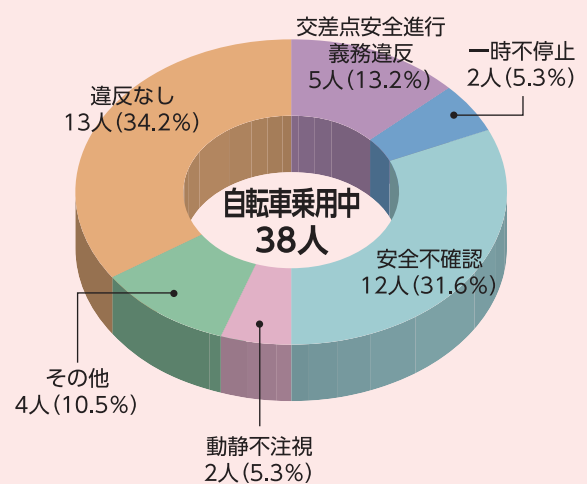
★訪問時が多い。

※自転車は同乗者を含まない。

■ どんな原因で被害にあっているのか（小学生自身の違反による）



★飛出し・直前直後横断が多い。

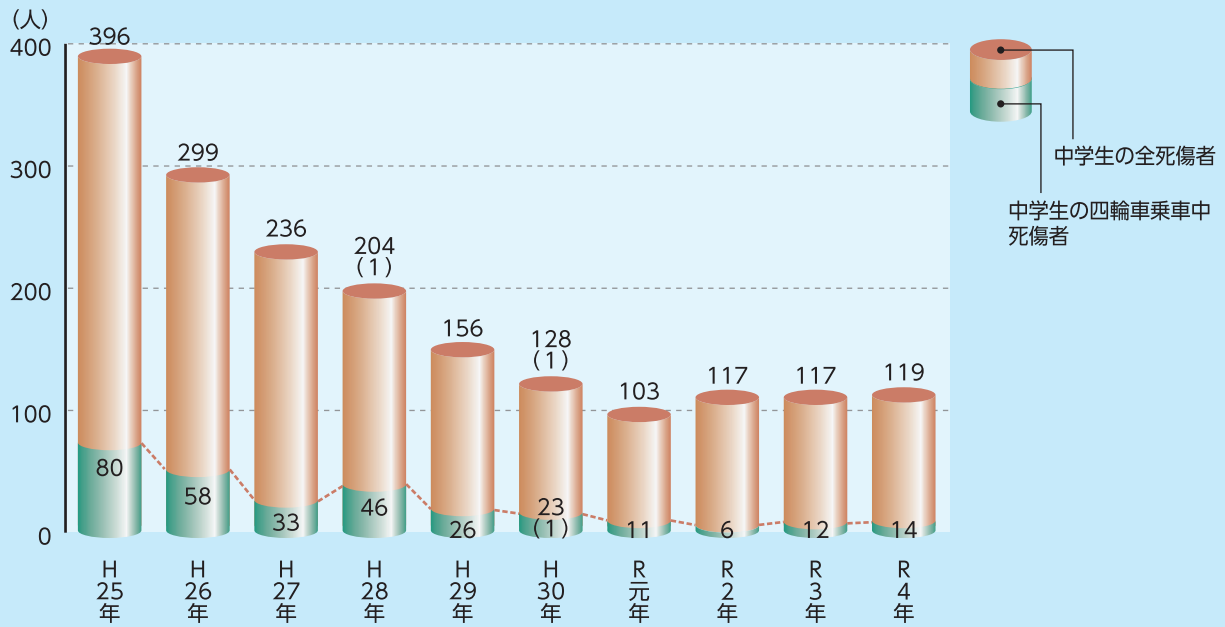


★安全不確認が多い。

※自転車は同乗者を含まない。

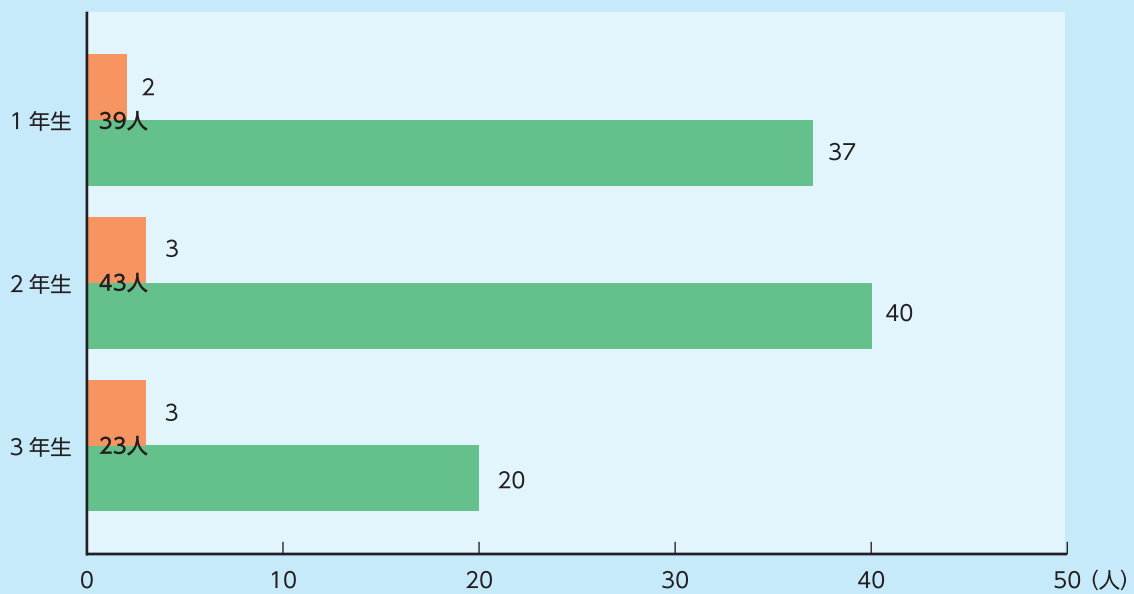
# 中学生の交通事故

■中学生の死傷者数の推移



※ ( ) は死者数で内数。

■学年別の死傷者数は

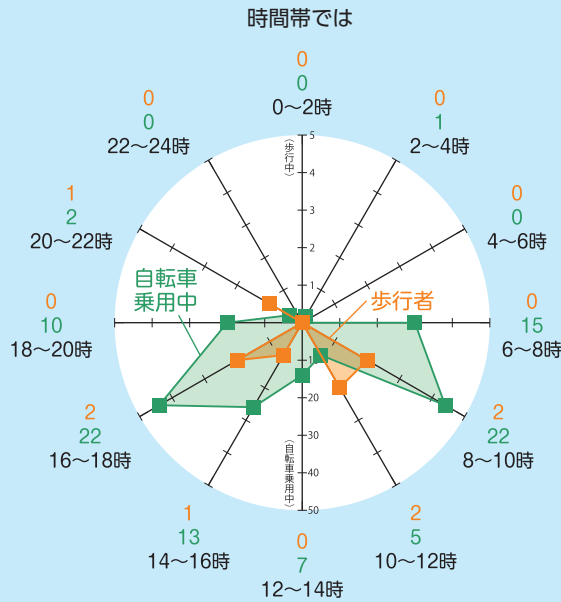


※自転車は同乗者を含まない。

★大半の死傷者が自転車乗用中で、2年生が多い。

歩行者  
自転車乗用中

■いつ被害にあっているのか

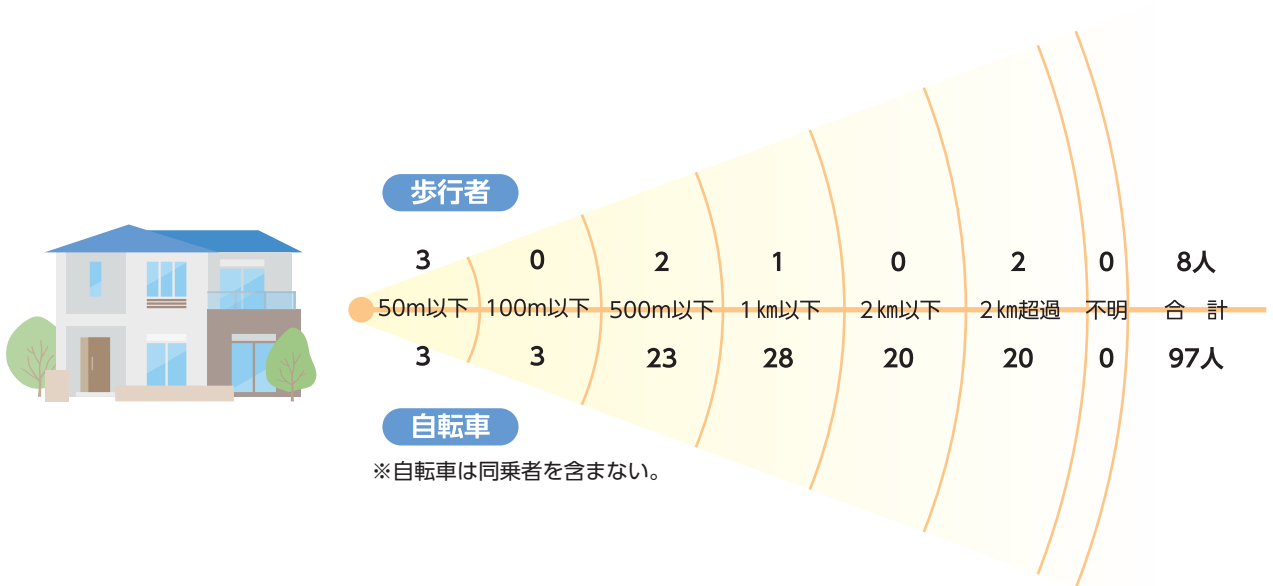


区分	歩行者		自転車乗用中	
	死傷者数	構成率	死傷者数	構成率
0~2	0	0.0	0	0.0
2~4	0	0.0	1	1.0
4~6	0	0.0	0	0.0
6~8	0	0.0	15	15.5
8~10	2	25.0	22	22.7
10~12	2	25.0	5	5.2
12~14	0	0.0	7	7.2
14~16	1	12.5	13	13.4
16~18	2	25.0	22	22.7
18~20	0	0.0	10	10.3
20~22	1	12.5	2	2.1
22~24	0	0.0	0	0.0
合計	8	100.0	97	100.0

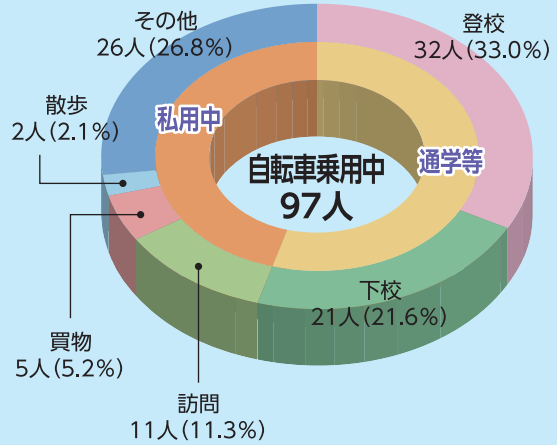
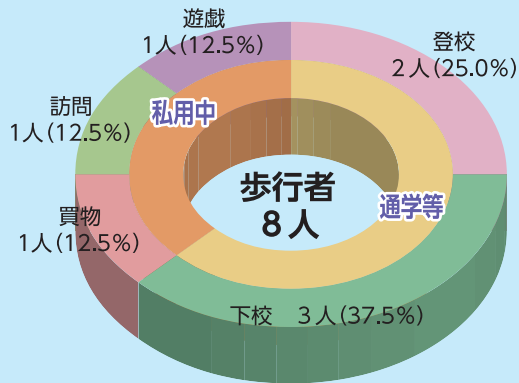
★自転車乗用中は16時~18時の時間帯が多い。

※自転車は同乗者を含まない。

■どこで被害にあっているのか



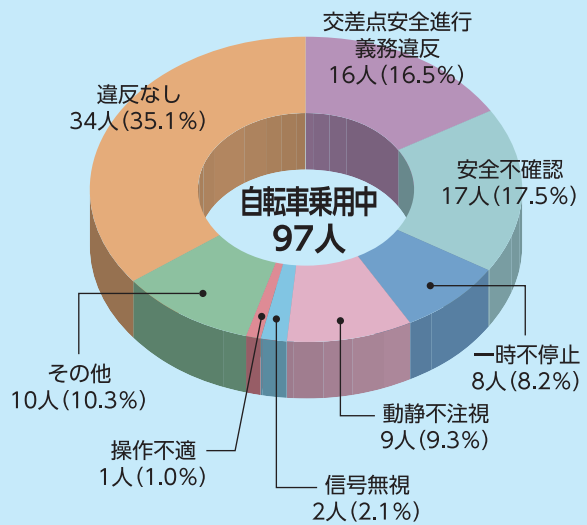
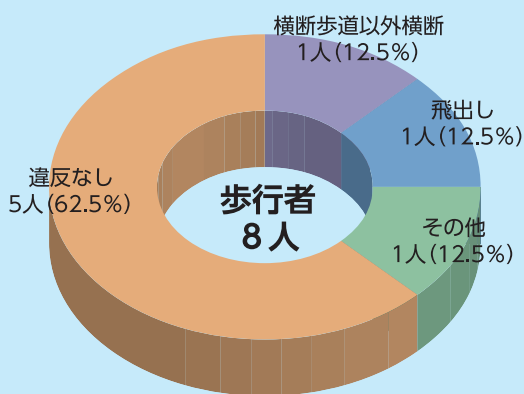
■ どんなときに被害にあっているのか



★登・下校時が多く、5割以上を占めている。

※自転車は同乗者を含まない。

■ どんな原因で被害にあっているのか（中学生自身の違反による）

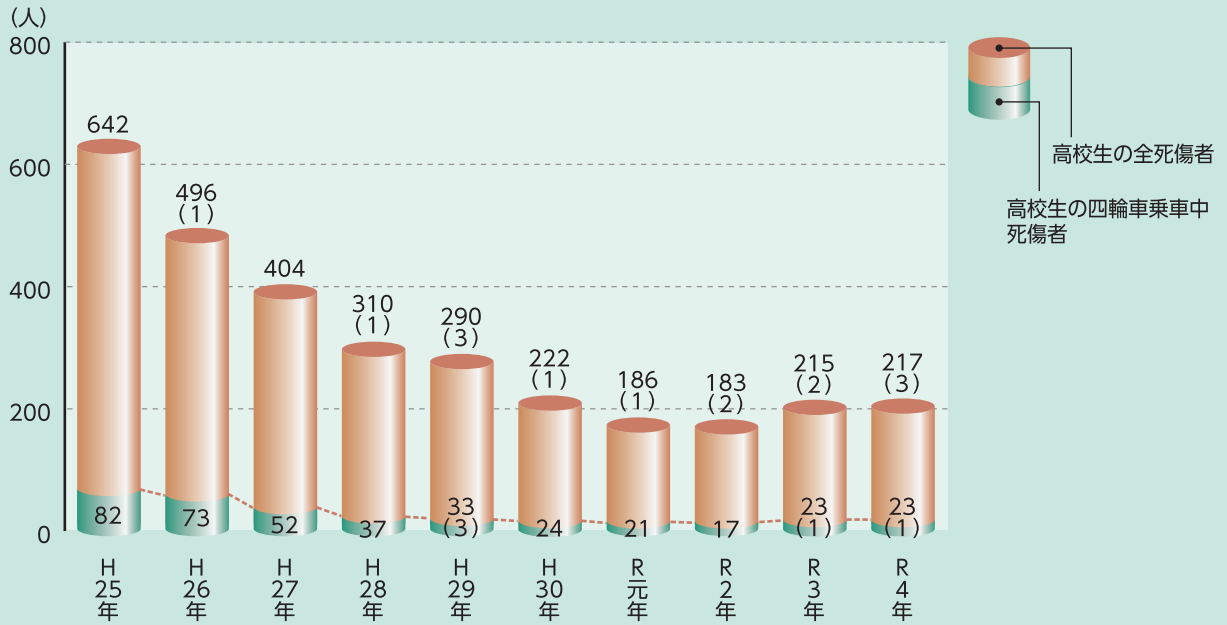


★安全不確認による事故が多い。

※自転車は同乗者を含まない。

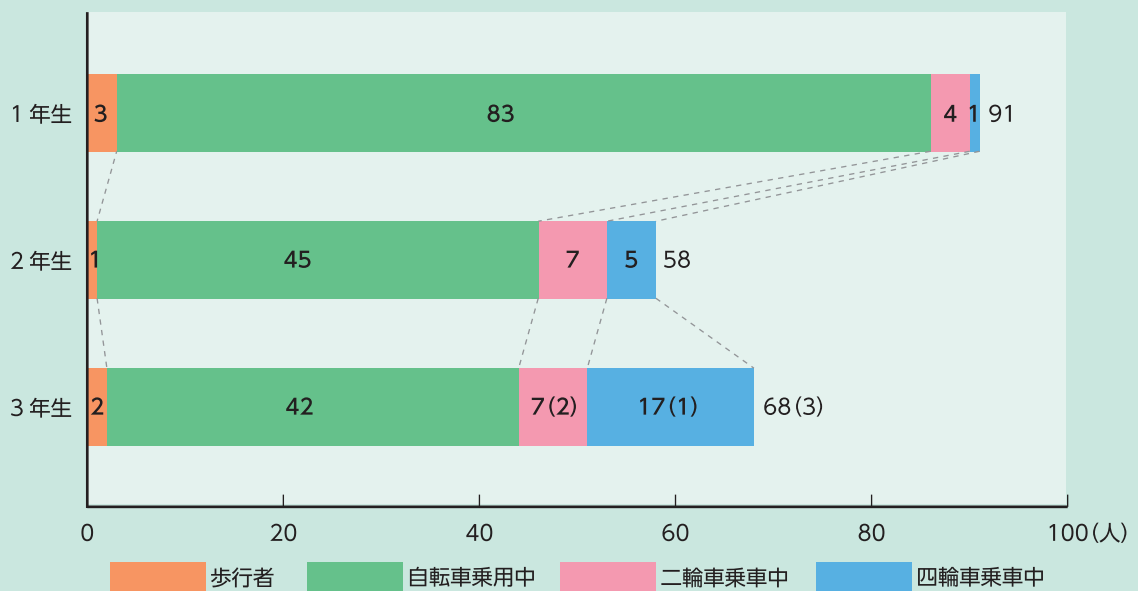
# 高校生の交通事故（被害）

■ 高校生の死傷者数の推移



※ ( ) は死者数で内数。

■ 学年別の死傷者数は



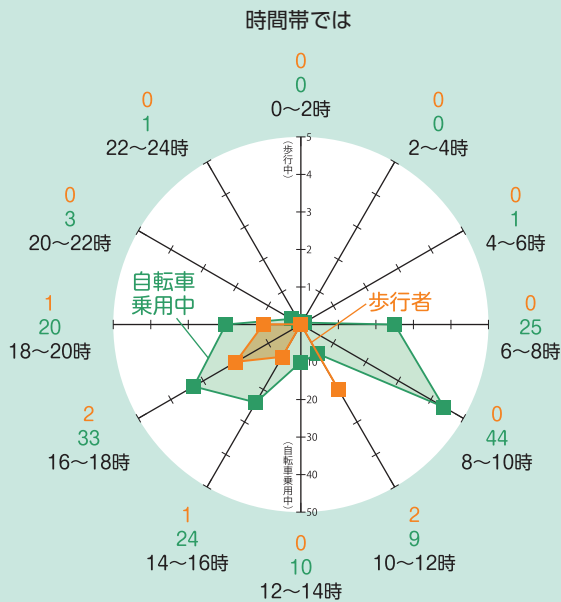
※自転車は同乗者を含まない。

★高校生の死傷者の大半は自転車乗用中で、1年生が多い。

※ ( ) は死者数で内数。



### いつ被害にあっているのか



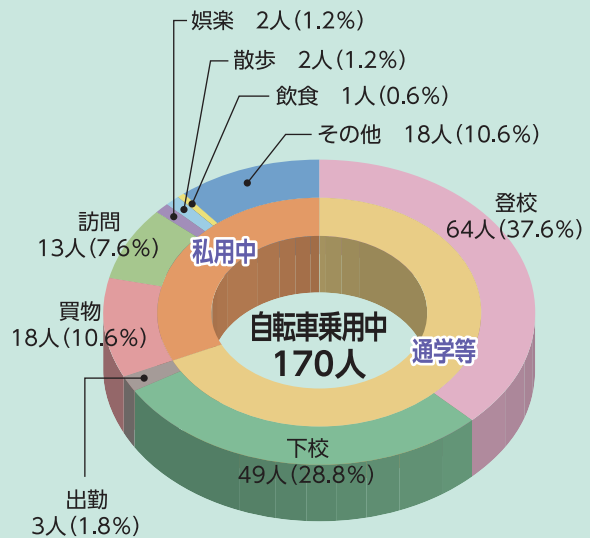
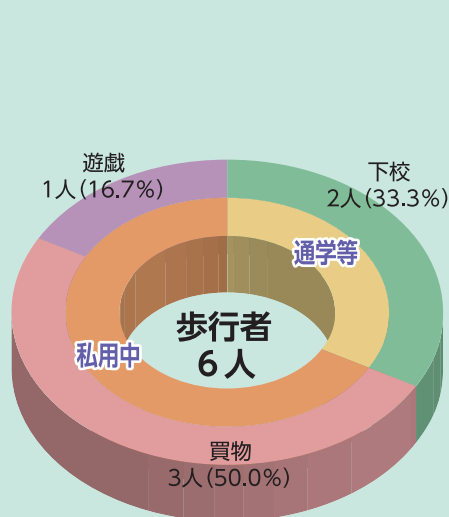
★自転車乗用中は、8時～10時の時間帯が多い。

歩行者 自転車乗用中

区分	歩行者		自転車乗用中	
	死傷者数	構成率	死傷者数	構成率
0～2	0	0.0	0	0.0
2～4	0	0.0	0	0.0
4～6	0	0.0	1	0.6
6～8	0	0.0	25	14.7
8～10	0	0.0	44	25.9
10～12	2	33.3	9	5.3
12～14	0	0.0	10	5.9
14～16	1	16.7	24	14.1
16～18	2	33.3	33	19.4
18～20	1	16.7	20	11.8
20～22	0	0.0	3	1.8
22～24	0	0.0	1	0.6
合計	6	100.0	170	100.0

※自転車は同乗者を含まない。

### どんなときに被害にあっているのか

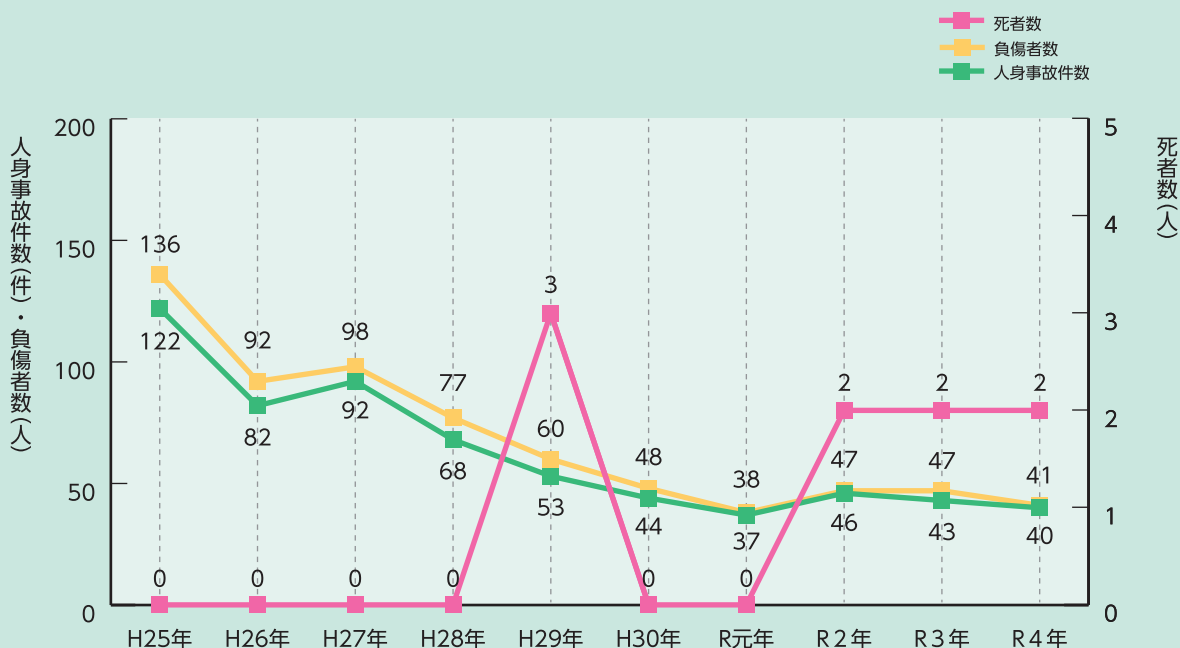


★登・下校時が多く、6割以上を占めている。

※自転車は同乗者を含まない。

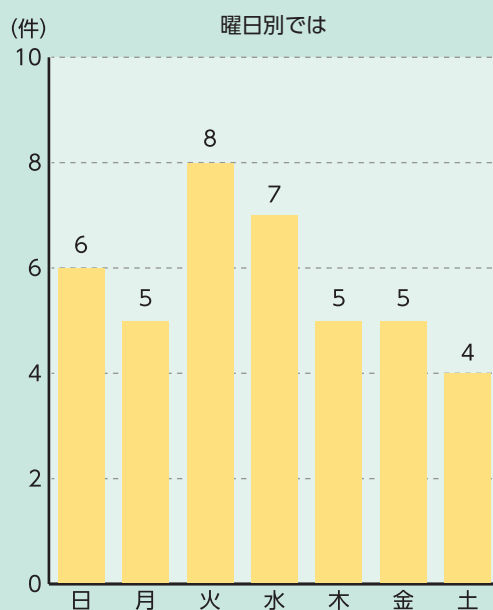
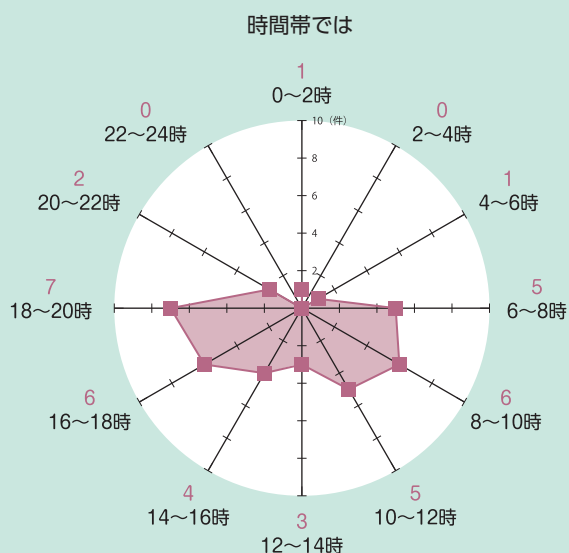
# 高校生の交通事故（第1当事者）

## ■ 高校生が起こした事故の推移



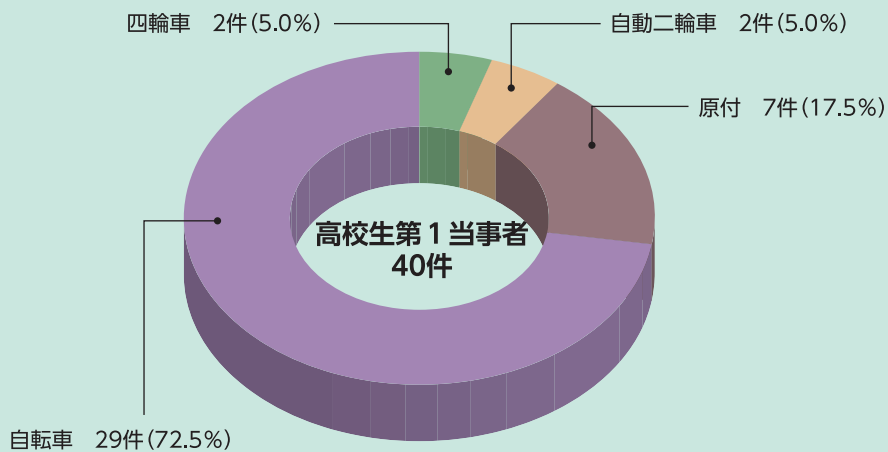
★人身事故件数は前年から減少した。

## ■ いつ起こしているのか（件）



★ 18時～20時の時間帯が最も多い。

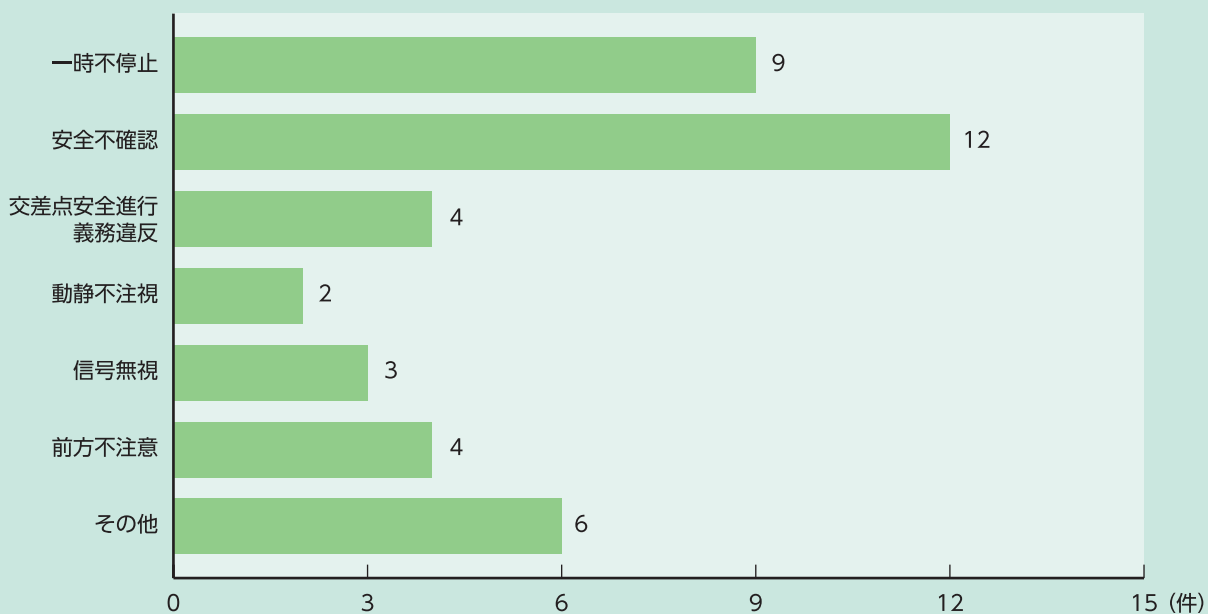
### ■どんな状態で起こしているのか



区 分	四輪車	自動二輪車	原付	自転車	合計
件 数	2	2	7	29	40
構 成 率	5.0	5.0	17.5	72.5	100.0

★自転車乗用中が7割以上を占めている。

### ■どんな原因が多いのか



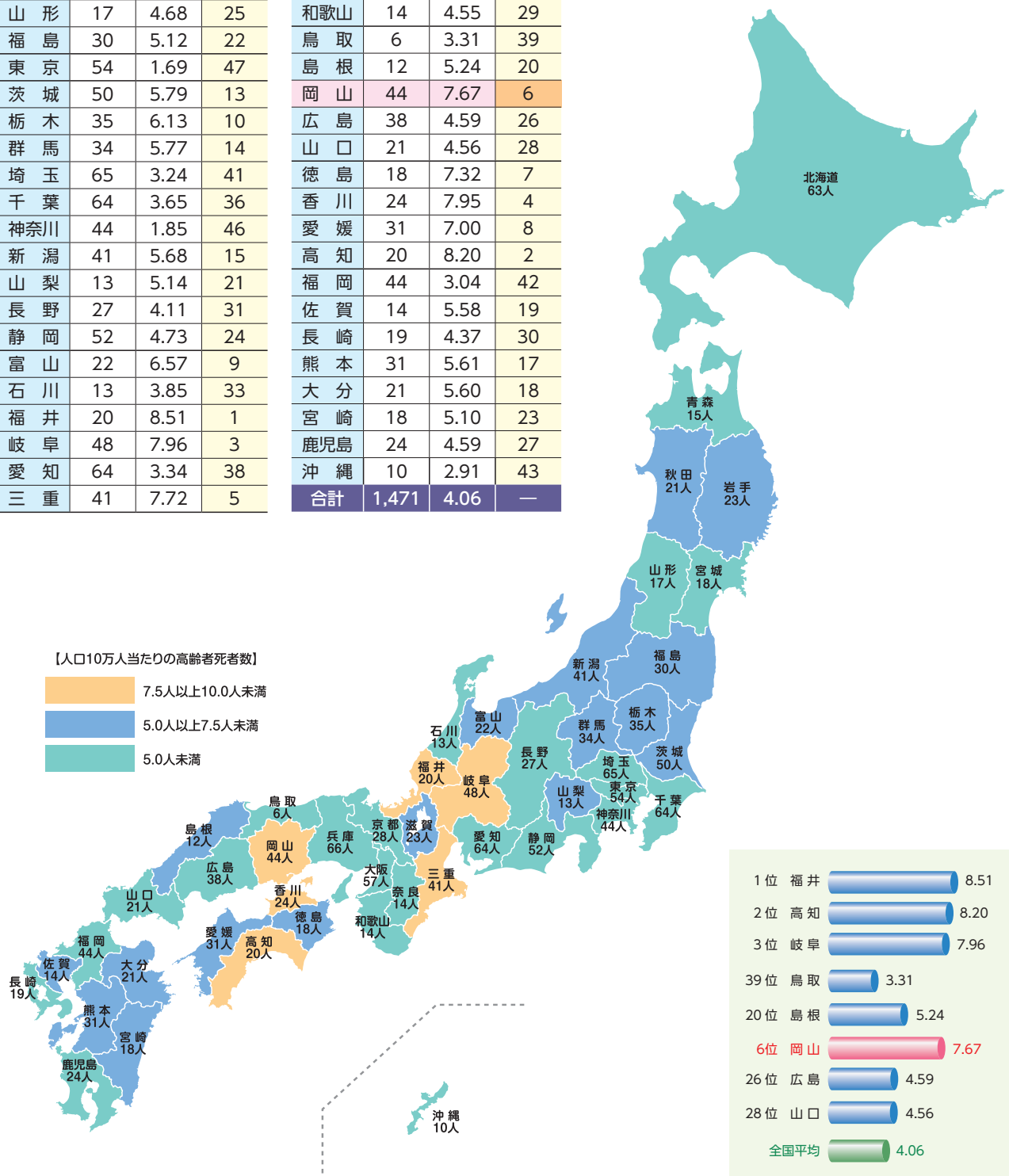
★安全不確認による事故が多い。

# 高齢者の交通事故状況

## 都道府県別の交通事故状況

区分	死者数		
	10万人当たり	ワースト順位	
北海道	63	3.74	34
青森	15	3.58	37
岩手	23	5.62	16
宮城	18	2.74	44
秋田	21	5.87	12
山形	17	4.68	25
福島	30	5.12	22
東京	54	1.69	47
茨城	50	5.79	13
栃木	35	6.13	10
群馬	34	5.77	14
埼玉	65	3.24	41
千葉	64	3.65	36
神奈川	44	1.85	46
新潟	41	5.68	15
山梨	13	5.14	21
長野	27	4.11	31
静岡	52	4.73	24
富山	22	6.57	9
石川	13	3.85	33
福井	20	8.51	1
岐阜	48	7.96	3
愛知	64	3.34	38
三重	41	7.72	5

区分	死者数		
	10万人当たり	ワースト順位	
滋賀	23	6.07	11
京都	28	3.70	35
大阪	57	2.34	45
兵庫	66	4.10	32
奈良	14	3.31	40
和歌山	14	4.55	29
鳥取	6	3.31	39
島根	12	5.24	20
岡山	44	7.67	6
広島	38	4.59	26
山口	21	4.56	28
徳島	18	7.32	7
香川	24	7.95	4
愛媛	31	7.00	8
高知	20	8.20	2
福岡	44	3.04	42
佐賀	14	5.58	19
長崎	19	4.37	30
熊本	31	5.61	17
大分	21	5.60	18
宮崎	18	5.10	23
鹿児島	24	4.59	27
沖縄	10	2.91	43
合計	1,471	4.06	—



# 岡山県の高齢者死者数の推移

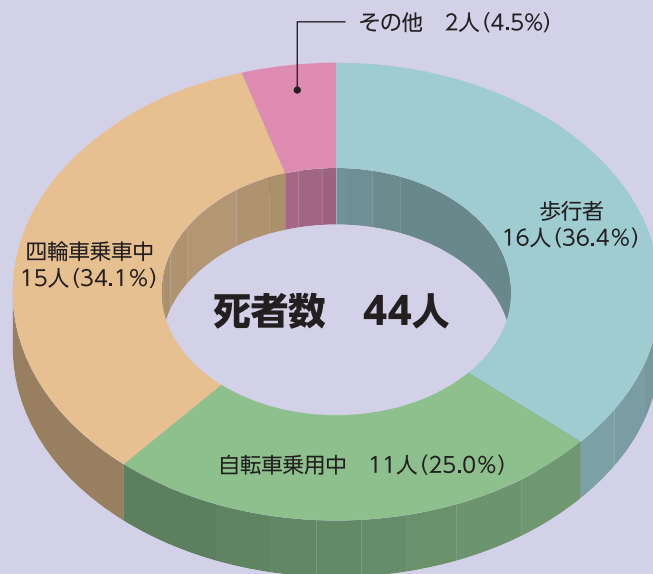
## ■岡山県の高齢者死者数の推移



区分	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
死者数	58	58	53	50	54	38	34	40	35	44
全死者に占める高齢者の割合(%)	54.2	64.4	60.9	63.3	55.7	55.9	45.3	64.5	61.4	59.5

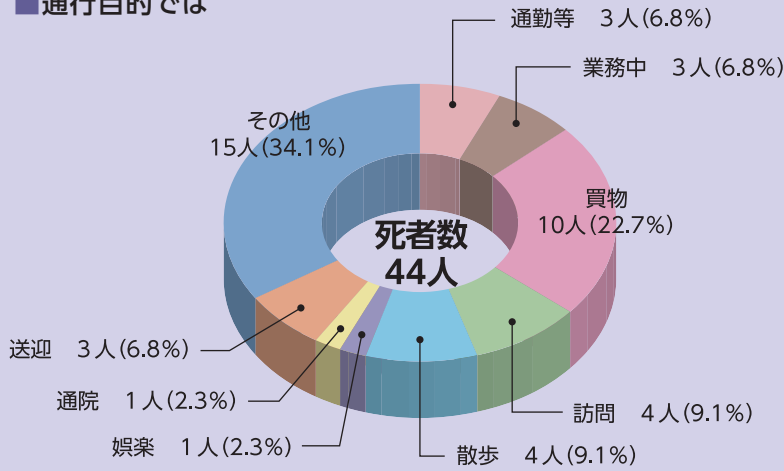
★死者数は増加した。

## ■どのような状態で死亡事故にあっているか



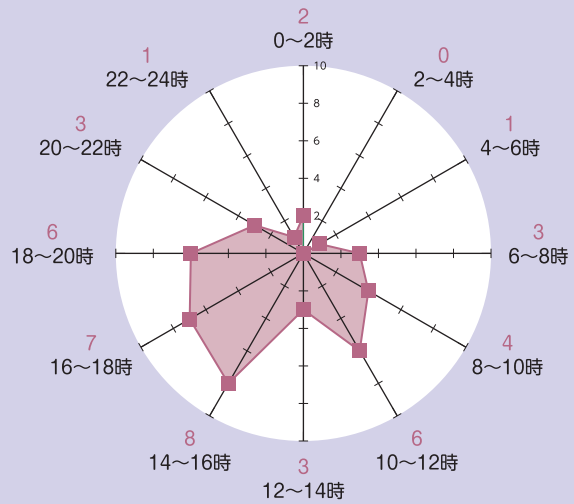
★歩行者の死者が最も多い。

■ 通行目的では

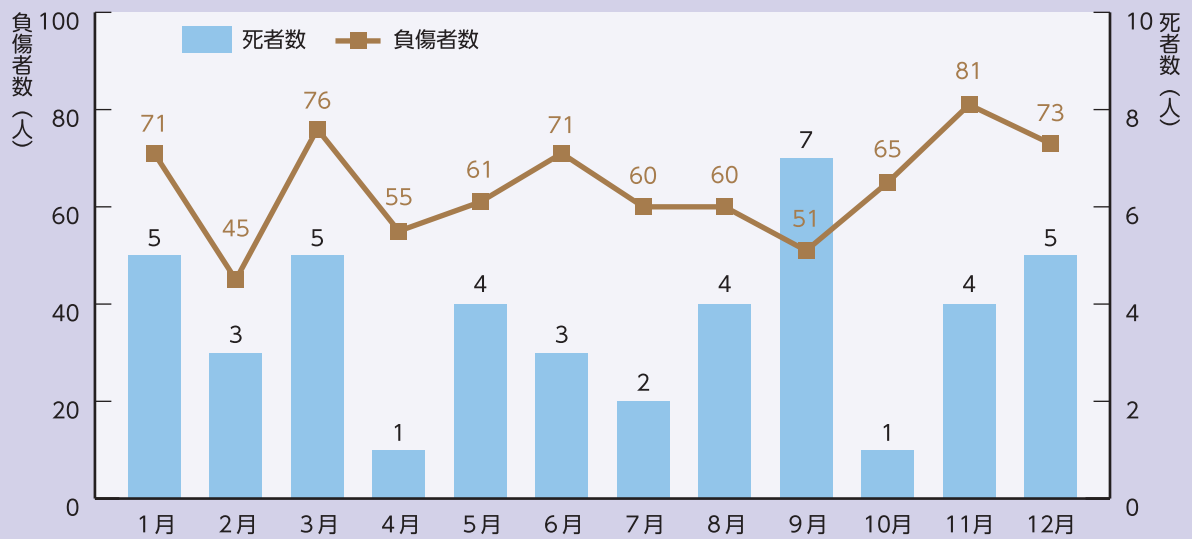


■ いつ (人)

★ 14時～16時の時間帯が最も多い。



■ 月別では

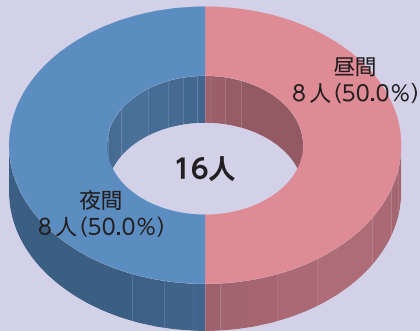


★ 死者は9月、負傷者は11月が最も多い。

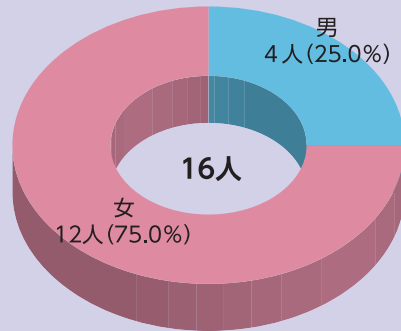
# 歩行者の被害状況

## 歩行者の被害状況

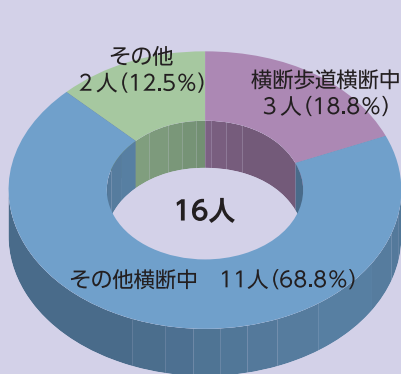
### 昼夜別では



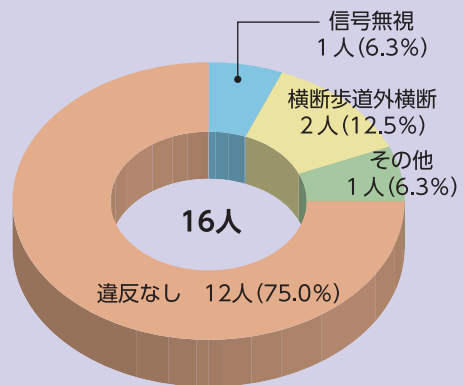
### 男女別では



### 事故類型は

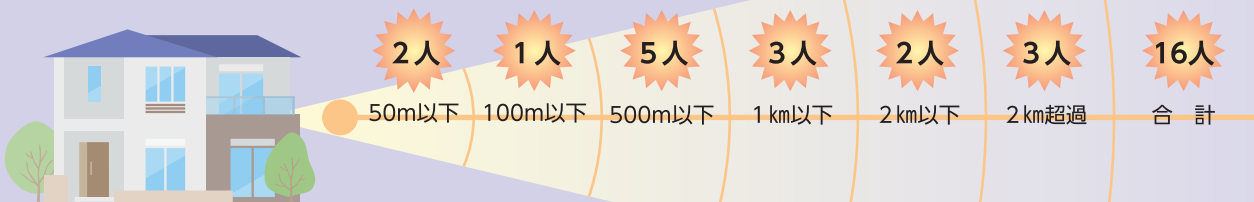


### どんな原因で



★道路横断中が8割以上を占めている。

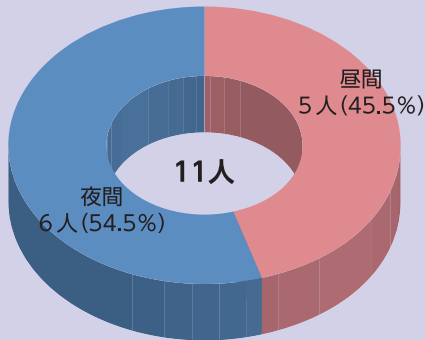
### 自宅からの距離は



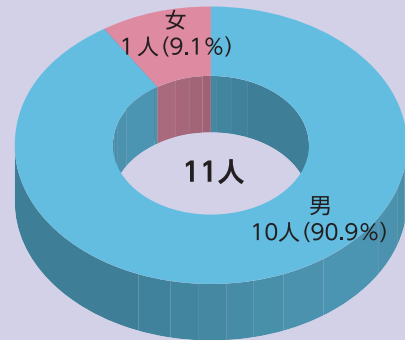
# 自転車乗用中の被害状況

## ■自転車乗用中の被害状況

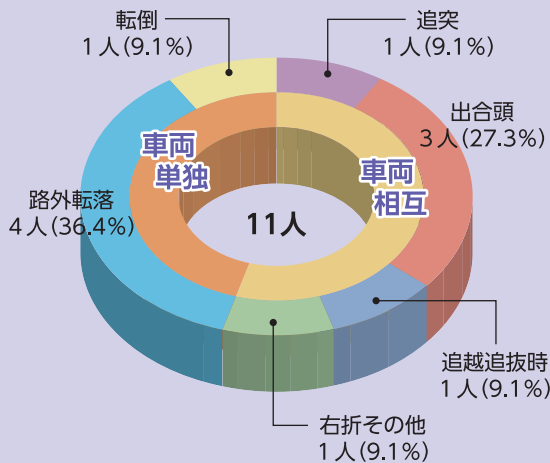
### ■昼夜別では



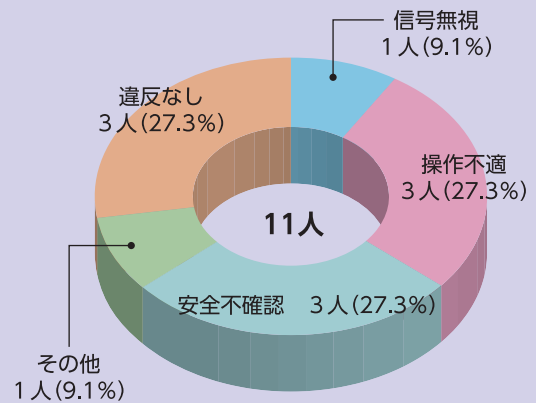
### ■男女別では



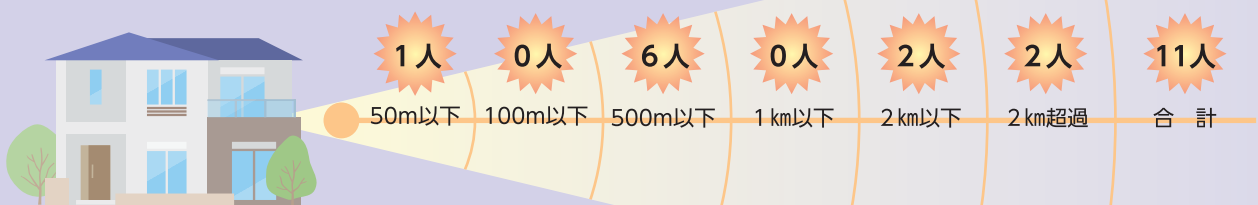
### ■事故類型は



### ■どんな原因で



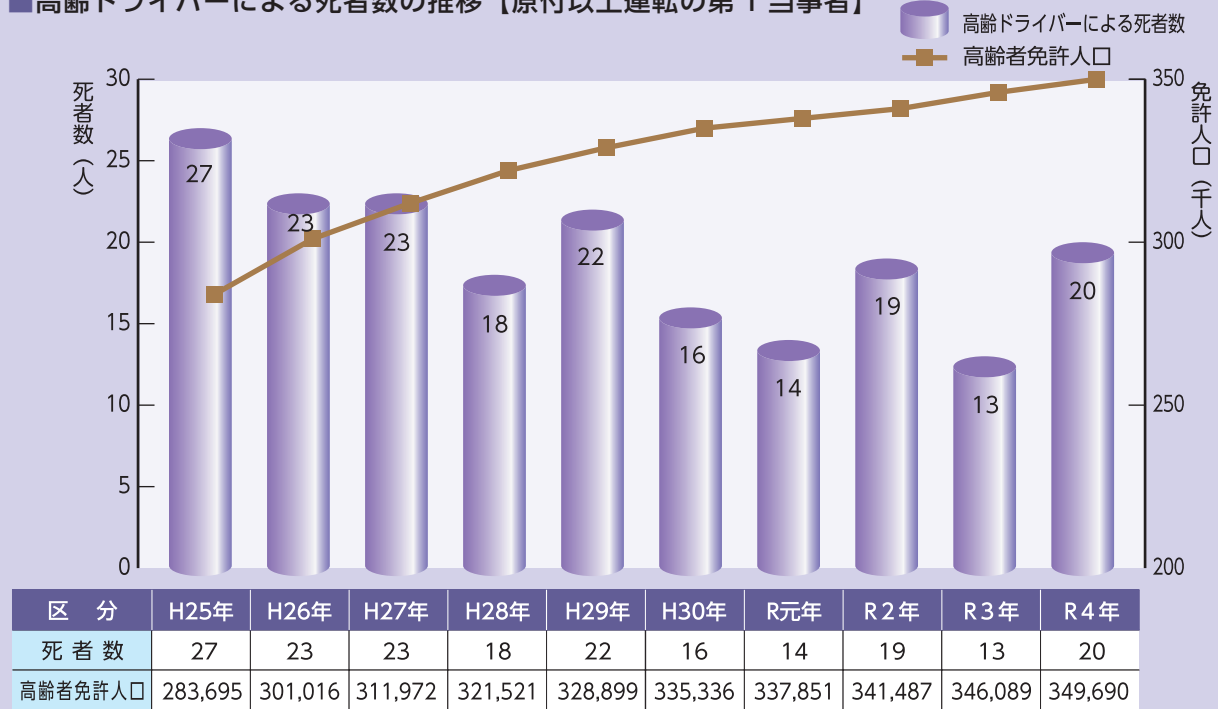
## ■自宅からの距離は



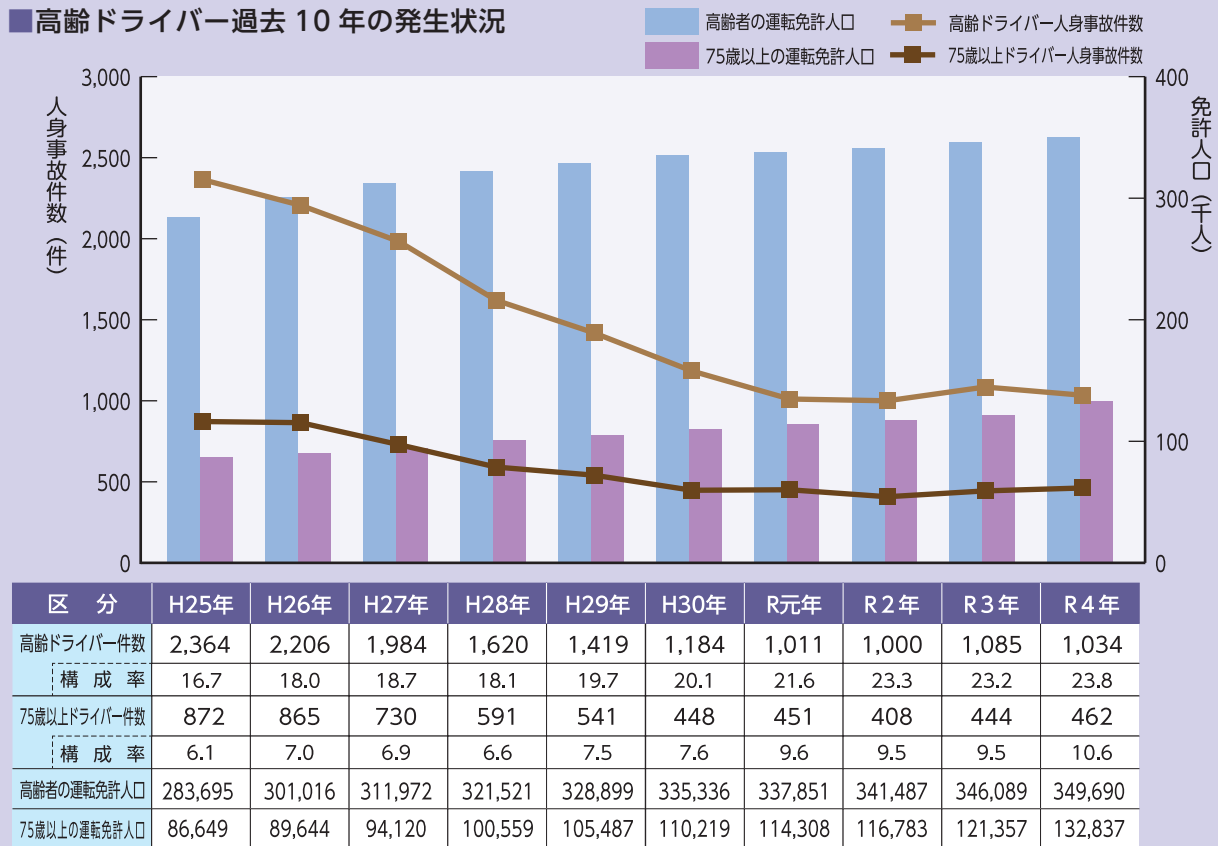


# 高齢ドライバーの交通死亡事故

■ 高齢ドライバーによる死者数の推移【原付以上運転の第1当事者】



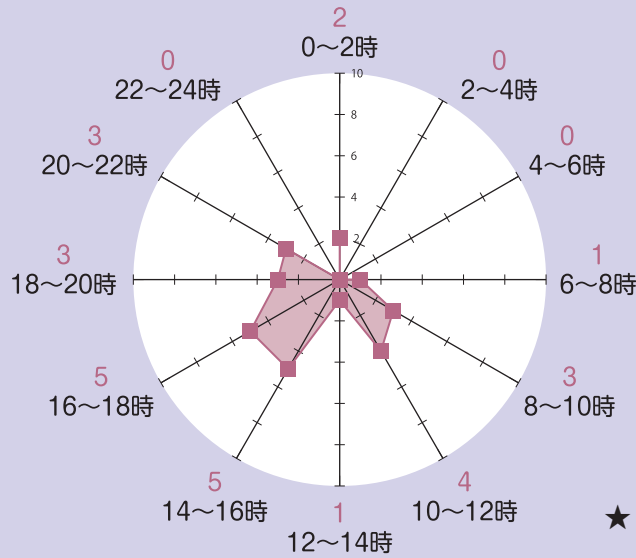
■ 高齢ドライバー過去10年の発生状況



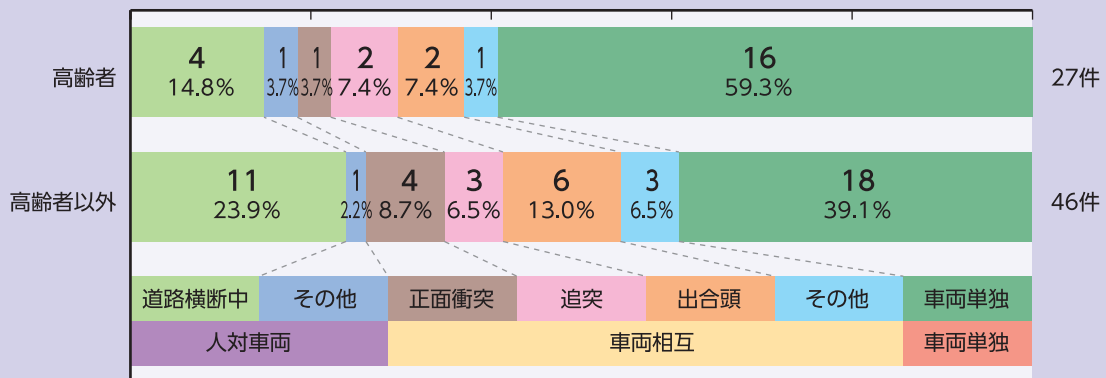
※構成率は全人身事故件数に占める割合。 ※運転免許人口は各年12月末現在

# 高齢者が第1当事者の交通死亡事故

## いつ（件）

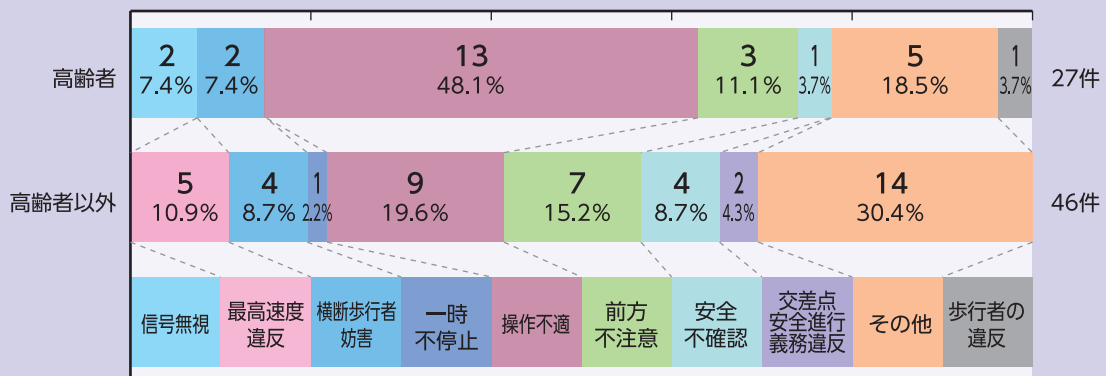


## どんな事故を起こしているか（第1当事者）



★車両単独事故が約6割を占めている。

## どんな原因で

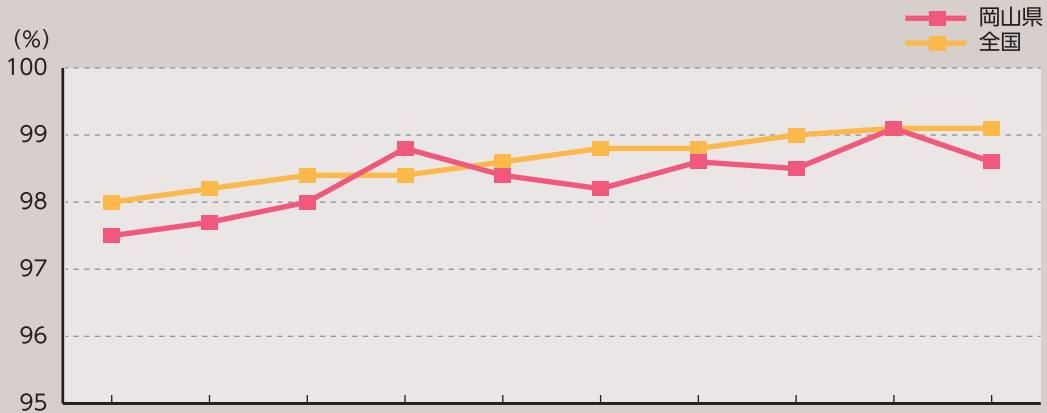


★操作不適による事故が多い。

# シートベルトの着用状況

## シートベルトの着用状況

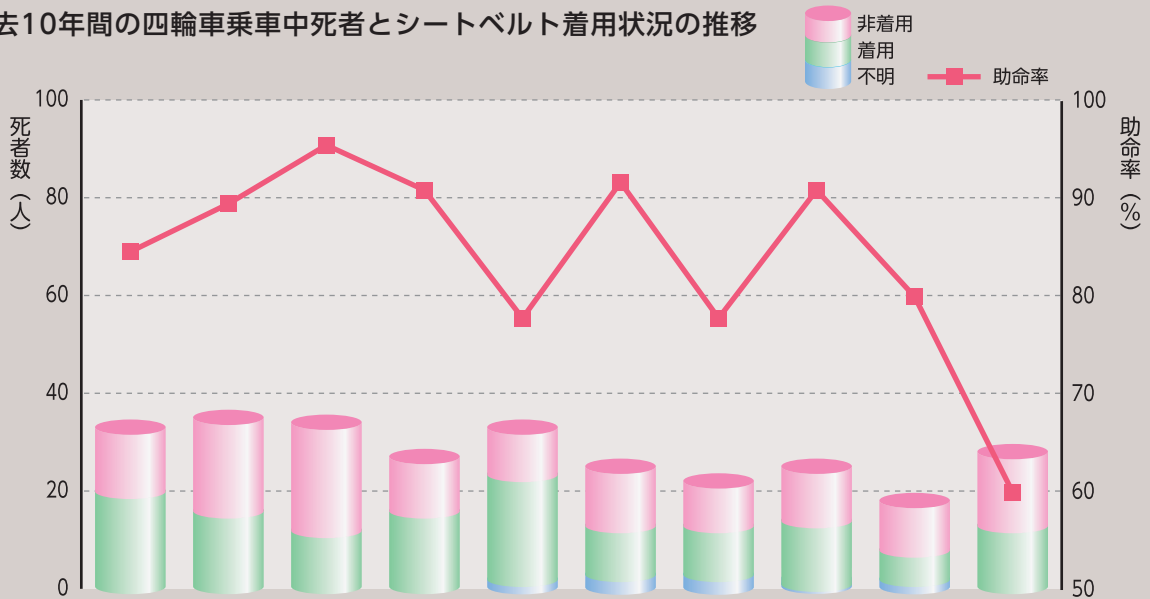
■岡山県と全国の着用率の推移



区分	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
岡山県	97.5	97.7	98.0	98.8	98.4	98.2	98.6	98.5	99.1	98.6
全国	98.0	98.2	98.4	98.4	98.6	98.8	98.8	99.0	99.1	99.1

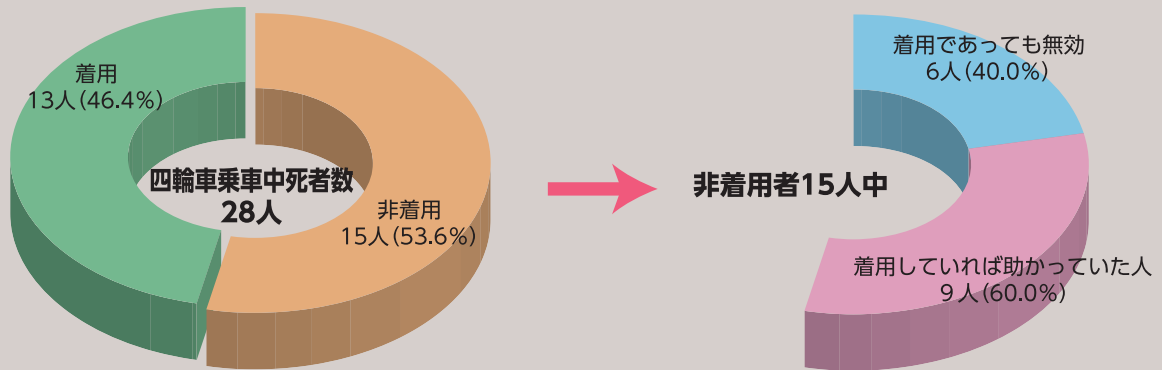
※ドライバーの着用率（高速道路を除く。）  
 ※警察とJAFとの合同調査による。

■過去10年間の四輪車乗車中死者とシートベルト着用状況の推移



区分	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
非着用死者	13	19	22	11	9	12	9	11	10	15
助命数(助命率%)	11(84.6)	17(89.5)	21(95.5)	10(90.9)	7(77.8)	11(91.7)	7(77.8)	10(90.9)	8(80.0)	9(60.0)
着用死者	20	16	12	16	22	10	10	13	6	13
不明	0	0	0	0	2	3	3	1	2	0
計	33	35	34	27	33	25	22	25	18	28

### ■四輪車乗車中死者のシートベルト着用状況



区分	着用者	非着用者	うち着用していれば助かっていた人	合計
死者数	13	15	9	28
構成率	46.4	53.6	60.0	100

### ■非着用者の年齢別

区分	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
運転者	0	0	0	1	1	3	1	1	4	11
同乗者	0	1	1	0	0	0	0	0	2	4
計	0	1	1	1	1	3	1	1	6	15
増減数	0	0	0	1	0	1	0	0	3	5

※増減数は、令和3年と比較したもの。

### ■非着用者の男女別、若者・高齢者別

区分	男性	女性	若者	高齢者
運転者	9	2	0	5
同乗者	3	1	1	2
計	12	3	1	7
増減数	4	1	-1	3

※増減数は、令和3年と比較したもの。

### ■非着用者が運転・同乗していた車両の車種別

区分	乗用			貨物				計
	普通	軽四	ミニカー	大型	中型	準中型	軽四	
運転者	1	3	1	1	1	2	2	11
同乗者	0	4	0	0	0	0	0	4
計	1	7	1	1	1	2	2	15
構成率	6.7	46.7	6.7	6.7	6.7	13.3	13.3	100.0

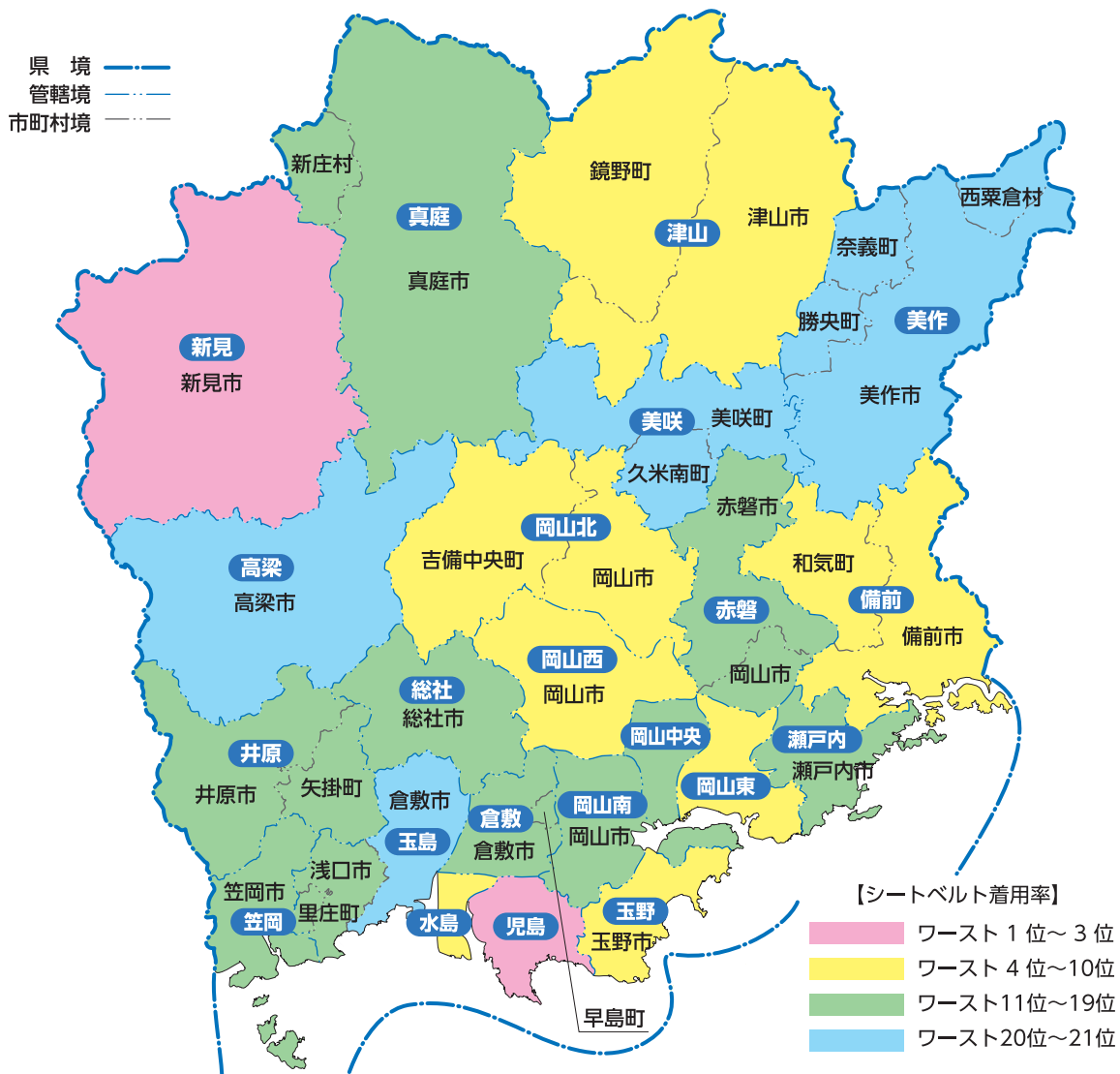
# 警察署別シートベルト着用率

(各警察署管内及び高速道路等で発生した交通事故で、四輪車に乗車していた6歳以上の死傷者の着用率)

所属	着用者		非着用者		非着用率	ワースト順位
	死者数	負傷者数	死者数	負傷者数		
岡山中央		263		10	3.66	11
岡山東	1	87	1	4	5.38	4
岡山西	4	343	2	13	4.14	9
岡山南		421	2	11	3.00	13
岡山北	1	43	2	0	4.35	6
赤磐	1	92		2	2.11	17
備前		66		3	4.35	6
瀬戸内	1	35		1	2.70	15
玉野		69		3	4.17	8
児島		102		7	6.42	3
倉敷	1	586	1	11	2.00	18
水島		210		9	4.11	10

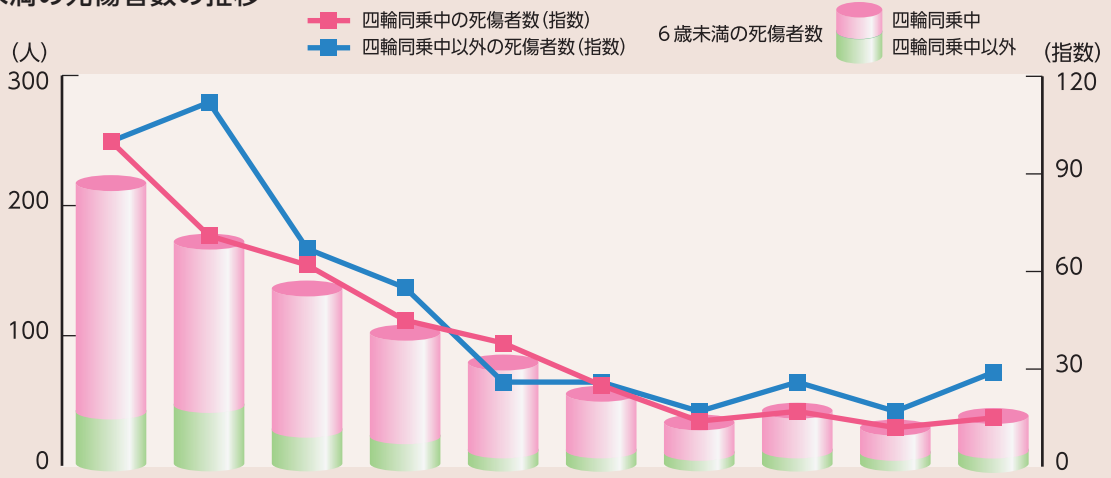
所属	着用者		非着用者		非着用率	ワースト順位
	死者数	負傷者数	死者数	負傷者数		
玉島		140		1	0.71	20
笠岡		52	1	0	1.89	19
井原		44		1	2.22	16
総社	1	102		3	2.83	14
高梁		20		0	0.00	21
新見		12	2	2	25.00	1
真庭	1	58	2	0	3.28	12
津山	1	142	1	7	5.30	5
美作	1	45		0	0.00	21
美咲		13		0	0.00	21
高速隊		47	1	6	12.96	2
合計	13	2,992	15	94	3.50	—

※死者数と負傷者数とは、運転者と同乗者の数を合計したもの。  
 ※非着用率=非着用者÷(着用者+非着用者)×100  
 ※チャイルドシート、着用不明者を除く。



# チャイルドシートの着用状況

## 6歳未満の死傷者数の推移



区分	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
6歳未満の死傷者数	217	172	136	102	78	54	32	41	28	38
うち四輪同乗中	175	125	108	79	67	43	25	30	21	26
指数	100	71	62	45	38	25	14	17	12	15
うち四輪同乗中以外	42	47	28	23	11	11	7	11	7	12
指数	100	112	67	55	26	26	17	26	17	29

## 過去10年間のチャイルドシート着用の有無による負傷状況等

区分	死傷者数(人)			負傷なし	被害率(%)		
	死者数	重傷者数	軽傷者数		致死率	重傷率	負傷率
チャイルドシート着用	2	8	578	2,420	0.34	1.36	19.55
チャイルドシート非着用	0	6	103	350	0.00	5.50	23.75

※致死率=死者数÷(死者数+重傷者数+軽傷者数)×100  
 ※重傷率=重傷者数÷(死者数+重傷者数+軽傷者数)×100  
 ※負傷率=死傷者数÷(死傷者数+負傷なし)×100

## チャイルドシート着用と非着用の格差

チャイルドシート  
非着用の場合

重傷率は着用の場合の約4.0倍



## 取り付け方のポイント

チャイルドシートは、正しく取り付けられていないと、いざというときに安全装置としての機能を発揮できません。チャイルドシートはその種類やメーカー、車の構造等によって取り付け方が異なります。必ず取扱説明書を読んで、きちんとがっちり固定して使用しましょう。



1 エアバッグが助手席に付いている場合は、後部座席に取り付けましょう。やむを得ずエアバッグ付きの助手席に取り付けるときは、チャイルドシートを必ず前向きに取り付け、座席をできる限り後ろに下げます。

2 体重が10キロ未満の子どもは、できるだけ後部座席に、チャイルドシートを後ろ向きにして取り付けましょう。

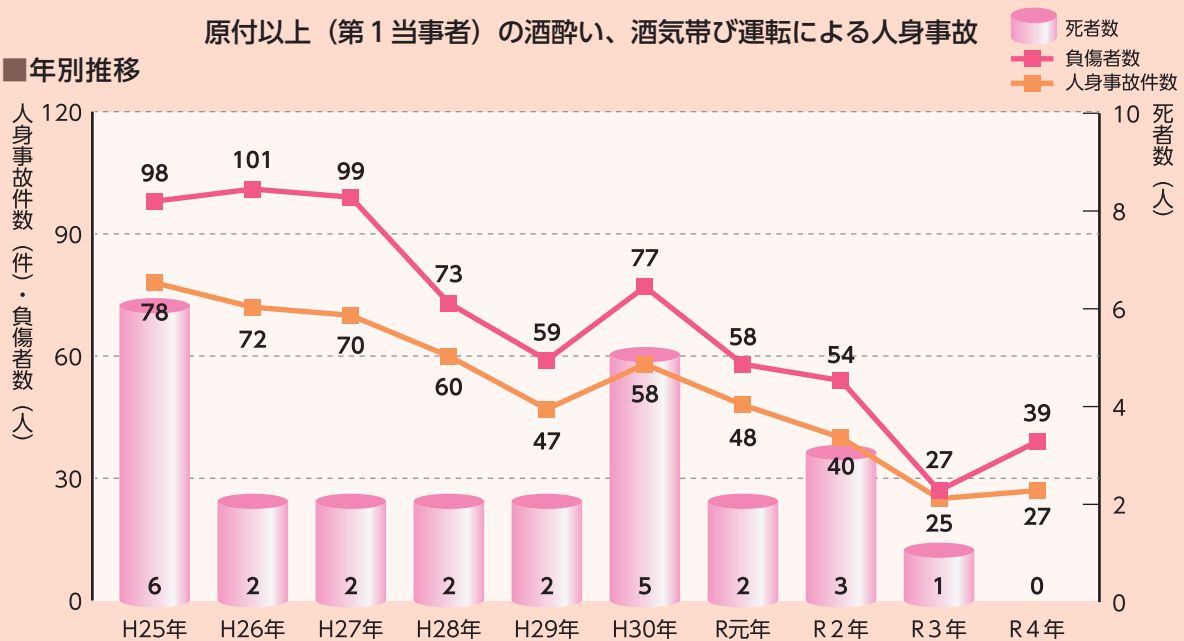


3 チャイルドシートをカー一杯ゆすってみて前後左右にぐらつくようであれば、再度固定し直しましょう。隙間ができないように固定し、できる限りゆるみやぐらつきがない状態にしてください。

# 飲酒運転による交通事故

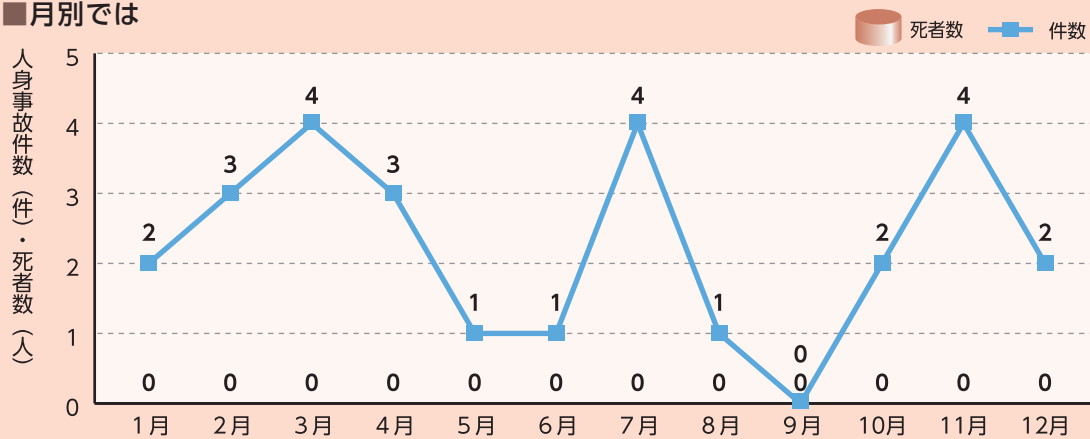
原付以上（第1当事者）の酒酔い、酒気帯び運転による人身事故

## ■年別推移

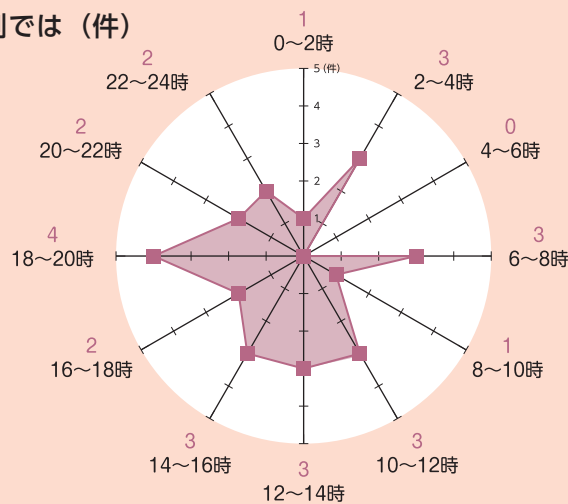


★人身事故件数及び負傷者数が前年よりも増加した。

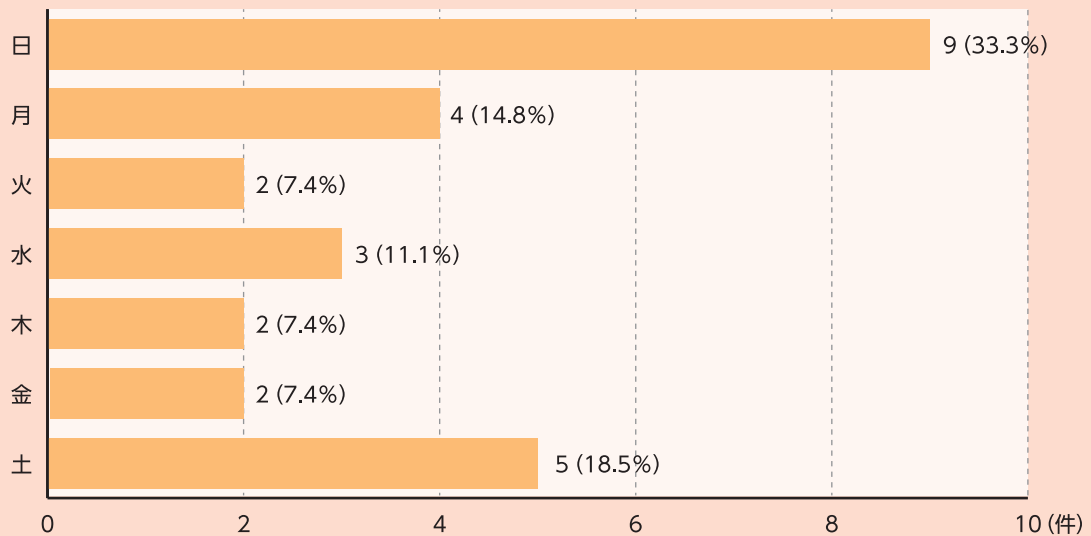
## ■月別では



## ■時間別では (件)

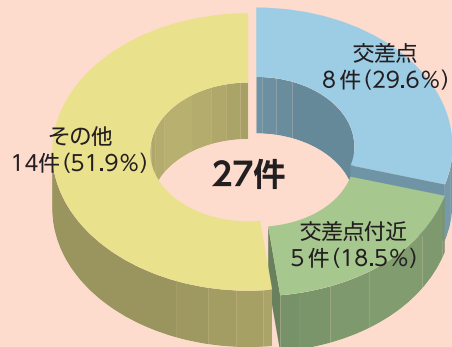


■曜日別では

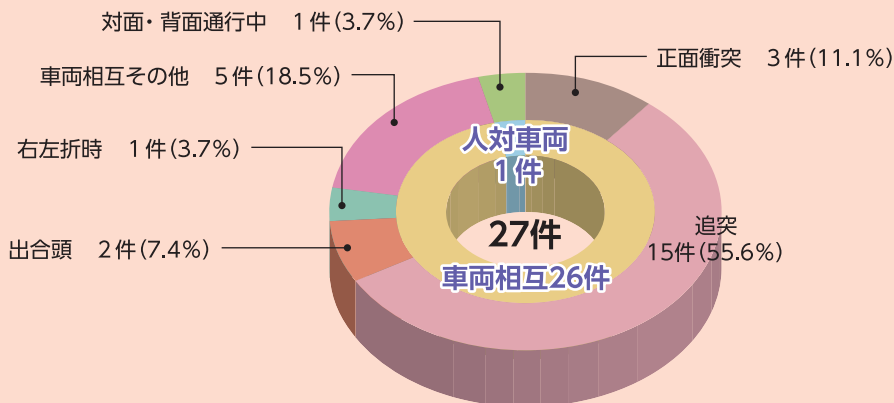


★日曜日の発生が最も多い。

■道路形状別では



■事故類型別では

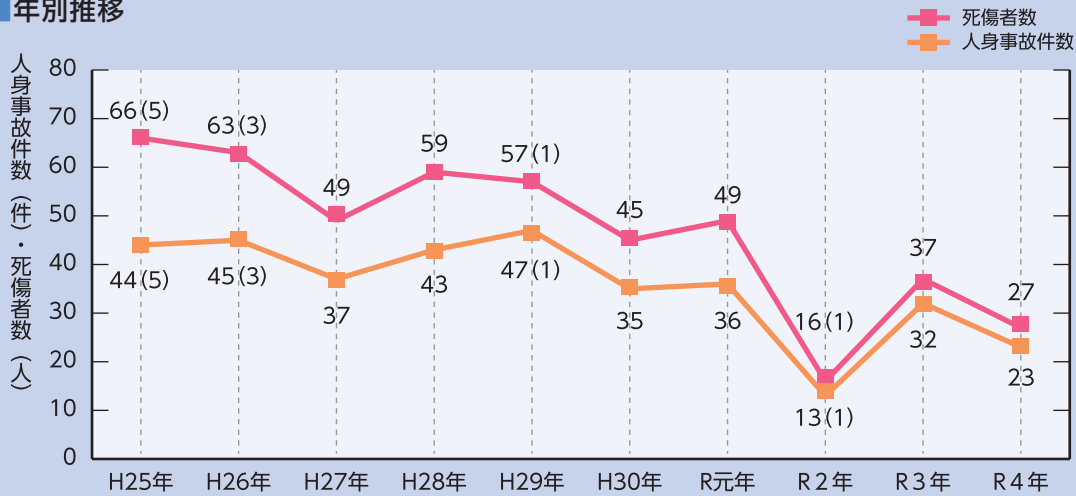




# 携帯電話の関係する交通事故

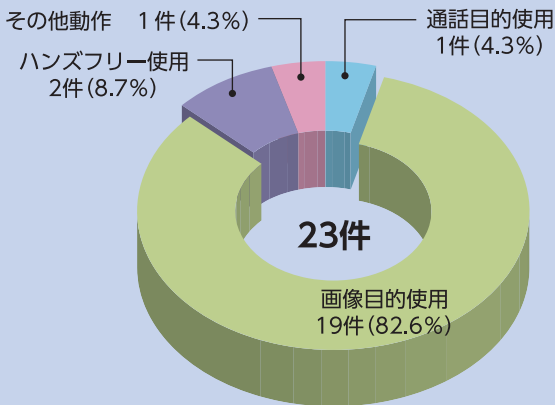
## 原付以上（第1当事者）の携帯電話の関係する人身事故

■ 年別推移



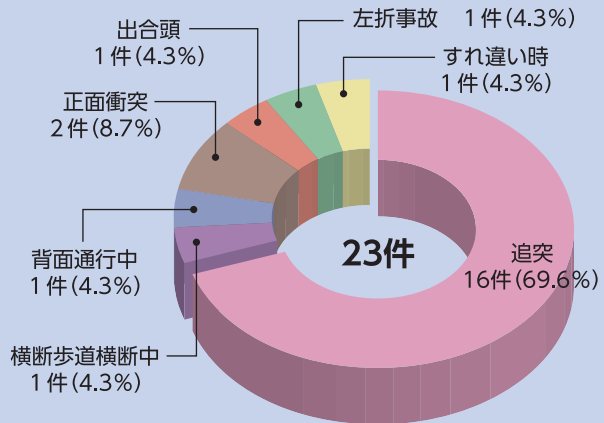
※件数における( )は、内数で死亡事故件数を示す。  
 ※死傷者数における( )は、内数で死者数を示す。

■ 使用状況別では



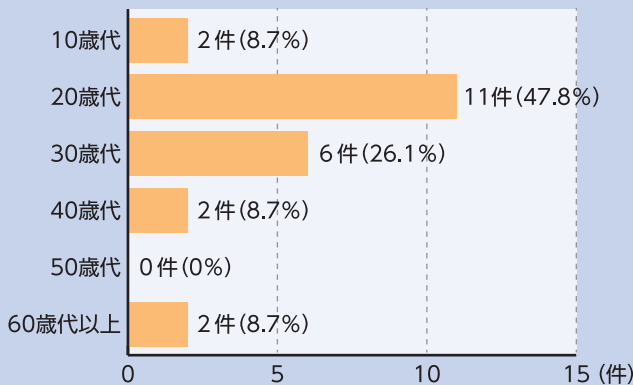
★画像目的使用が8割以上を占めている。

■ 事故類型別では



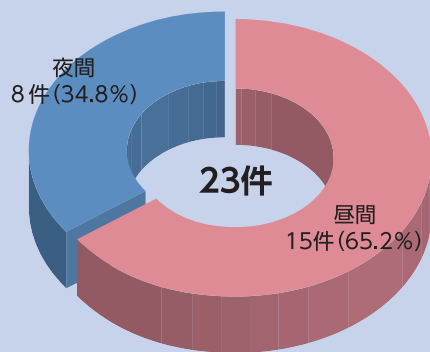
★追突事故が約7割を占めている。

■ 年代別では



★20歳代と30歳代で7割以上を占めている。

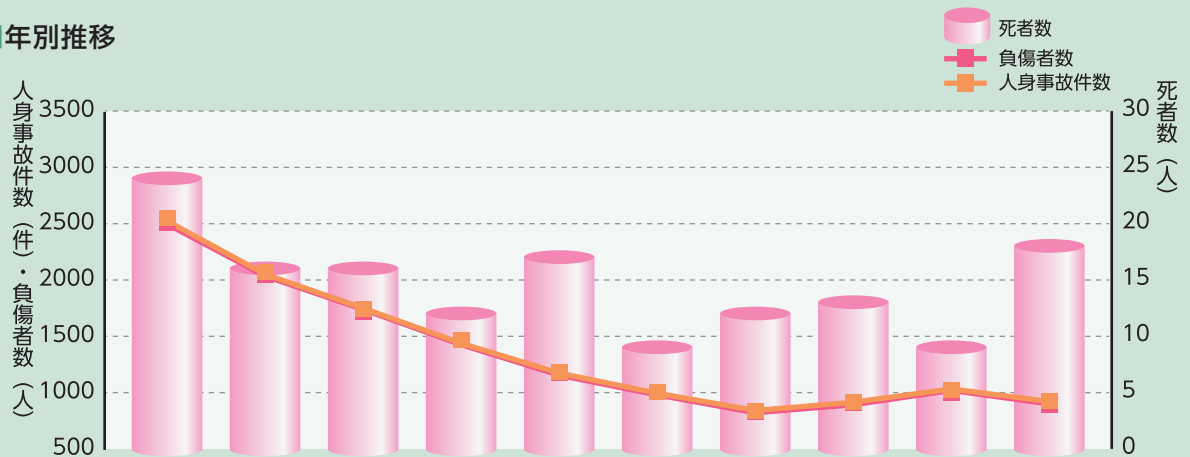
■ 昼夜別では



★夜間より昼間の方が多。

# 自転車の関係する交通事故

## 年別推移



区分	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
人身事故件数	2,533	2,060	1,758	1,447	1,182	1,003	850	923	1,041	929
死者数	24	16	16	12	17	9	12	13	9	18
負傷者数	2,505	2,043	1,747	1,434	1,163	988	830	901	1,028	908

★人身事故件数、負傷者数は前年よりも減少したが、死者数は前年よりも増加した。

## 自転車が第1当事者となり死亡した事故



区分	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
死者数	14	10	10	7	9	9	8	9	9	12
うち単独事故死者	12	7	10	5	4	5	7	6	6	9

★単独事故が7割以上を占めている。

## 自転車単独の死亡事故

	昼夜別(件数)		
	路外転落	転倒	合計
昼間	0	1	1
夜間	8	0	8
合計	8	1	9
構成率	88.9	11.1	100.0

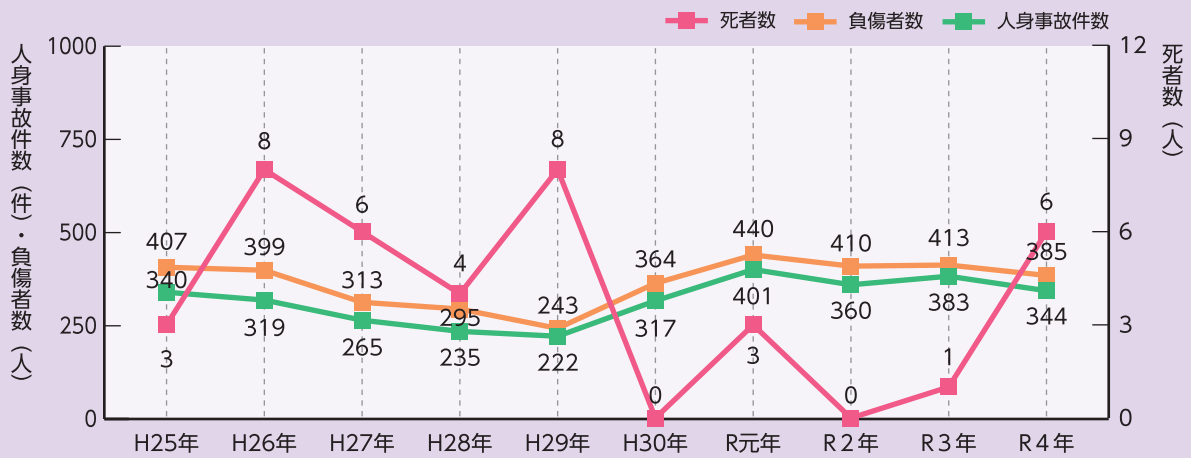
★単独事故は夜間で約9割発生している。

	年齢別(件数)	
	単独事故	構成率
20歳未満	0	0
20歳代	0	0
30歳代	0	0
40歳代	0	0
50歳代	4	44.4
60歳代	1	11.1
70歳代	2	22.2
80歳代	2	22.2
合計	9	100.0
高齢者	5	55.6

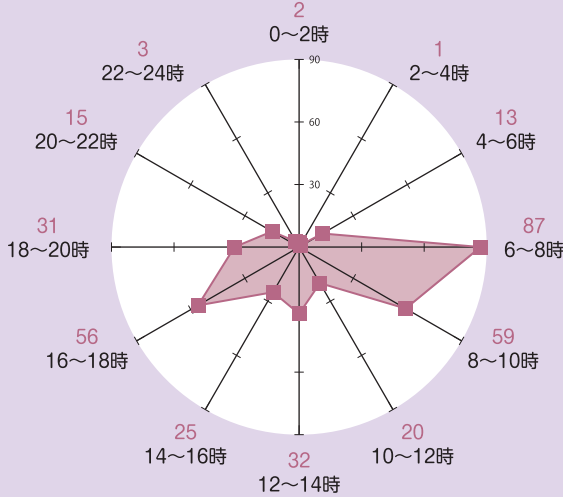
★単独事故は5割以上高齢者による。

# 安全運転管理者選任事業所の交通事故

## ■ 年別推移



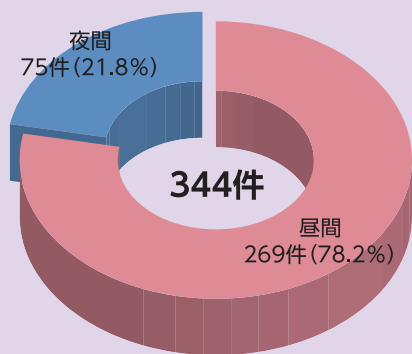
## ■ 時間別では



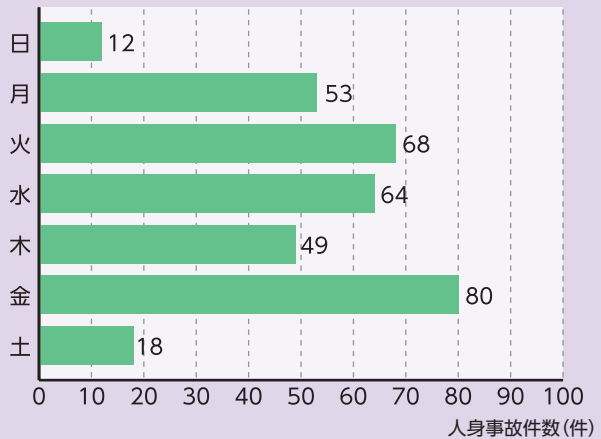
★ 6～8時の時間帯が最も多い。

区分	人身事故件数	
	件数	構成率
0～2	2	0.6
2～4	1	0.3
4～6	13	3.8
6～8	87	25.3
8～10	59	17.2
10～12	20	5.8
12～14	32	9.3
14～16	25	7.3
16～18	56	16.3
18～20	31	9.0
20～22	15	4.4
22～24	3	0.9
合計	344	100.0

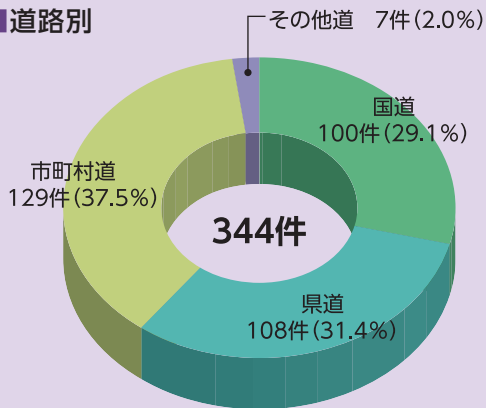
## ■ 昼夜別では



★ 夜間よりも昼間の発生が多い。

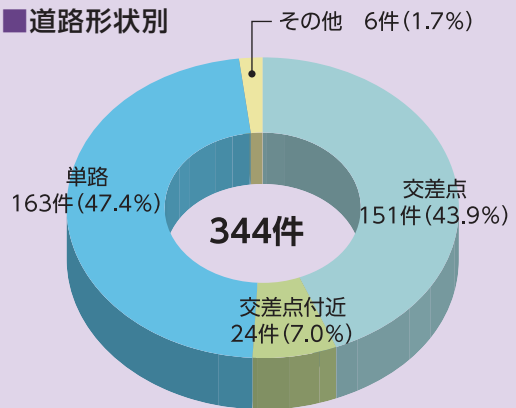


■道路別



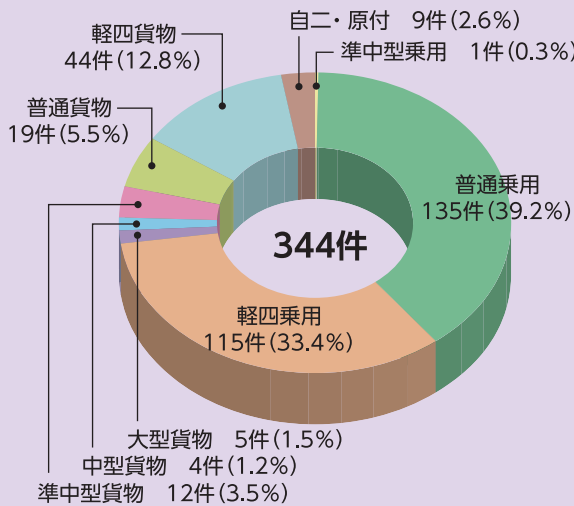
★市町村道での発生が多い。

■道路形状別

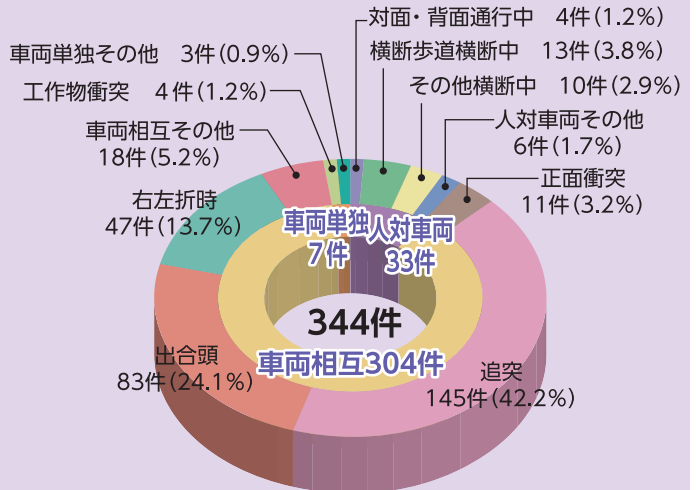


★単路での発生が4割以上を占めている。

■当事者種別・事故類型別

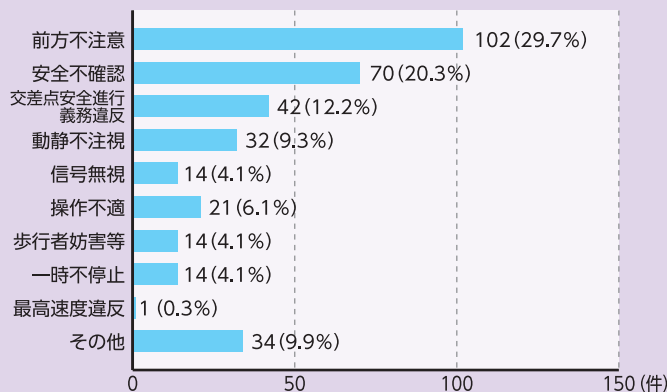


★普通乗用・軽四乗用で7割以上を占めている。



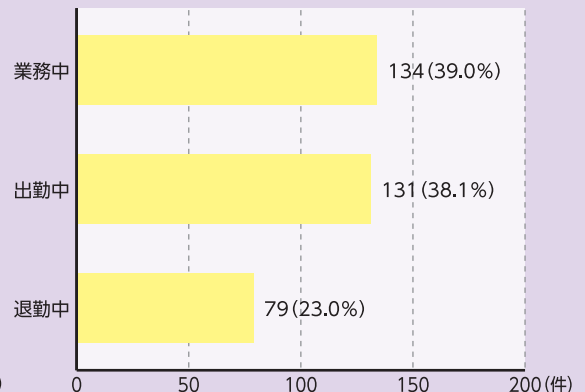
★追突事故が最も多く、次いで出合頭事故が多い。

■主な原因



★前方不注意が最も多く、次いで安全不確認が多い。

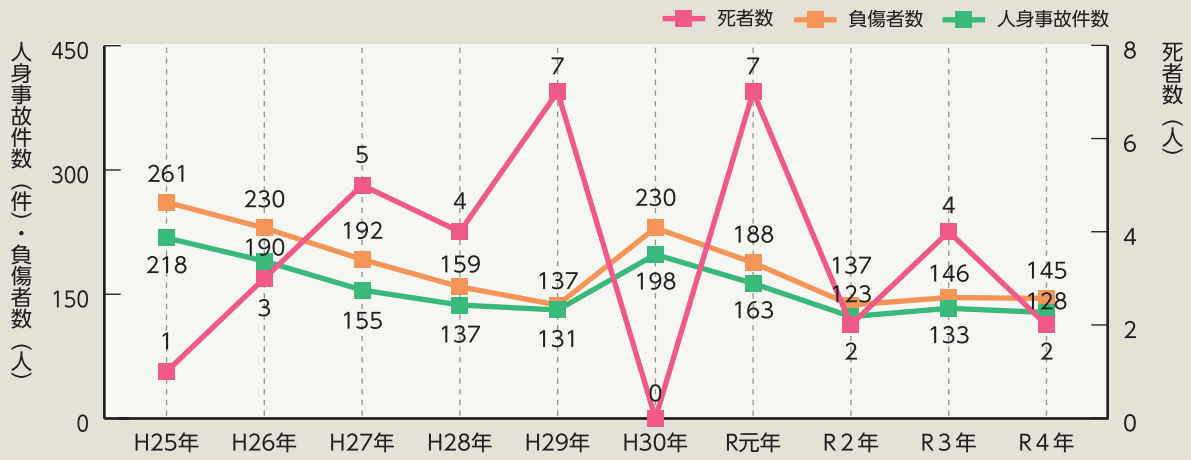
■主な通行目的



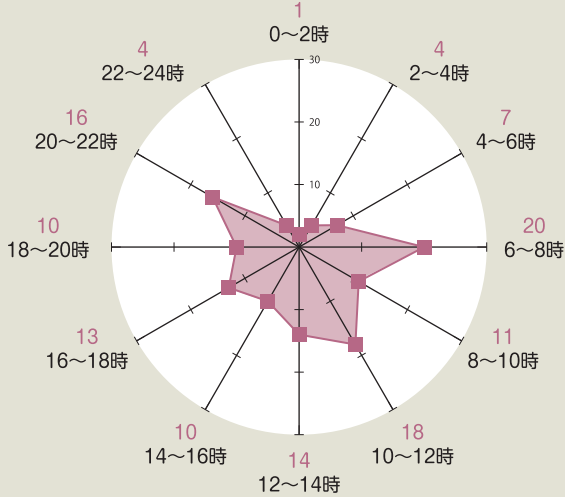
★出勤中、退勤中で6割以上を占めている。

# 運行管理者選任事業所の交通事故

## 年別推移

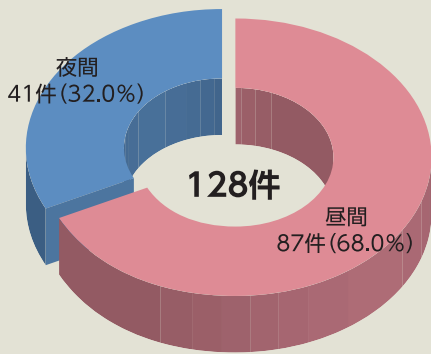


## 時間別では

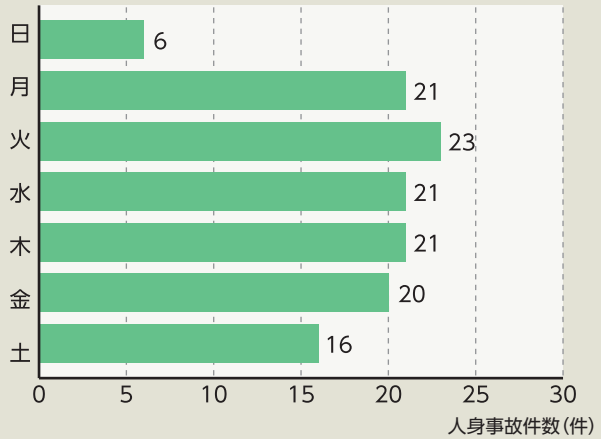


区分	人身事故件数	
	件数	構成率
0~2	1	0.8
2~4	4	3.1
4~6	7	5.5
6~8	20	15.6
8~10	11	8.6
10~12	18	14.1
12~14	14	10.9
14~16	10	7.8
16~18	13	10.2
18~20	10	7.8
20~22	16	12.5
22~24	4	3.1
合計	128	100.0

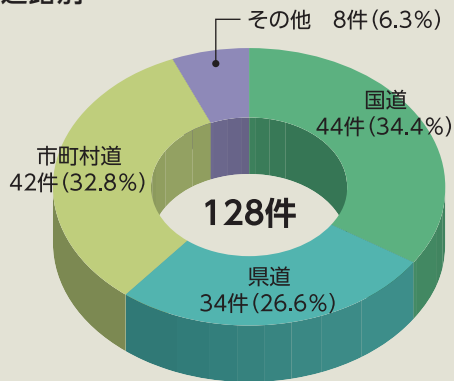
## 昼夜別では



★夜間よりも昼間の発生が多い。

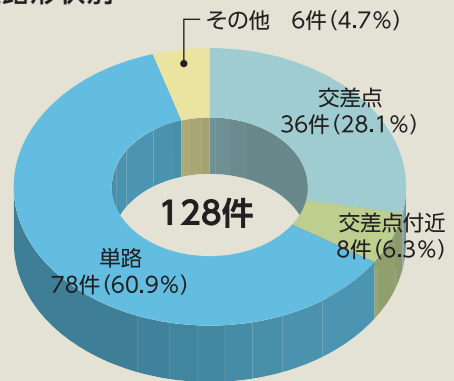


### 道路別



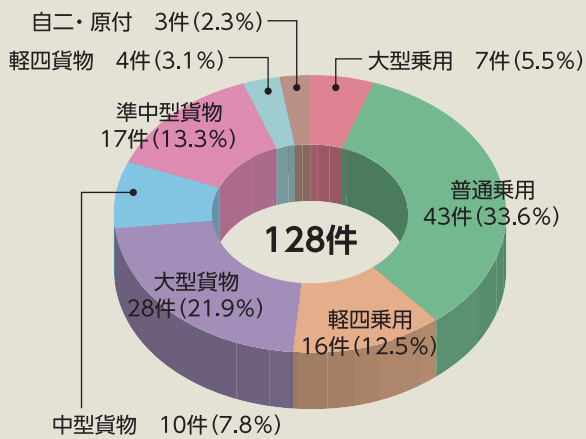
★国道での発生が多い。

### 道路形状別

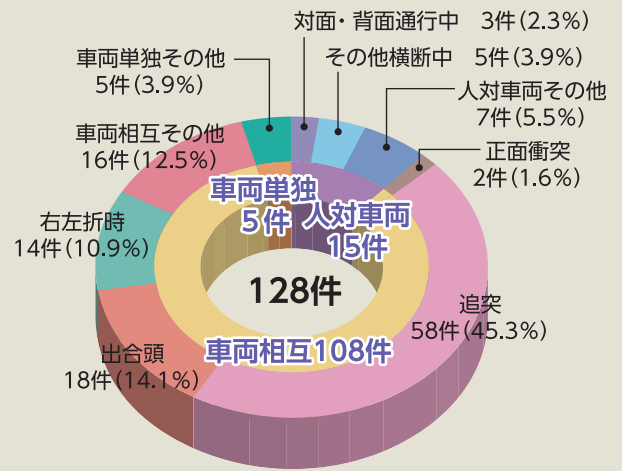


★単路での発生が6割以上を占めている。

### 当事者種別・事故類型別

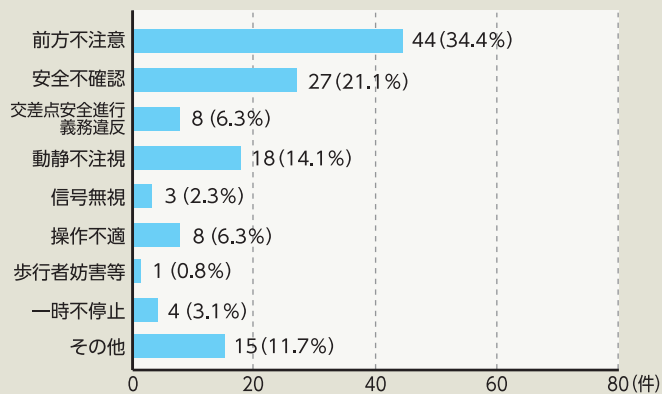


★普通乗用・軽四乗用で4割以上を占めている。



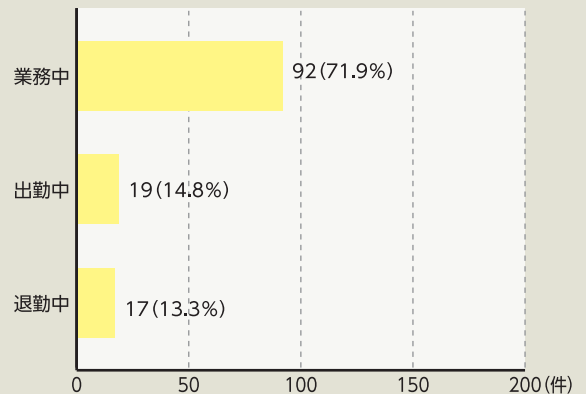
★追突事故が最も多く、次いで出合頭事故が多い。

### 主な原因



★前方不注意が最も多く、次いで安全不確認が多い。

### 主な通行目的

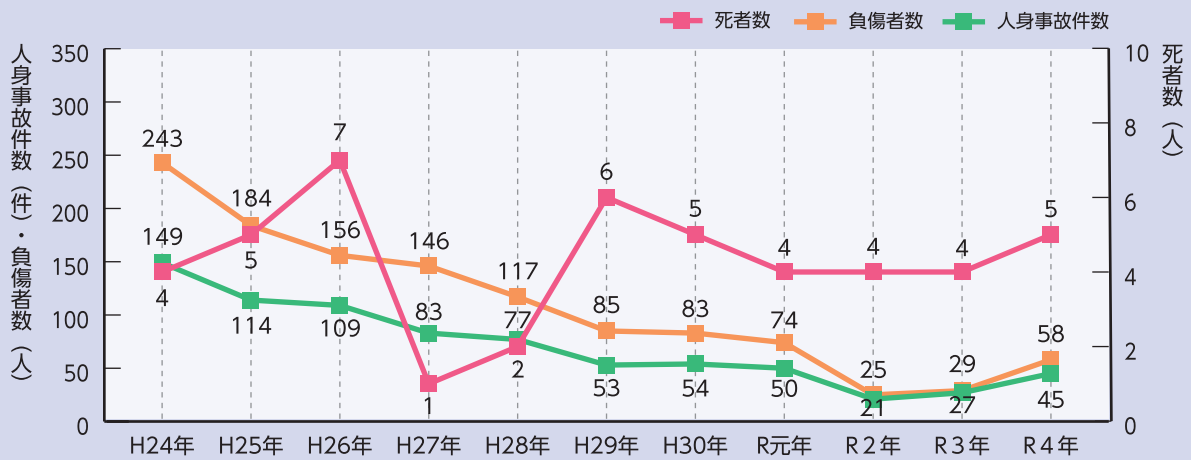


★業務中が7割以上を占めている。

# 高速道路等の交通事故

## 高速道路等の交通事故発生状況

### 年別推移



### 高速道路等での事故の特徴

- 県外の人が多い!! ..... 県外者事故発生率 65.2%
- 昼間の事故が多い!! ..... 昼間事故発生率 65.8%
- 前方不注意による事故が半数以上!! ..... 前方不注意原因率 53.3%
- 単独事故が非常に多い!! ..... 単独事故発生率 70.9%

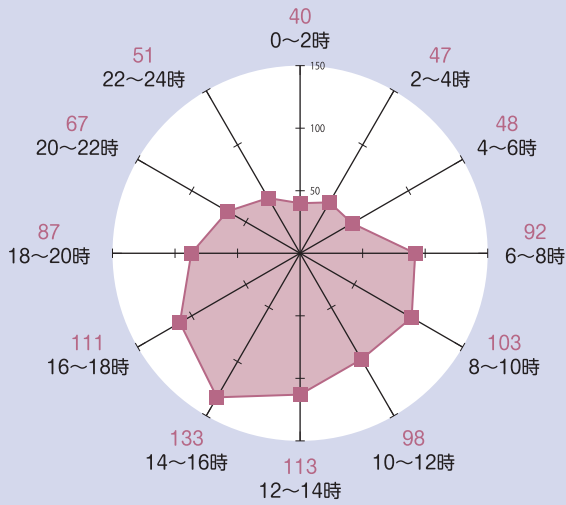
### 本線車道上への落下物多し!!

高速道路本線上には、多数の落下物があります。落下物に乗り上げないよう、速度は控えめに、車間距離は長く取りましょう。  
また、積荷は転落しないように積み込み、走行中は積荷の状態を定期的に確認しましょう。

### 路線別発生状況

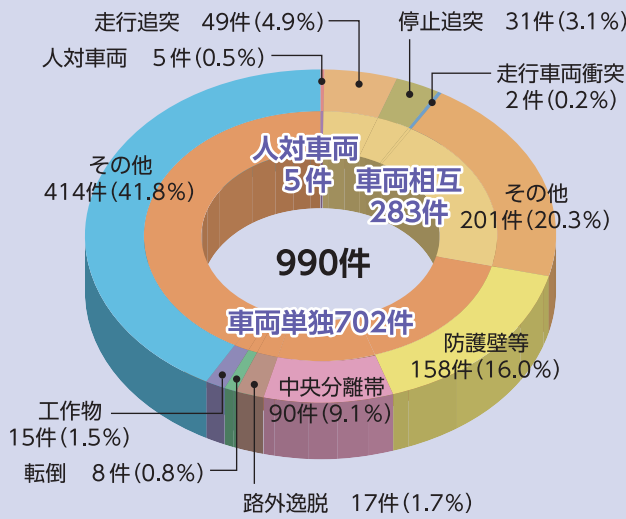
路線名	人身事故件数	死者数	負傷者数	物損事故件数	総事故件数
山陽自動車道	35	1	48	514	549
中国縦貫自動車道	5	2	5	172	177
岡山自動車道	1	1	0	79	80
米子自動車道	3	1	4	77	80
瀬戸中央自動車道	1	0	1	65	66
鳥取自動車道	0	0	0	26	26
志戸坂峠道路	0	0	0	8	8
美作岡山道路	0	0	0	4	4
合計	45	5	58	945	990

### ■時間別発生状況

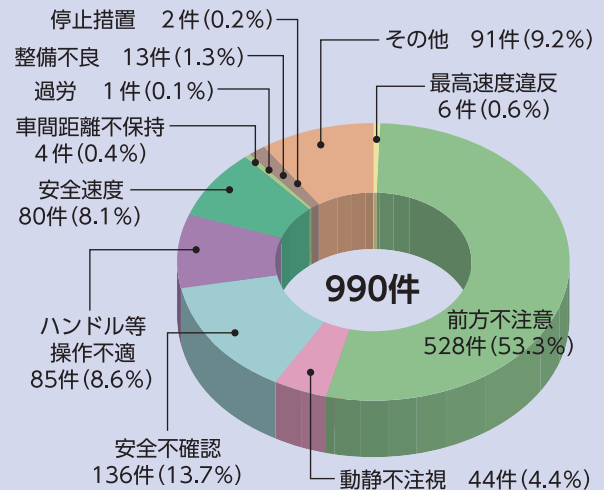


区分	総事故件数	構成率
0~2	40	4.0
2~4	47	4.7
4~6	48	4.8
6~8	92	9.3
8~10	103	10.4
10~12	98	9.9
12~14	113	11.4
14~16	133	13.4
16~18	111	11.2
18~20	87	8.8
20~22	67	6.8
22~24	51	5.2
合計	990	100.0

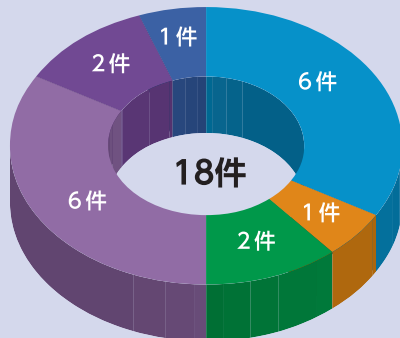
### ■事故類型別発生状況



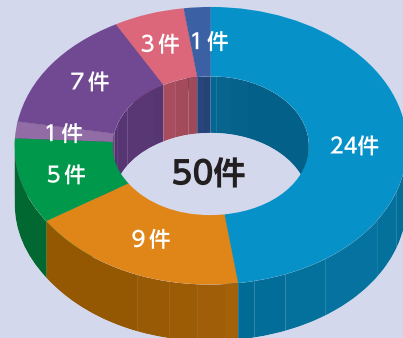
### ■原因型別発生状況



### ■逆走事案



### ■立入事案



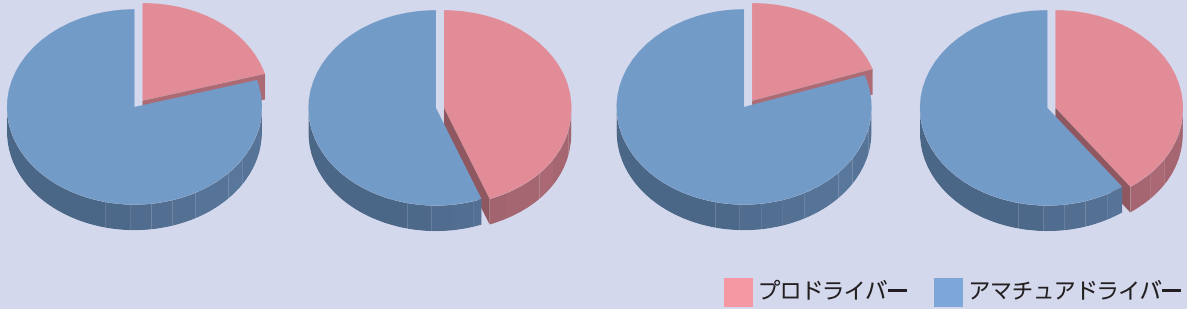


# プロドライバーの事故

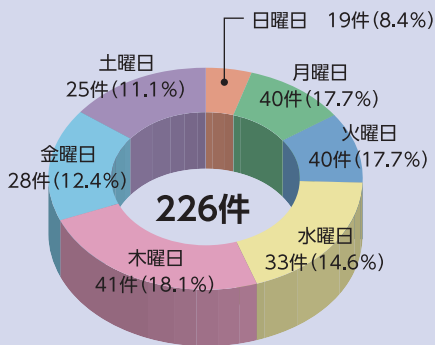
(職業運転者の事故)

## ■ 高速道路等における各事故の寡占率

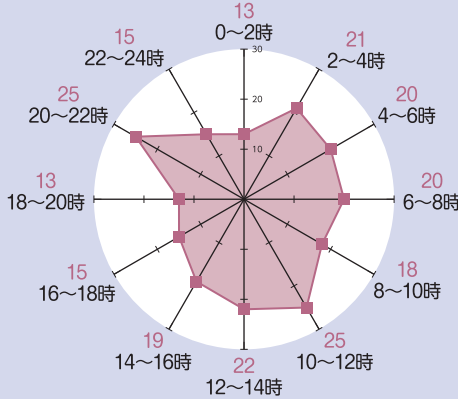
総事故 226件 (22.8%)    人身事故 20件 (44.4%)    物損事故 206件 (21.8%)    死者 2人 (40.0%)



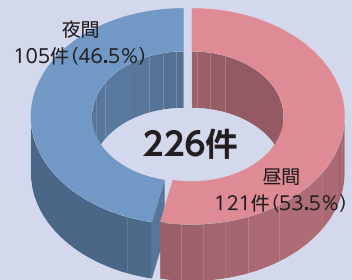
## ■ 曜日別発生状況



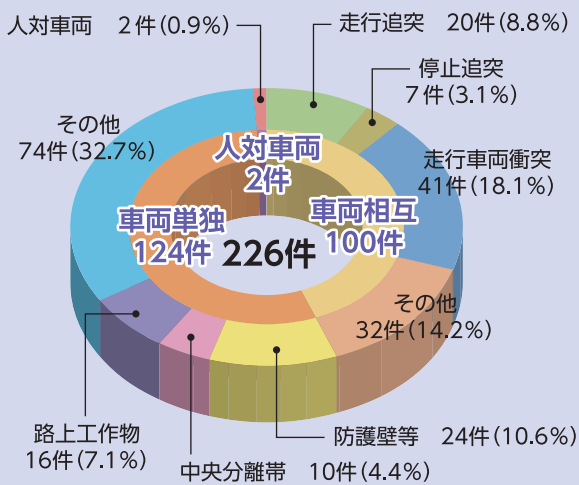
## ■ 時間別発生状況



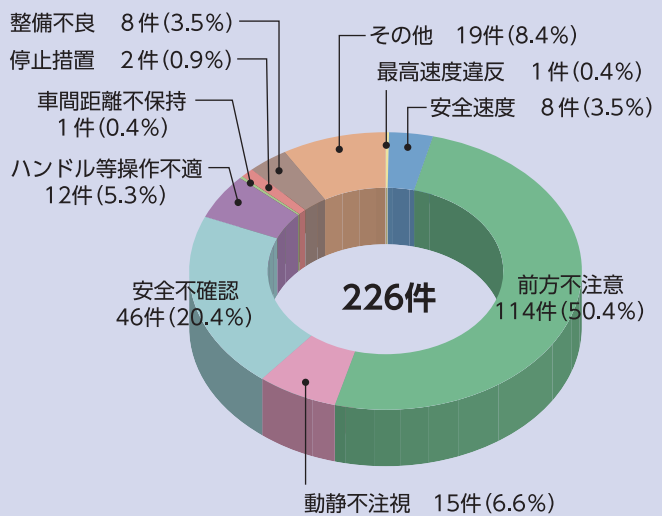
## ■ 昼夜別発生状況



## ■ 事故類型別発生状況



## ■ 原因別発生状況

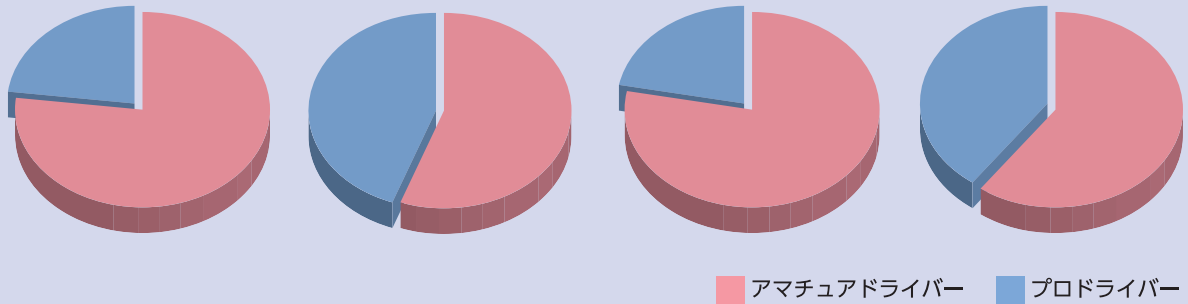


# アマチュアドライバーの事故

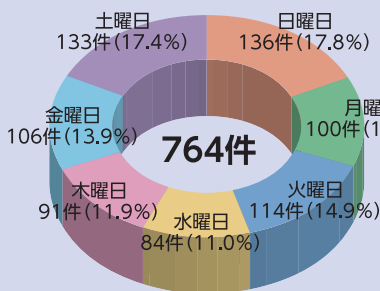
(職業運転者以外の事故)

## ■ 高速道路等における各事故の寡占率

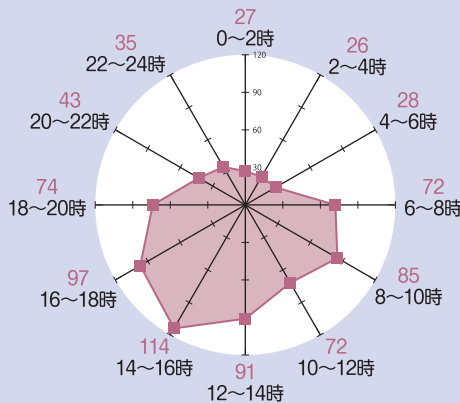
総事故 764件 (77.2%)    人身事故 25件 (55.6%)    物損事故 739件 (78.2%)    死者 3人 (60.0%)



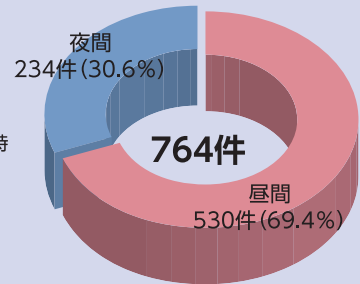
## ■ 曜日別発生状況



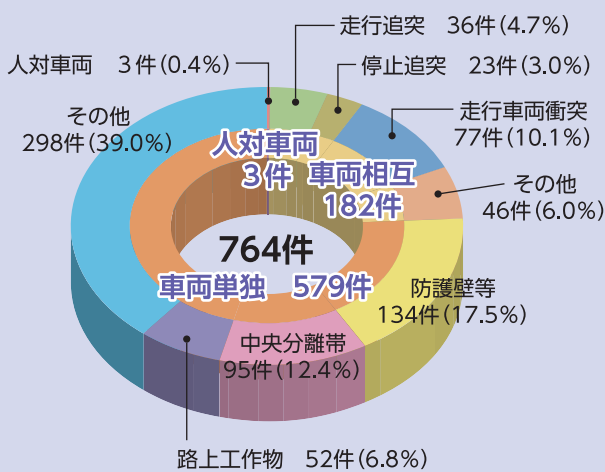
## ■ 時間別発生状況



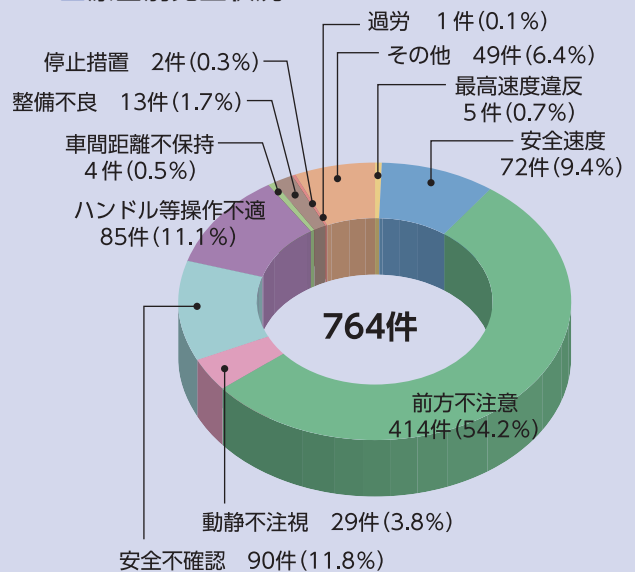
## ■ 昼夜別発生状況



## ■ 事故類型別発生状況



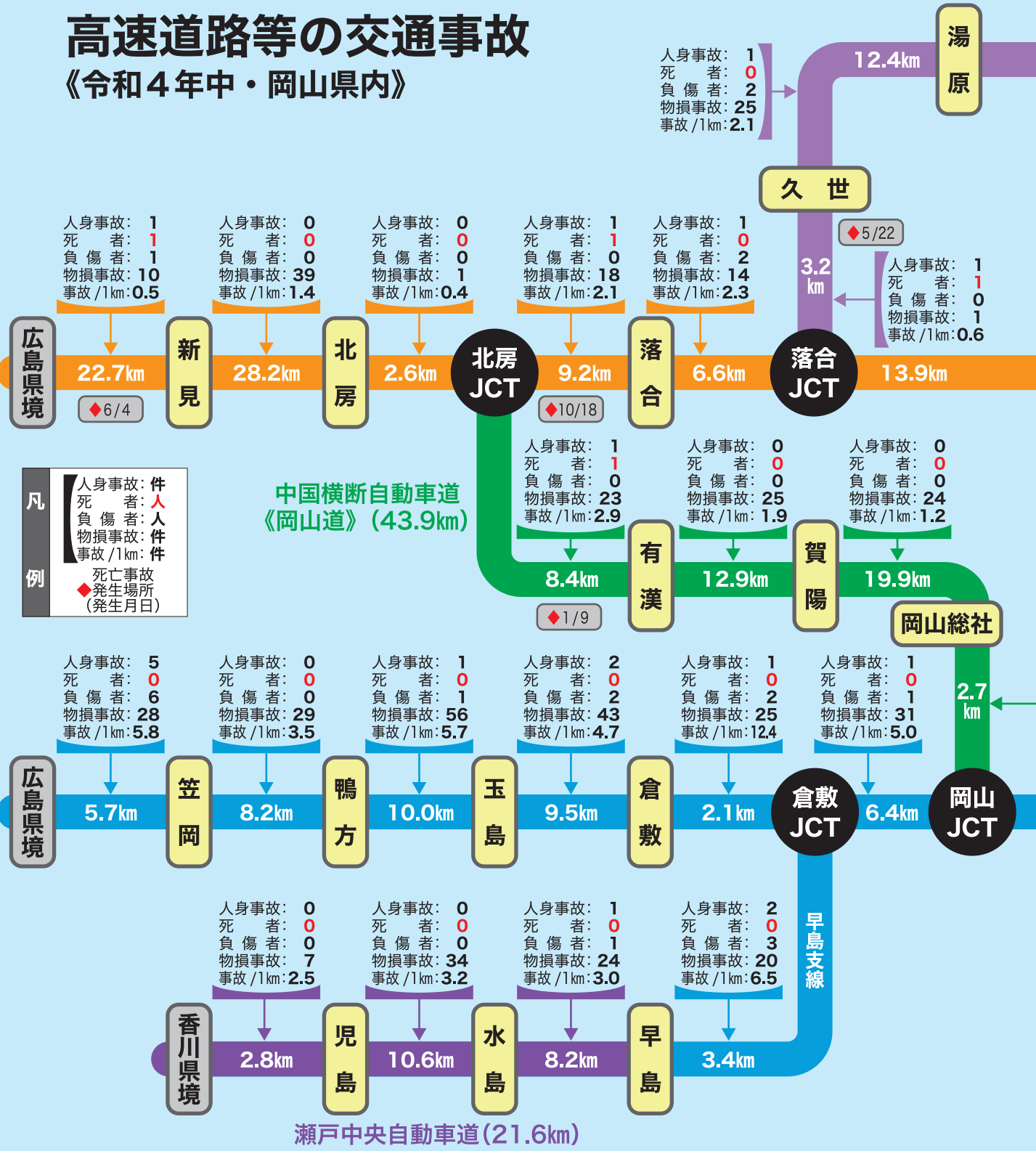
## ■ 原因別発生状況



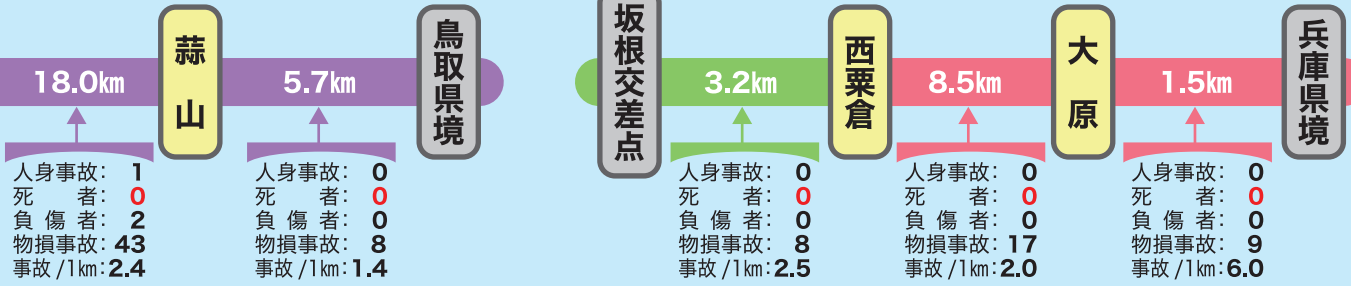
# 各IC(JCT)間の交通事故状況

## 高速道路等の交通事故 《令和4年中・岡山県内》

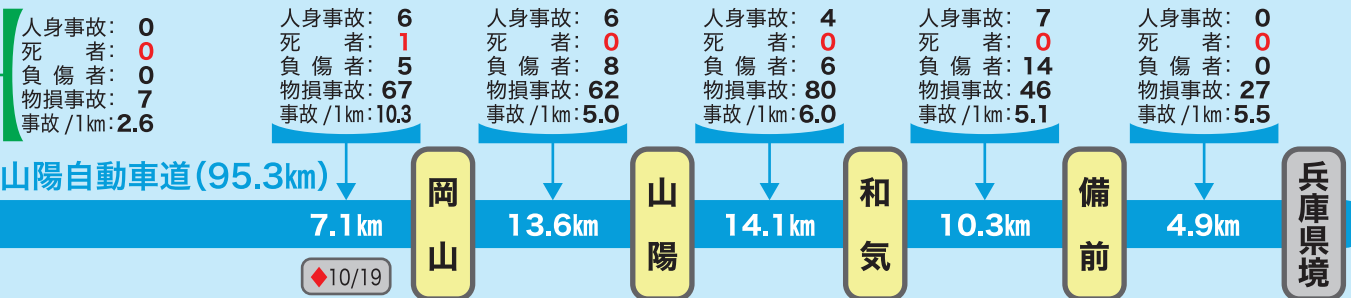
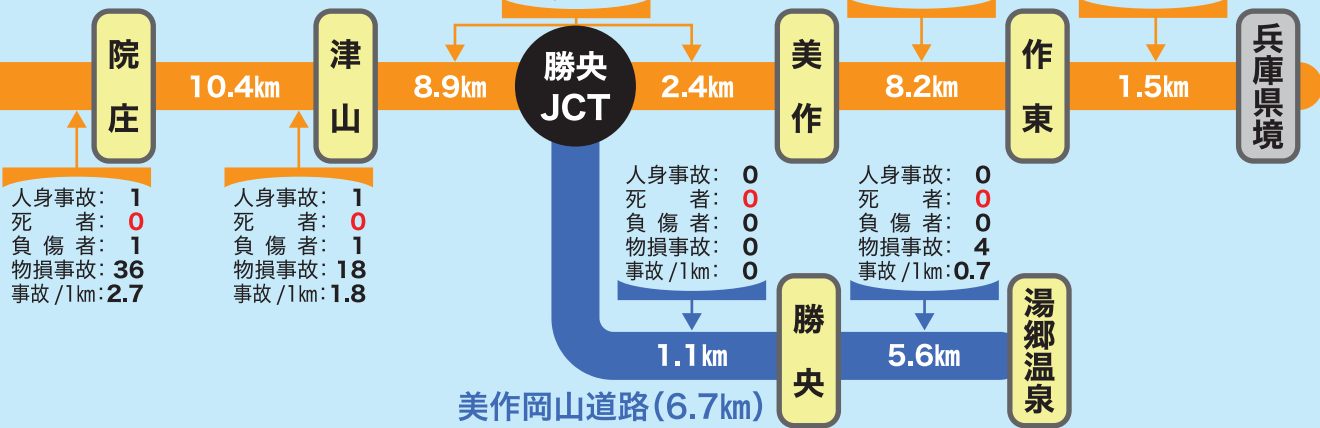
中国横断自動車道《米子道》(39.3km)



志戸坂峠道路(3.2km) 中国横断自動車道《鳥取道》(10.0km)



中国縦貫自動車道(114.6km)



	人身事故	死者数	負傷者数	物損事故	事故/1km
山陽自動車道(95.3km)	35	1	48	514	5.8
中国縦貫自動車道(114.6km)	5	2	5	172	1.5
中国横断自動車道《岡山道》(43.9km)	1	1	0	79	1.8
中国横断自動車道《米子道》(39.3km)	3	1	4	77	2.0
瀬戸中央自動車道(21.6km)	1	0	1	65	3.1
中国横断自動車道《鳥取道》(10.0km)	0	0	0	26	2.6
志戸坂峠道路(3.2km)	0	0	0	8	2.5
美作岡山道路(6.7km)	0	0	0	4	0.6
合計(334.6km)	45	5	58	945	3.0

**交通事故の特徴 (件数) [構成率]**

- ◎場所 ~山陽道が多い (549件) [55.5%]
- ◎運転者 ~50歳代が多い (187件) [18.9%]
- ◎事故類型~単独事故が多い (702件) [70.9%]
- ◎原因 ~前方不注意が多い (528件) [53.3%]
- ◎時間 ~昼間が多い (651件) [65.8%]
- ◎居住地別~県外の人が多い (645件) [65.2%]
- ◎発生月別 ~10月が多い (116件) [11.7%]

# 年別・月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
昭和23年													79
昭和34年	16	16	16	12	13	8	10	13	10	14	12	10	150
昭和35年	15	14	14	14	14	19	13	13	15	10	16	24	181
昭和36年	16	5	9	10	7	12	7	20	19	20	9	20	154
昭和37年	16	12	18	19	14	8	22	14	19	26	19	32	219
昭和38年	16	10	19	19	15	11	17	27	18	19	19	22	212
昭和39年	27	21	22	21	22	17	17	24	11	22	18	25	247
昭和40年	14	21	28	16	17	22	17	27	19	21	16	21	239
昭和41年	16	16	20	25	24	18	21	16	35	26	18	30	265
昭和42年	27	12	26	16	25	28	22	28	26	32	18	24	284
昭和43年	22	19	36	13	27	29	38	21	21	26	29	26	307
昭和44年	24	22	35	21	41	19	21	37	33	29	29	20	331
昭和45年	39	22	25	25	32	19	27	23	25	24	49	32	342
昭和46年	23	24	28	28	30	20	30	26	25	32	15	35	316
昭和47年	29	23	30	35	30	30	31	27	18	36	39	24	352
昭和48年	18	26	36	25	37	15	27	29	32	28	37	26	336
昭和49年	36	15	31	18	19	20	13	21	21	19	26	30	269
昭和50年	23	23	22	30	22	9	20	17	26	17	21	22	252
昭和51年	15	9	17	10	17	9	20	12	22	8	19	20	178
昭和52年	9	11	17	18	15	10	20	18	19	18	6	21	182
昭和53年	13	14	15	15	15	12	16	17	12	16	12	14	171
昭和54年	7	7	12	12	15	16	12	14	10	21	14	16	156
昭和55年	9	10	9	14	15	11	16	11	16	21	14	17	163
昭和56年	13	8	16	19	16	10	19	15	12	6	9	20	163
昭和57年	14	9	12	11	11	11	20	16	11	23	18	17	173
昭和58年	18	10	15	12	15	29	22	15	17	16	21	21	211
昭和59年	9	11	10	16	16	6	13	19	13	18	17	18	166
昭和60年	15	10	16	13	12	17	14	21	10	10	14	21	173
昭和61年	11	10	22	15	15	13	18	22	17	21	25	18	207
昭和62年	14	7	9	12	12	11	10	20	18	24	12	18	167
昭和63年	15	10	12	18	18	15	10	16	12	18	21	20	185
平成元年	21	15	26	14	29	16	15	17	16	22	8	19	218
平成2年	21	18	22	12	18	23	16	18	19	30	24	32	253
平成3年	18	16	9	21	12	15	24	14	20	13	23	21	206
平成4年	22	15	15	19	27	23	27	11	15	23	24	35	256
平成5年	19	16	21	18	14	16	21	21	13	18	31	18	226
平成6年	14	19	20	15	13	16	19	20	20	15	20	27	218
平成7年	22	16	22	19	19	9	18	12	21	20	22	26	226
平成8年	9	17	20	22	14	17	27	19	26	17	13	22	223
平成9年	11	11	22	23	27	14	16	18	22	21	21	20	226
平成10年	17	21	25	18	21	15	20	15	11	25	26	28	242
平成11年	10	23	22	10	18	15	15	9	12	17	17	17	185
平成12年	14	16	10	13	19	13	20	14	11	16	22	20	188
平成13年	20	7	24	14	10	15	15	29	18	14	9	15	190
平成14年	13	19	15	19	5	6	12	14	12	18	17	19	169
平成15年	11	16	14	16	17	17	9	16	15	21	7	16	175
平成16年	8	15	17	13	18	8	13	15	17	15	15	5	159
平成17年	12	12	15	9	8	13	20	10	15	8	12	14	148
平成18年	10	12	8	11	16	6	15	19	12	11	10	14	144
平成19年	13	7	9	9	7	9	14	10	7	9	10	11	115
平成20年	9	10	6	8	6	9	9	14	8	13	9	13	114
平成21年	8	6	6	12	7	7	12	13	9	7	8	12	107
平成22年	10	5	10	10	5	6	11	9	11	11	8	13	109
平成23年	12	4	9	9	10	8	7	11	6	13	2	15	106
平成24年	9	7	13	9	10	6	9	9	2	14	12	12	112
平成25年	4	7	8	12	12	15	11	8	7	9	5	9	107
平成26年	7	11	5	7	8	7	7	8	10	9	5	6	90
平成27年	9	9	6	7	7	2	6	5	12	12	7	5	87
平成28年	6	7	10	7	6	8	4	2	5	9	5	10	79
平成29年	7	7	7	8	6	10	9	14	5	11	7	6	97
平成30年	6	3	9	2	5	7	4	6	11	2	6	7	68
令和元年	11	4	4	8	3	6	4	5	6	13	6	5	75
令和2年	1	5	6	8	6	8	2	6	10	2	2	6	62
令和3年	6	1	5	6	3	5	2	2	6	9	5	7	57
令和4年	7	5	9	5	7	5	4	8	7	4	4	9	74

全国最多

県内最多

※: 背景色は、月別の最多死者数を示す

# 岡山県交通安全年間スローガン

令和5年

## ● 基本スローガン

「安全は 一人一人の 思いやり」

## ● 運転者のみなさんへ

「もちましよう 心の余裕と 車間距離」

「夕暮れの ライトは迷わず 早めから」

## ● 歩行者・自転車利用者の方へ

「自転車に 乗るなら必ず ヘルメット」

「反射材 『ここにいるよ!』の メッセージ」

## ● こどものみなさんへ

「暗い道 たすけてくれる 反射材」

「ちょっと待て 安全確認 ちゃんとした？」



OKAYAMA POLICE

